

東大和市
地域福祉計画に関するアンケート

報告書

令和2年3月
東大和市

目 次

1. 調 査 概 要.....	1
2. 回答者の状況	2
3. 地域での暮らしや地域との関わり	10
4. 社会福祉協議会や地域に関わっている団体・活動	35
5. 生活での相談や福祉情報など.....	48
6. 成年後見制度について.....	57
7. これからの福祉に必要なこと.....	63
参考資料	76

1. 調査概要

調査の目的

本市では、市民の皆様が住みなれた地域で支えあい・助けあって、安心して暮らせるよう、地域福祉の更なる推進を目指して、地域福祉の土台となる新しい東大和市地域福祉計画（第六次）作成の基礎資料とするため、市民に「福祉」についての考えや地域活動の参加状況をお聞きするアンケート調査を実施した。

調査の方法

- 調査対象：市内在住の20歳以上の市民3,000人を無作為抽出
- 調査期間：2019（令和元）年11月18日（月）～12月6日（金）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 配布・回収状況：

配布数	回収数	有効回答率
3,000 票	1,091 票	35.7%

調査の内容

- 調査票：1種
- 主な設問・設問数：地域福祉計画についての説明、回答者の属性、地域での暮らしや関わりについて、社会福祉協議や地域団体について、生活で相談や福祉情報などについて、成年後見制度について、これからの福祉のために必要なこと等49問程度

報告書について

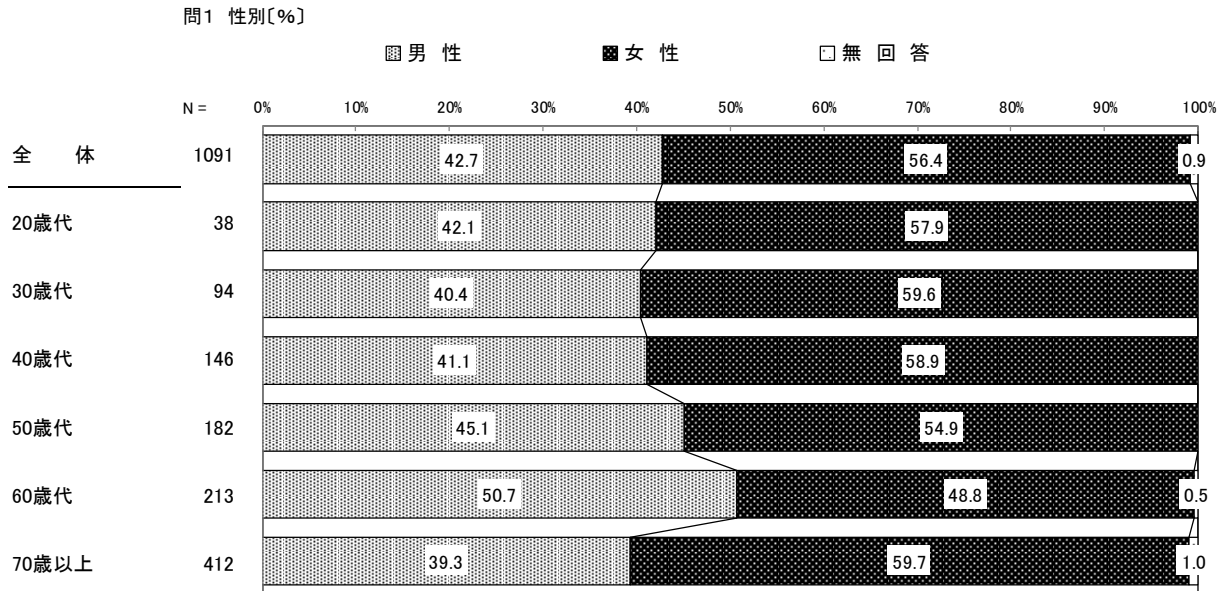
- 設問に沿って、回答結果を文章とグラフで示している。文章は全体的な結果と年代別の傾向を説明し、続いてクロス集計で特徴のある点について説明している。グラフは全体と年代別の結果を示し、次いでクロス集計表を掲載している。
- 設問によって回答者の総数は異なるところがあり、件数は、各グラフの左に「N（number of sample）」で示している。
- 回答率（％）は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位で表示しているため、合計が100%にならない箇所があり、複数回答の場合は100%を超える。
- 選択肢は一部省略して報告書に掲載しているところがある。

2. 回答者の状況

問1. あなたの性別を伺います。

全体では、「男性」が42.7%、「女性」が56.4%で、「女性」の方が多い。

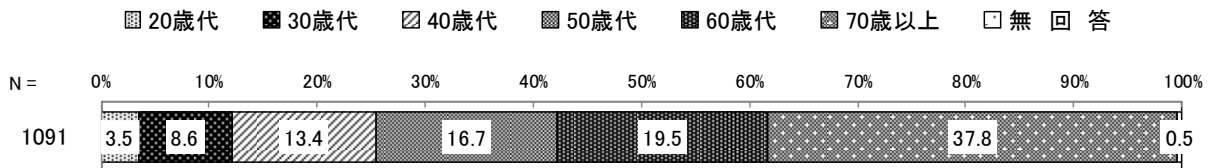
年代別では、60歳代以外の各年代で「女性」が多く、60歳代で「男性」が50.7%、「女性」が48.8%と男性の方が多い。



問2. 令和元年11月1日現在のあなたの年齢を伺います。

「70歳以上」が37.8%と最も多く、「60歳代」が19.5%、「50歳代」が16.7%、「40歳代」が13.4%、「30歳代」が8.6%、「20歳代」が3.5%である。

問2 年齢[%]

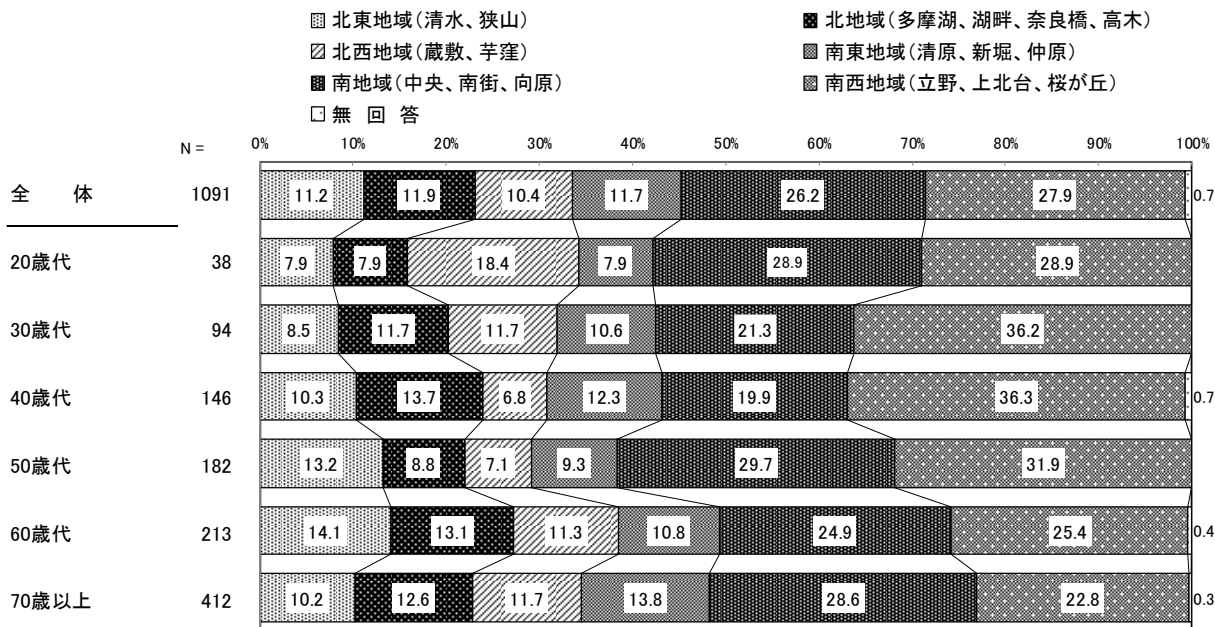


問3. お住まいの地区はどちらですか。

全体では、「桜が丘」が17.5%と多く、「向原」が10.8%、「南街」が10.3%と続いている。
 年代別では、「桜が丘」は30歳代～50歳代の各年代でそれぞれ25%前後と多く、「向原」は20歳代、50歳代と70歳以上がそれぞれ15%前後と多い。

家族構成別では、3世代（あなたの子ども・孫または親と同居）で「南街」が25.0%と多い。

問3 居住地区[%]



		問3居住地区[%]									
		全体	多摩湖	芋窪	蔵敷	奈良橋	湖畔	高木	狭山	清水	上北台
年齢別	全体	1091	4	60	53	48	44	34	53	69	49
		100.0	0.4	5.5	4.9	4.4	4.0	3.1	4.9	6.3	4.5
	20歳代	38	1	5	2	2	-	-	2	1	2
		100.0	2.6	13.2	5.3	5.3	-	-	5.3	2.6	5.3
	30歳代	94	-	5	6	3	5	3	2	6	5
		100.0	-	5.0	6.0	3.0	5.0	3.0	2.0	6.0	5.0
	40歳代	146	1	5	5	9	5	5	5	10	7
		100.0	0.7	3.4	3.4	6.2	3.4	3.4	3.4	6.8	4.8
	50歳代	182	-	8	5	6	5	5	11	13	4
	100.0	-	4.4	2.7	3.3	2.7	2.7	6.0	7.1	2.2	
60歳代	212	1	12	12	13	6	8	13	17	6	
	100.0	0.5	5.7	5.7	6.1	2.8	3.8	6.1	8.0	2.8	
70歳以上	408	1	24	23	15	23	13	20	21	25	
	100.0	0.2	5.9	5.6	3.7	5.6	3.2	4.9	5.1	6.1	
無回答	11	-	1	-	-	-	-	-	1	-	
	100.0	-	9.1	-	-	-	-	-	9.1	-	
年齢別	全体	191	64	56	112	35	118	44	49	8	
		17.5	5.9	5.1	10.3	3.2	10.8	4.0	4.5	0.7	
	20歳代	7	2	4	1	1	6	1	1	-	
		18.4	5.3	10.5	2.6	2.6	15.8	2.6	2.6	-	
	30歳代	25	4	6	6	4	8	2	4	-	
		25.0	4.0	6.0	6.0	4.0	8.0	2.0	4.0	-	
	40歳代	39	7	7	17	6	5	5	7	1	
		26.7	4.8	4.8	11.6	4.1	3.4	3.4	4.8	0.7	
	50歳代	45	9	11	20	5	23	5	7	-	
	24.7	4.9	6.0	11.0	2.7	12.6	2.7	3.8	-		
60歳代	26	22	9	19	9	24	6	8	1		
	12.3	10.4	4.2	9.0	4.2	11.3	2.8	3.8	0.5		
70歳以上	49	20	18	47	10	51	25	22	1		
	12.0	4.9	4.4	11.5	2.5	12.5	6.1	5.4	0.2		
無回答	-	-	1	2	-	1	-	-	5		
	-	-	9.1	18.2	-	9.1	-	-	45.5		

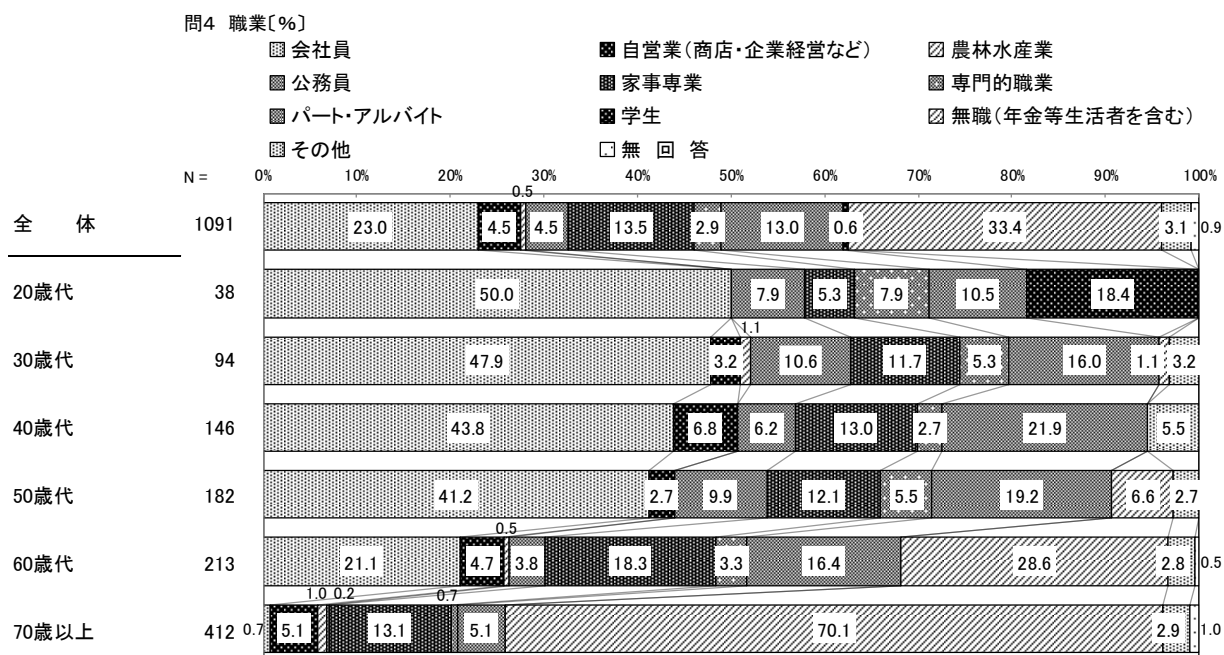
		問3居住地区〔%〕									
		全 体	多摩湖	芋窪	蔵敷	奈良橋	湖畔	高木	狭山	清水	上北台
家族構成別	全 体	1091 100.0	4 0.4	60 5.5	53 4.9	48 4.4	44 4.0	34 3.1	53 4.9	69 6.3	49 4.5
	ひとり暮らし	145 100.0	-	9 6.2	8 5.5	1 0.7	7 4.8	6 4.1	1 0.7	8 5.5	7 4.8
	夫婦のみ	337 100.0	2 0.6	22 6.5	22 6.5	16 4.7	19 5.6	6 1.8	19 5.6	20 5.9	16 4.7
	2世代(あなたの子ども、または親と同居)	508 100.0	1 0.2	27 5.3	18 3.5	25 4.9	16 3.1	19 3.7	30 5.9	34 6.7	22 4.3
	3世代(あなたの子ども、孫または親と同居)	44 100.0	-	2 4.5	3 6.8	3 6.8	1 2.3	2 4.5	1 2.3	1 2.3	1 2.3
	その他	46 100.0	1 2.2	-	1 2.2	3 6.5	1 2.2	-	2 4.3	6 13.0	1 2.2
	無 回 答	11 100.0	-	-	1 9.1	-	-	1 9.1	-	-	2 18.2
			桜が丘	立野	中央	南街	仲原	向原	清原	新堀	無回答
家族構成別	全 体	191 17.5	64 5.9	56 5.1	112 10.3	35 3.2	118 10.8	44 4.0	49 4.5	8 0.7	
	ひとり暮らし	20 13.8	12 8.3	4 2.8	16 11.0	2 1.4	22 15.2	14 9.7	7 4.8	1 0.7	
	夫婦のみ	54 16.0	25 7.4	14 4.2	28 8.3	12 3.6	35 10.4	13 3.9	13 3.9	1 0.3	
	2世代(あなたの子ども、または親と同居)	105 20.7	20 3.9	32 6.3	51 10.0	18 3.5	49 9.6	16 3.1	24 4.7	1 0.2	
	3世代(あなたの子ども、孫または親と同居)	1 2.3	4 9.1	4 9.1	11 25.0	1 2.3	5 11.4	1 2.3	3 6.8	-	
	その他	11 23.9	3 6.5	2 4.3	5 10.9	1 2.2	7 15.2	-	2 4.3	-	
	無 回 答	-	-	-	1 9.1	1 9.1	-	-	-	5 45.5	

問4. あなたの主な職業についてお答えください。

全体では、「無職（年金等生活者を含む）」が 33.4%と多く、「会社員」が 23.0%、「家事専業」が 13.5%、「パート・アルバイト」が 13.0%と続いている。

年代別では、70歳以上で「無職（年金等生活者を含む）」が 70.1%と多く、20歳代～50歳代の各年代で「会社員」がそれぞれ 40%を超えて多い。「家事専業」は 60歳代で 18.3%とやや多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「無職（年金等生活者を含む）」が 43.8%と多い。



		問4職業[%]											
		全体	会社員	自営業(商店・企業経営など)	農林水産業	公務員	家事専業	専門的職業	パート・アルバイト	学生	無職(年金等生活者を含む)	その他	無回答
地区別	全体	1091	251	49	6	49	147	32	142	7	364	34	10
		100.0	23.0	4.5	0.5	4.5	13.5	2.9	13.0	0.6	33.4	3.1	0.9
	北東地域(清水、狭山)	122	29	4	1	8	14	1	17	1	43	2	2
		100.0	23.8	3.3	0.8	6.6	11.5	0.8	13.9	0.8	35.2	1.6	1.6
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	24	8	-	5	21	5	16	-	47	4	-
		100.0	18.5	6.2	-	3.8	16.2	3.8	12.3	-	36.2	3.1	-
	北西地域(蔵敷、羊窪)	113	28	6	3	3	16	4	20	-	31	2	-
		100.0	24.8	5.3	2.7	2.7	14.2	3.5	17.7	-	27.4	1.8	-
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	27	6	-	3	13	1	13	1	56	7	1
		100.0	21.1	4.7	-	2.3	10.2	0.8	10.2	0.8	43.8	5.5	0.8
南地域(中央、南街、向原)	286	66	17	1	11	33	10	30	3	103	11	1	
	100.0	23.1	5.9	0.3	3.8	11.5	3.5	10.5	1.0	36.0	3.8	0.3	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	77	8	1	19	48	11	46	2	83	8	1	
	100.0	25.3	2.6	0.3	6.3	15.8	3.6	15.1	0.7	27.3	2.6	0.3	
無回答	8	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	5	
	100.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	12.5	-	62.5	

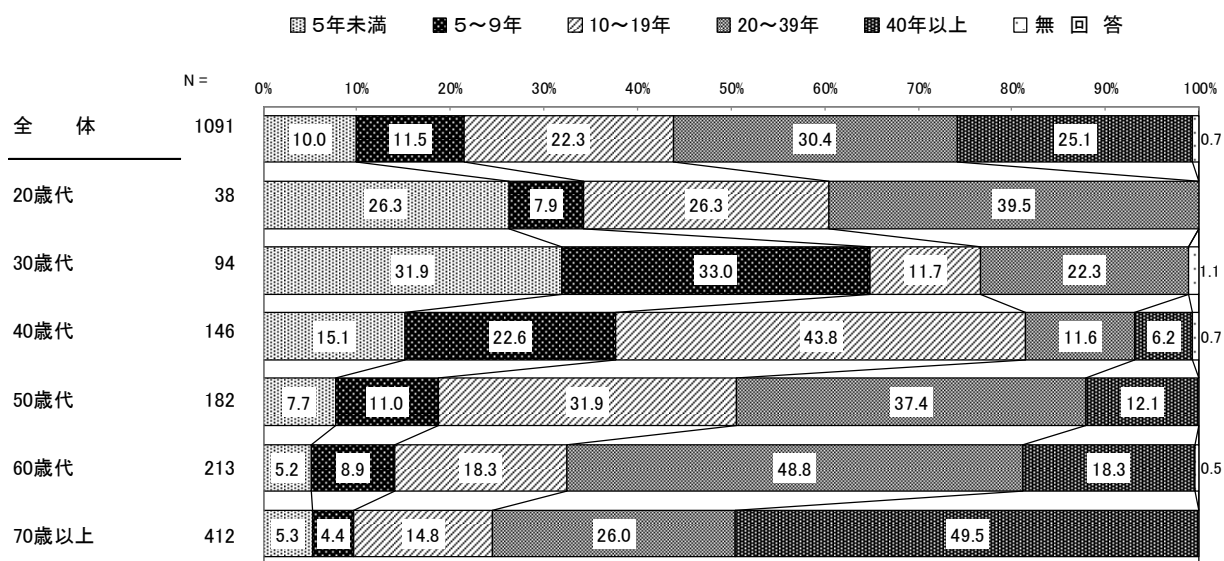
問5. あなたは、現在の地区に何年お住まいですか。

全体では、「20～39年」が30.4%と多く、「40年以上」が25.1%、「10～19年」が22.3%、「5～9年」が11.5%、「5年未満」が10.0%である。

年代別では、「20～39年」は60歳代で48.8%と多く、「40年以上」は70歳以上で49.5%、「10～19年」は40歳代で43.8%と多い。30歳代は「5年未満」と「5～9年」がそれぞれ30%を超えて多い。

地区別では、北西地域（蔵敷、芋窪）で「40年以上」が39.8%、南西地域（立野、上北台、桜が丘）で「10～19年」が35.2%とそれぞれ多い。

問5 現在の地区の居住年数〔%〕

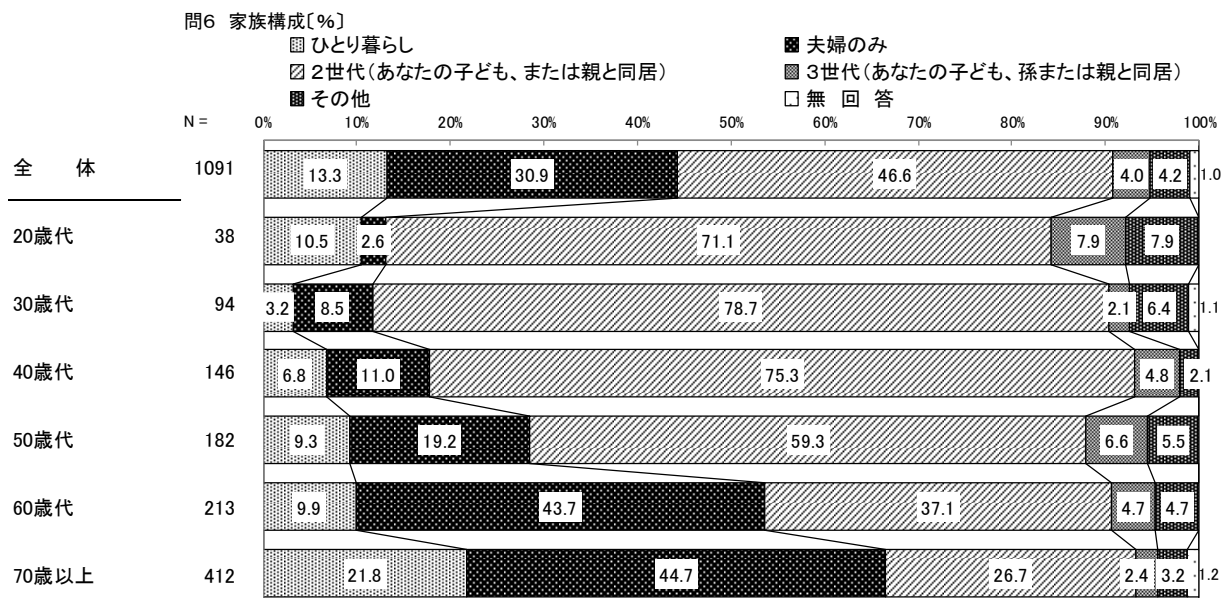


		問5現在の地区の居住年数〔%〕						
		全体	5年未満	5～9年	10～19年	20～39年	40年以上	無回答
地区別	全体	1091	109	125	243	332	274	8
		100.0	10.0	11.5	22.3	30.4	25.1	0.7
	北東地域(清水、狭山)	122	14	8	29	38	33	-
		100.0	11.5	6.6	23.8	31.1	27.0	-
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	14	11	23	47	35	-
		100.0	10.8	8.5	17.7	36.2	26.9	-
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	9	13	14	31	45	1
		100.0	8.0	11.5	12.4	27.4	39.8	0.9
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	16	11	23	37	40	1
	100.0	12.5	8.6	18.0	28.9	31.3	0.8	
南地域(中央、南街、向原)	286	23	29	46	97	91	-	
	100.0	8.0	10.1	16.1	33.9	31.8	-	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	33	52	107	81	30	1	
	100.0	10.9	17.1	35.2	26.6	9.9	0.3	
無回答	8	-	1	1	1	-	5	
	100.0	-	12.5	12.5	12.5	-	62.5	

問6. あなたの家族構成についてお答えください。

全体では、「2世代（あなたの子ども、または親と同居）」が46.6%と最も多く、「夫婦のみ」が30.9%、「ひとり暮らし」が13.3%である。

年代別では、20歳代～40歳代の各年代で「2世代（あなたの子ども、または親と同居）」がそれぞれ70%を超えて多く、60歳代と70歳以上で「夫婦のみ」がそれぞれ40%を超えて多い。70歳以上は「ひとり暮らし」が21.8%と他の年代に比べて多い。

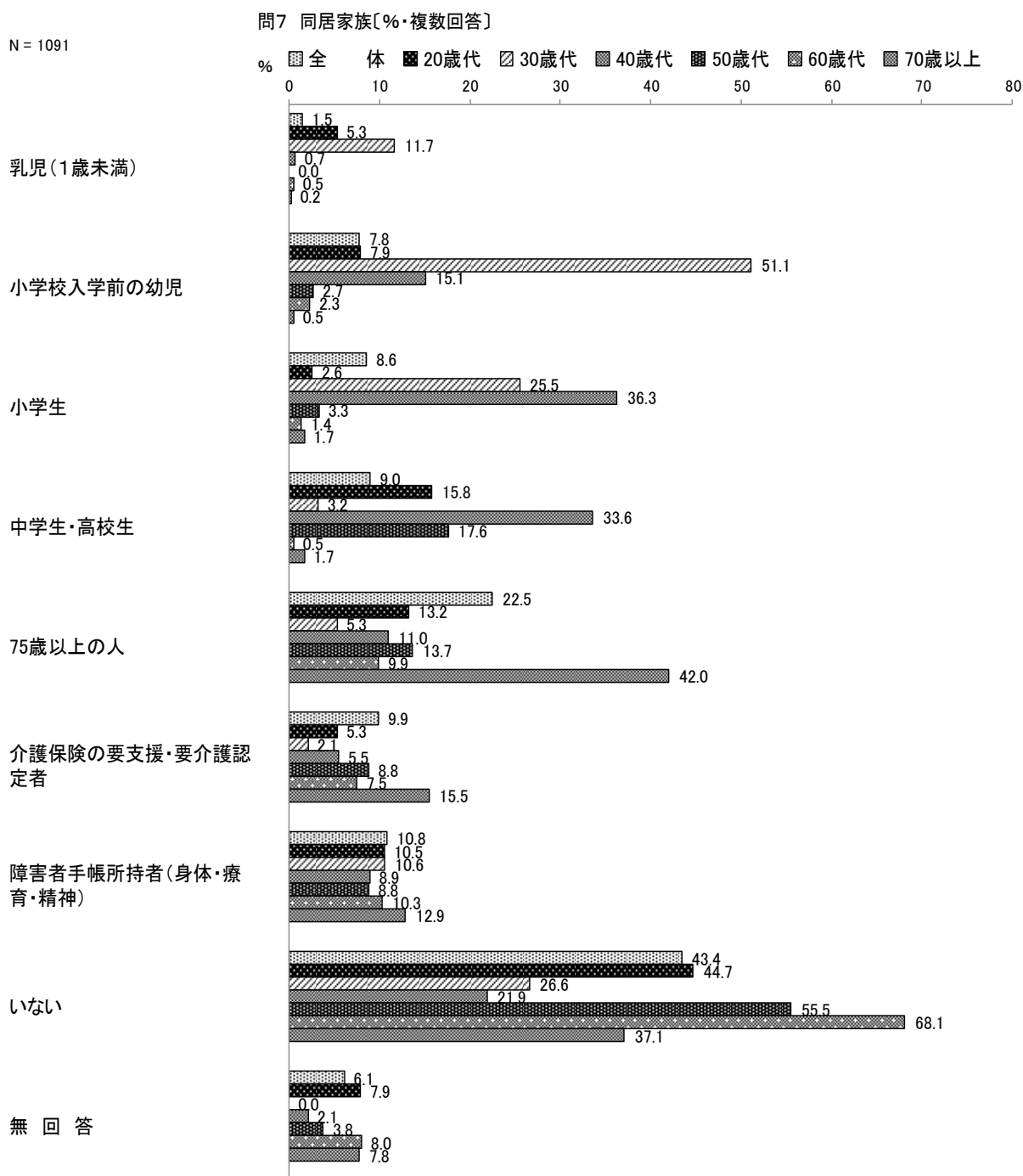


問7. 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。

全体では、「いない」が43.4%と多く、「75歳以上の人」が22.5%と続いている。

年代別では、30歳代で「小学校入学前の幼児」が51.1%と半数を超えて多く、40歳代で「小学生」、「中学生・高校生」がそれぞれ35%前後、70歳以上は「75歳以上の人」が42.0%となっている。

地区別では、北東地域（清水、狭山）で「いない」が50.8%、北西地域（蔵敷、芋窪）で「75歳以上の人」が31.0%とそれぞれ多い。



		問7同居家族[%・複数回答]									
		全 体	乳児(1歳未満)	小学校入学前の幼児	小学生	中学生・高校生	75歳以上の 人	介護保険の 要支援・要 介護認定者	障害者手帳 所持者(身 体・療育・精 神)	いない	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	16 1.5	85 7.8	94 8.6	98 9.0	246 22.5	108 9.9	118 10.8	473 43.4	67 6.1
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	1 0.8	8 6.6	11 9.0	11 9.0	24 19.7	12 9.8	14 11.5	62 50.8	5 4.1
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	2 1.5	6 4.6	16 12.3	13 10.0	30 23.1	14 10.8	13 10.0	53 40.8	11 8.5
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	3 2.7	10 8.8	7 6.2	6 5.3	35 31.0	16 14.2	10 8.8	44 38.9	7 6.2
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	128 100.0	- -	10 7.8	9 7.0	12 9.4	36 28.1	17 13.3	24 18.8	42 32.8	9 7.0
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	2 0.7	24 8.4	21 7.3	27 9.4	85 29.7	32 11.2	30 10.5	113 39.5	15 5.2
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	8 2.6	26 8.6	30 9.9	29 9.5	36 11.8	17 5.6	27 8.9	157 51.6	15 4.9
	無 回 答	8 100.0	- -	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	2 25.0	5 62.5

3. 地域での暮らしや地域との関わり

3.1 暮らしやすさ・地域の心配事

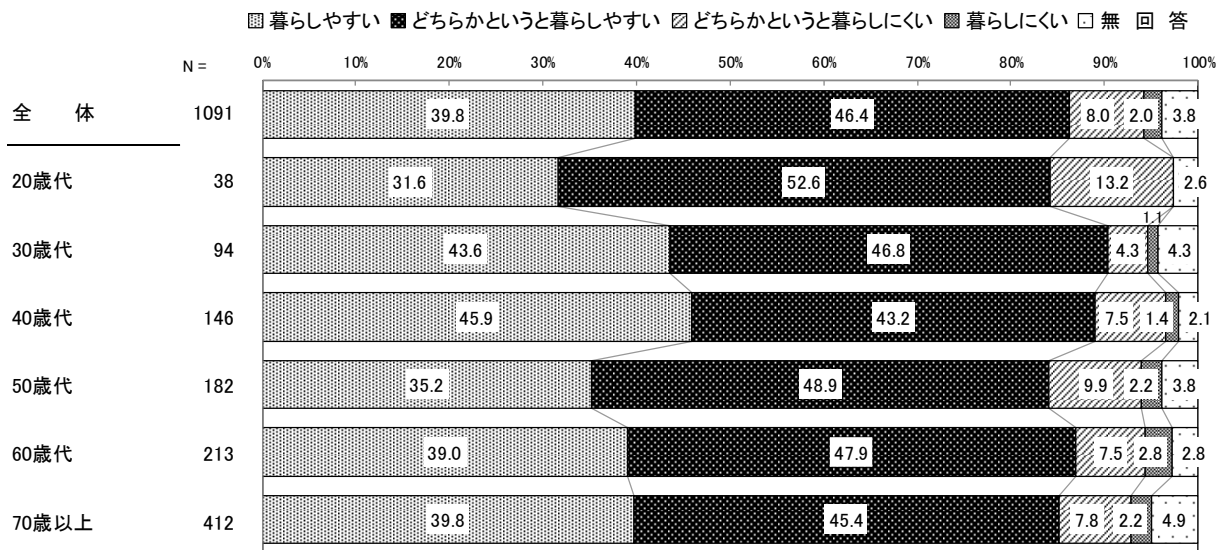
問8. あなたが住んでいる地区は、暮らしやすいと思いますか。

全体では、「どちらかという暮らしやすい」が46.4%、「暮らしやすい」が39.8%と多く、『暮らしやすい』（「どちらかという暮らしやすい」と「暮らしやすい」の合計）は86.2%と多い。

年代別では、30歳代と40歳代で「暮らしやすい」がそれぞれ40%を超えて多い。

地区別では、北東地域（清水、狭山）で「暮らしやすい」が24.6%と少ない。

問8 住んでいる地区の暮らしやすさ[%]



		全体	暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい	無回答
地区別	全体	1091	434	506	87	22	42
		100.0	39.8	46.4	8.0	2.0	3.8
	北東地域(清水、狭山)	122	30	61	18	6	7
		100.0	24.6	50.0	14.8	4.9	5.7
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	47	58	19	2	4
		100.0	36.2	44.6	14.6	1.5	3.1
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	43	55	8	4	3
		100.0	38.1	48.7	7.1	3.5	2.7
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	46	60	16	3	3
		100.0	35.9	46.9	12.5	2.3	2.3
南地域(中央、南街、向原)	286	124	130	15	6	11	
	100.0	43.4	45.5	5.2	2.1	3.8	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	140	140	10	1	13	
	100.0	46.1	46.1	3.3	0.3	4.3	
無回答	8	4	2	1	-	1	
	100.0	50.0	25.0	12.5	-	12.5	

問9. あなたは、住んでいる地区で、日頃から心配なこと、気になることがありますか。それはどのようなことですか。

全体では、「地域の防犯・防災などの安全面」が32.9%と最も多く、「特にない」が26.4%、「高齢者が安心して暮らせる環境」が23.6%、「自然環境、ごみや道路などの生活環境」が19.3%、「子どもが安心して暮らせる環境」が17.7%、「地域でのつきあいや連帯」が16.1%と続いている。

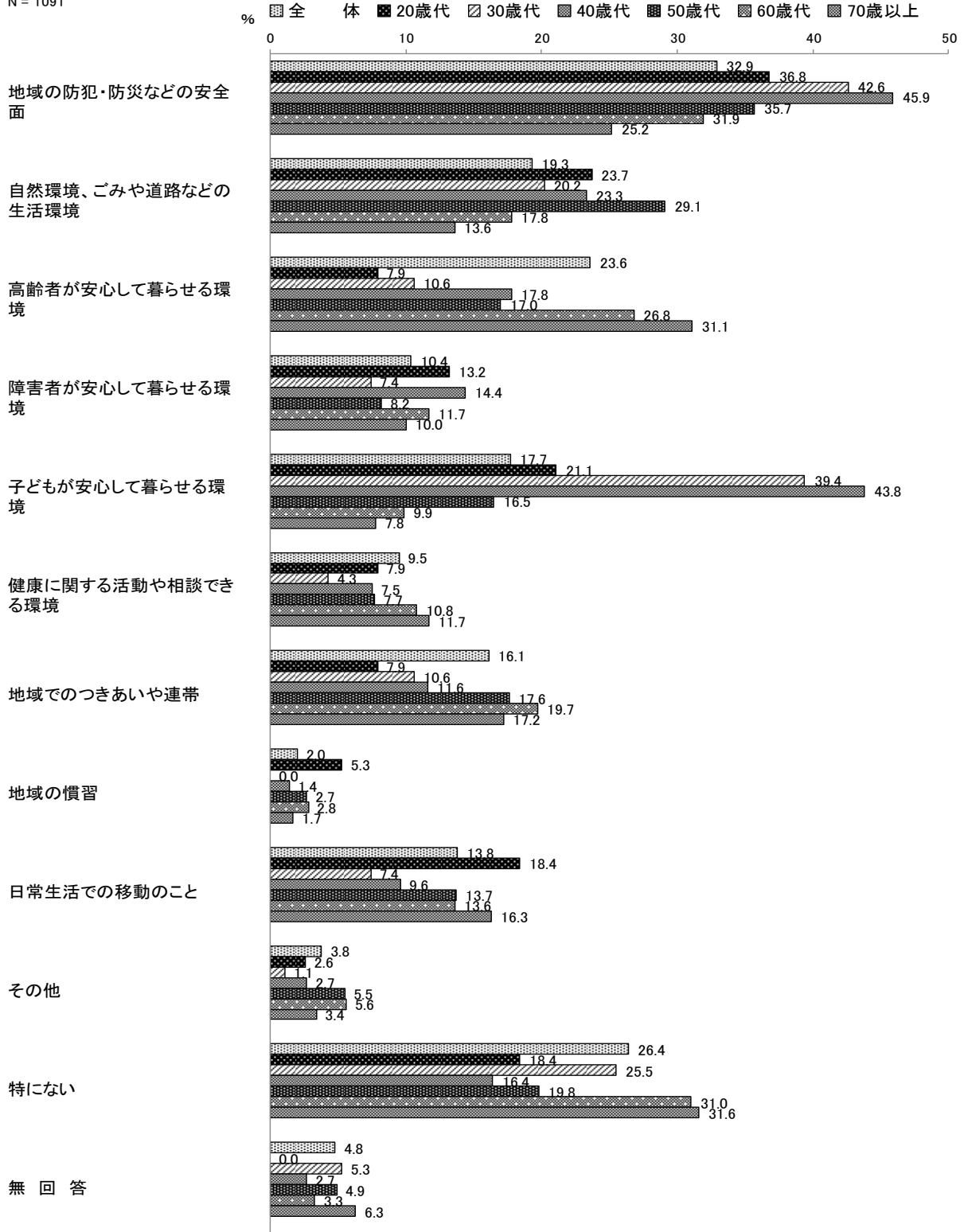
年代別では、40歳代で「地域の防犯・防災などの安全面」と「子どもが安心して暮らせる環境」がそれぞれ45%前後と多く、70歳以上で「高齢者が安心して暮らせる環境」が31.1%、50歳代で「自然環境、ごみや道路などの生活環境」が29.1%と多い。

地区別では、北東地域（清水、狭山）と北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）で「日常生活での移動のこと」がともに27%台と多い。また、北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）では「地域の防犯・防災などの安全面」も40.8%と多い。

暮らしやすさ別では、「高齢者が安心して暮らせる環境」は暮らしにくいで36.4%と多く、「日常生活での移動のこと」はどちらかという暮らしにくいと暮らしにくいでそれぞれ40%を超えて多い。

N = 1091

問9 住んでいる地域での心配なこと等[%・複数回答]



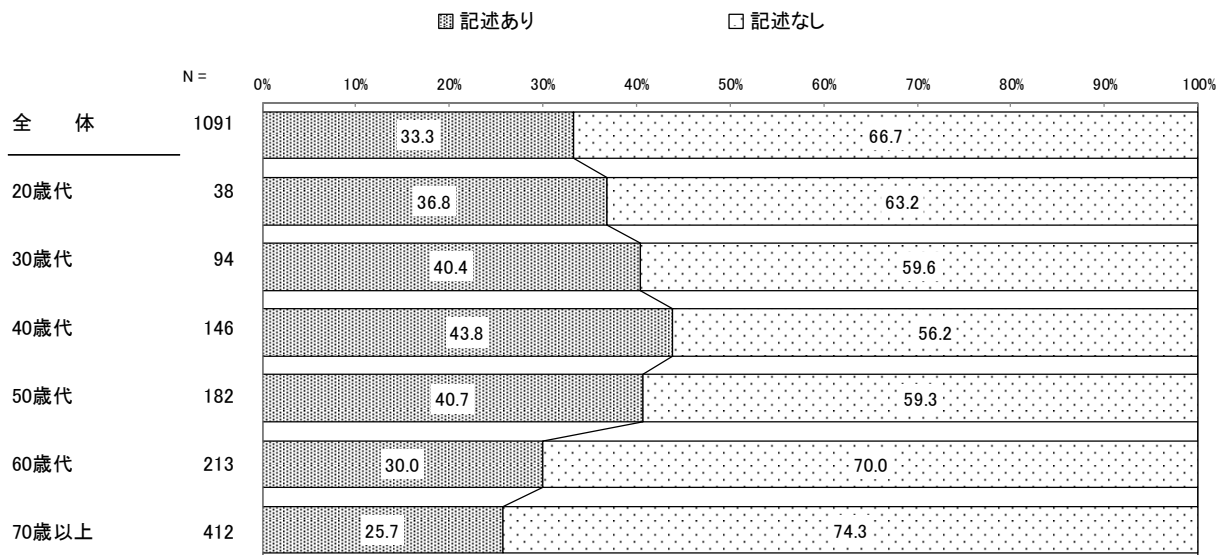
		問9住んでいる地域での心配なこと等[%・複数回答]												
		全 体	地域の防 犯・防災な どの安全 面	自然環境、 ごみや道路 などの生活 環境	高齢者が 安心して 暮らせる 環境	障害者が 安心して 暮らせる 環境	子どもが 安心して 暮らせる 環境	健康に関 する活動 や相談で きる環境	地域での つきあい や連帯	地域の慣 習	日常生活 での移動 のこと	その他	特にな い	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	359 32.9	211 19.3	257 23.6	114 10.4	193 17.7	104 9.5	176 16.1	22 2.0	151 13.8	42 3.8	288 26.4	52 4.8
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	42 34.4	26 21.3	33 27.0	16 13.1	17 13.9	9 7.4	23 18.9	5 4.1	33 27.0	6 4.9	27 22.1	3 2.5
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	53 40.8	30 23.1	34 26.2	16 12.3	23 17.7	5 3.8	18 13.8	3 2.3	36 27.7	4 3.1	27 20.8	5 3.8
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	32 28.3	16 14.2	29 25.7	8 7.1	20 17.7	9 8.0	17 15.0	1 0.9	19 16.8	3 2.7	28 24.8	3 2.7
	南東地域 (清原、新 堀、中原)	128 100.0	42 32.8	33 25.8	32 25.0	20 15.6	18 14.1	15 11.7	27 21.1	5 3.9	24 18.8	5 3.9	26 20.3	11 8.6
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	99 34.6	49 17.1	66 23.1	27 9.4	52 18.2	28 9.8	44 15.4	5 1.7	19 6.6	14 4.9	86 30.1	12 4.2
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	90 29.6	55 18.1	61 20.1	27 8.9	61 20.1	37 12.2	46 15.1	3 1.0	18 5.9	10 3.3	92 30.3	17 5.6
	無 回 答	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	- -	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	2 25.0	- -	2 25.0	1 12.5

		問9住んでいる地域での心配なこと等[%・複数回答]												
		全 体	地域の防 犯・防災な どの安全 面	自然環境、 ごみや道路 などの生活 環境	高齢者が 安心して 暮らせる 環境	障害者が 安心して 暮らせる 環境	子どもが 安心して 暮らせる 環境	健康に関 する活動 や相談で きる環境	地域での つきあい や連帯	地域の慣 習	日常生活 での移動 のこと	その他	特にな い	無回答
暮らしやす さ別	全 体	1091 100.0	359 32.9	211 19.3	257 23.6	114 10.4	193 17.7	104 9.5	176 16.1	22 2.0	151 13.8	42 3.8	288 26.4	52 4.8
	暮らしやす い	434 100.0	136 31.3	58 13.4	85 19.6	33 7.6	72 16.6	26 6.0	42 9.7	4 0.9	19 4.4	13 3.0	168 38.7	12 2.8
	どちらかとい うと暮らしやす い	506 100.0	183 36.2	124 24.5	131 25.9	57 11.3	103 20.4	63 12.5	104 20.6	11 2.2	81 16.0	15 3.0	109 21.5	15 3.0
	どちらかとい うと暮らしにく い	87 100.0	24 27.6	19 21.8	27 31.0	15 17.2	13 14.9	10 11.5	21 24.1	5 5.7	39 44.8	9 10.3	6 6.9	1 1.1
	暮らしにく い	22 100.0	9 40.9	5 22.7	8 36.4	4 18.2	3 13.6	3 13.6	4 18.2	2 9.1	9 40.9	3 13.6	2 9.1	1 4.5
	無 回 答	42 100.0	7 16.7	5 11.9	6 14.3	5 11.9	2 4.8	2 4.8	5 11.9	- -	3 7.1	2 4.8	3 7.1	23 54.8

〈心配ごと、気になることの内容〉

全体では、「記述あり」は33.3%である。主な内容は、「自然環境、ごみや道路などの生活環境のこと」、「地域の防犯・防災などの安全面のこと」、「高齢者・障害者・子どもが安心して暮らせる環境のこと」などである。

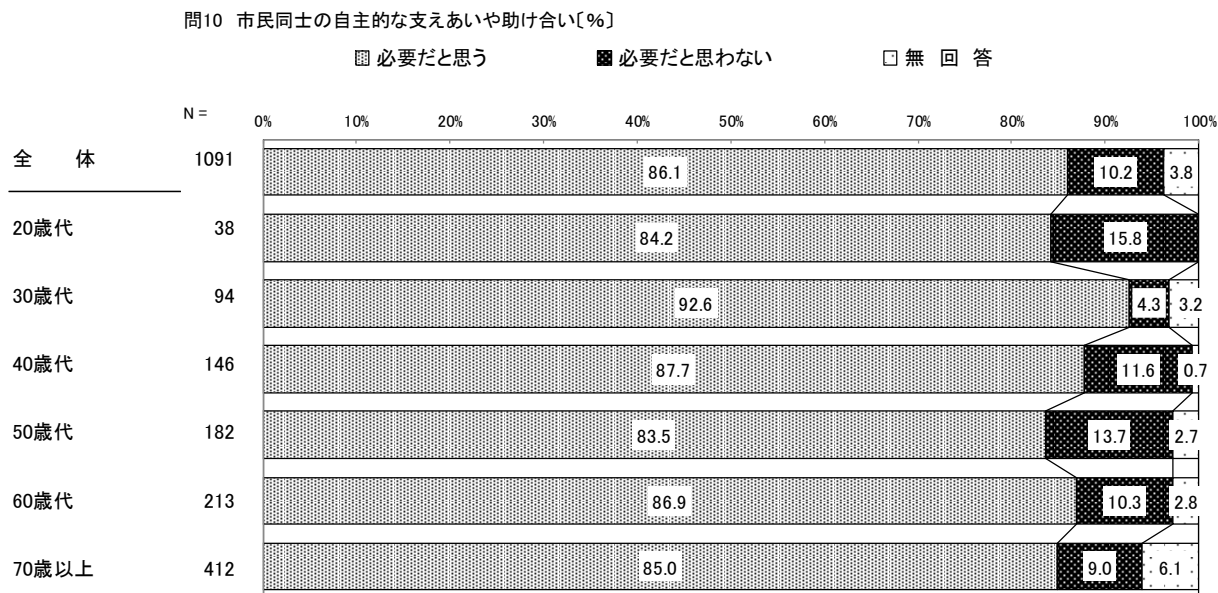
問9 心配ごと、気になることの内容[%]



順位	内容	件数
1位	自然環境、ごみや道路などの生活環境のこと	97
	街路樹の落ち葉の処理・掃除の問題。ルールを守らず出したごみが放置されている。不法投棄が多い。信号のない交差点がある。道路の状態が荒れてきている。通学路になっている道路が狭く、車道と歩道の区別がない。	
2位	地域の防犯・防災などの安全面のこと	86
	台風の際、防災無線がよく聞こえなかった。狭山公民館が避難所に指定されているが、収容する規模、建物の高さ等不安がある。奈良橋川、下水道の氾濫。水害について心配している。駅前に交番がない。不審者情報が多い。防犯カメラがないのでつけてほしい。外灯が少なく暗い。	
3位	高齢者・障害者・子どもが安心して暮らせる環境のこと	45
	子どもを一人で遊びに行かせることに不安がある。子どもが安全で自由に遊べる場所がほとんどない。障害者の事業所が何か所かあるので、地域の人があたたかく見守り安心して過ごしやすい環境になるとよい。マンションに住んでいるが、独居の高齢者の方が孤独死した場合、どのように対処したらよいのか、気になる。老後の私生活。	
4位	日常生活での移動のこと	37
	商店・スーパー等が近所になく、車の運転ができなくなったため、日常生活に必要な買物が心配。駅に出るのも遠い、バスの本数は少ない、ちよこバスは通らない。現在車での移動が多いのだが、免許証を返納してからの移動が不安だ。駅から遠いため交通の便が悪い。	
5位	地域でのつきあいや連帯のこと	33
	自治会の加入者が少ない。自治会があるが、加入世帯が毎年減少している。新しく転入された方々との関係、関わりが少ないと思う。日中、家にいないので近所付き合いがないこと。挨拶のできない人が増えた。高齢化に伴い、役員等になる人がいない。	

問10. あなたは、地域の課題解決のために、市民同士の自主的な支えあい・助け合いが必要だと思いますか。

全体では、「必要だと思う」が86.1%と多くを占める。
 年代別では、30歳代で「必要だと思う」が92.6%と最も多い。



問11. 【問10で1を選んだ方】どのようなときに必要だと思いますか。

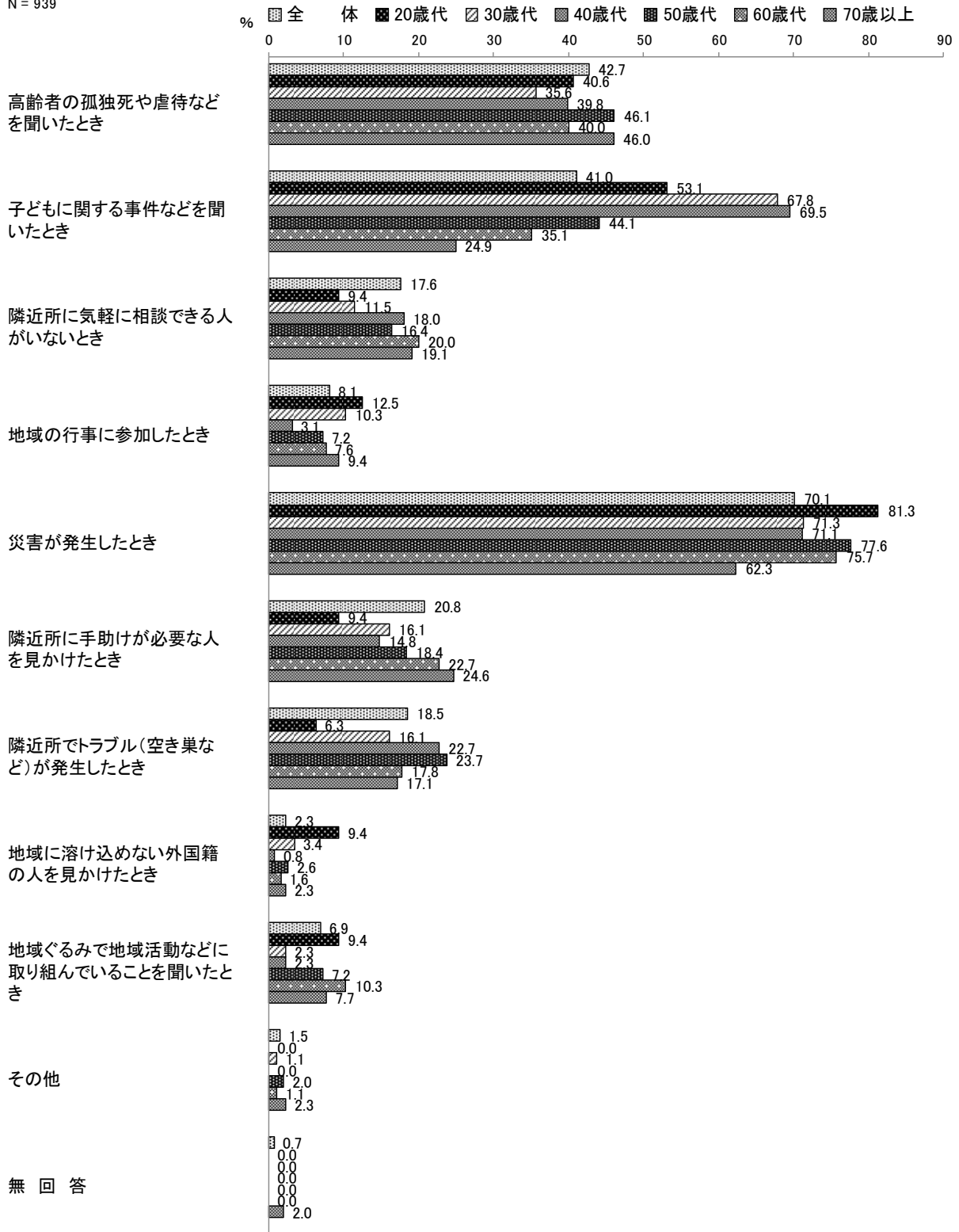
全体では、「災害が発生したとき」が70.1%と最も多く、次いで「高齢者の孤独死や虐待などを聞いたとき」と「子どもに関する事件などを聞いたとき」がそれぞれ40%を超えて多い。

年代別では、20歳代で「災害が発生したとき」が81.3%と多く、30歳代と40歳代で「子どもに関する事件などを聞いたとき」がそれぞれ65%を超えて多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「高齢者の孤独死や虐待などを聞いたとき」が52.8%と多い。

N = 939

問11 どのようなときに必要か〔%・複数回答〕



		問11どのようなときに必要か〔%・複数回答〕											
		全 体	高齢者の孤独死や虐待などを聞いたとき	子どもに関する事件などを聞いたとき	隣近所に気軽に相談できる人がいないとき	地域の行事に参加したとき	災害が発生したとき	隣近所に手助けが必要な人を見たとき	隣近所でトラブル(空き巣など)が発生したとき	地域に溶け込めない外国人の人を見かけたとき	地域ぐるみで地域活動などに取り組んでいることを聞いたとき	その他	無回答
地区別	全 体	939 100.0	401 42.7	385 41.0	165 17.6	76 8.1	658 70.1	195 20.8	174 18.5	22 2.3	65 6.9	14 1.5	7 0.7
	北東地域(清水、狭山)	106 100.0	42 39.6	39 36.8	14 13.2	12 11.3	77 72.6	14 13.2	28 26.4	1 0.9	5 4.7	2 1.9	2 1.9
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	113 100.0	39 34.5	40 35.4	17 15.0	9 8.0	87 77.0	25 22.1	26 23.0	-	13 11.5	-	1 0.9
	北西地域(蔵敷、芋窪)	103 100.0	46 44.7	43 41.7	15 14.6	12 11.7	71 68.9	16 15.5	18 17.5	3 2.9	4 3.9	4 3.9	-
	南東地域(清原、新堀、仲原)	108 100.0	57 52.8	50 46.3	19 17.6	5 4.6	76 70.4	23 21.3	18 16.7	1 0.9	8 7.4	2 1.9	1 0.9
	南地域(中央、南街、向原)	234 100.0	104 44.4	103 44.0	44 18.8	22 9.4	155 66.2	57 24.4	41 17.5	6 2.6	19 8.1	5 2.1	2 0.9
	南西地域(立野、上北台、桜が丘)	268 100.0	111 41.4	108 40.3	56 20.9	14 5.2	187 69.8	58 21.6	42 15.7	11 4.1	16 6.0	1 0.4	1 0.4
	無 回 答	7 100.0	2 28.6	2 28.6	-	2 28.6	5 71.4	2 28.6	1 14.3	-	-	-	-

問12. 【問10で2を選んだ方】必要と思わない理由は何ですか。

全体では、「地域の課題は、行政が全面的に対応すべきだから」が39.6%と多く、「個人の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」が32.4%、「市民同士の協力関係による活動に期待していないから」が29.7%、「友人・知人との結びつきがあれば十分だから」が23.4%と続いている。

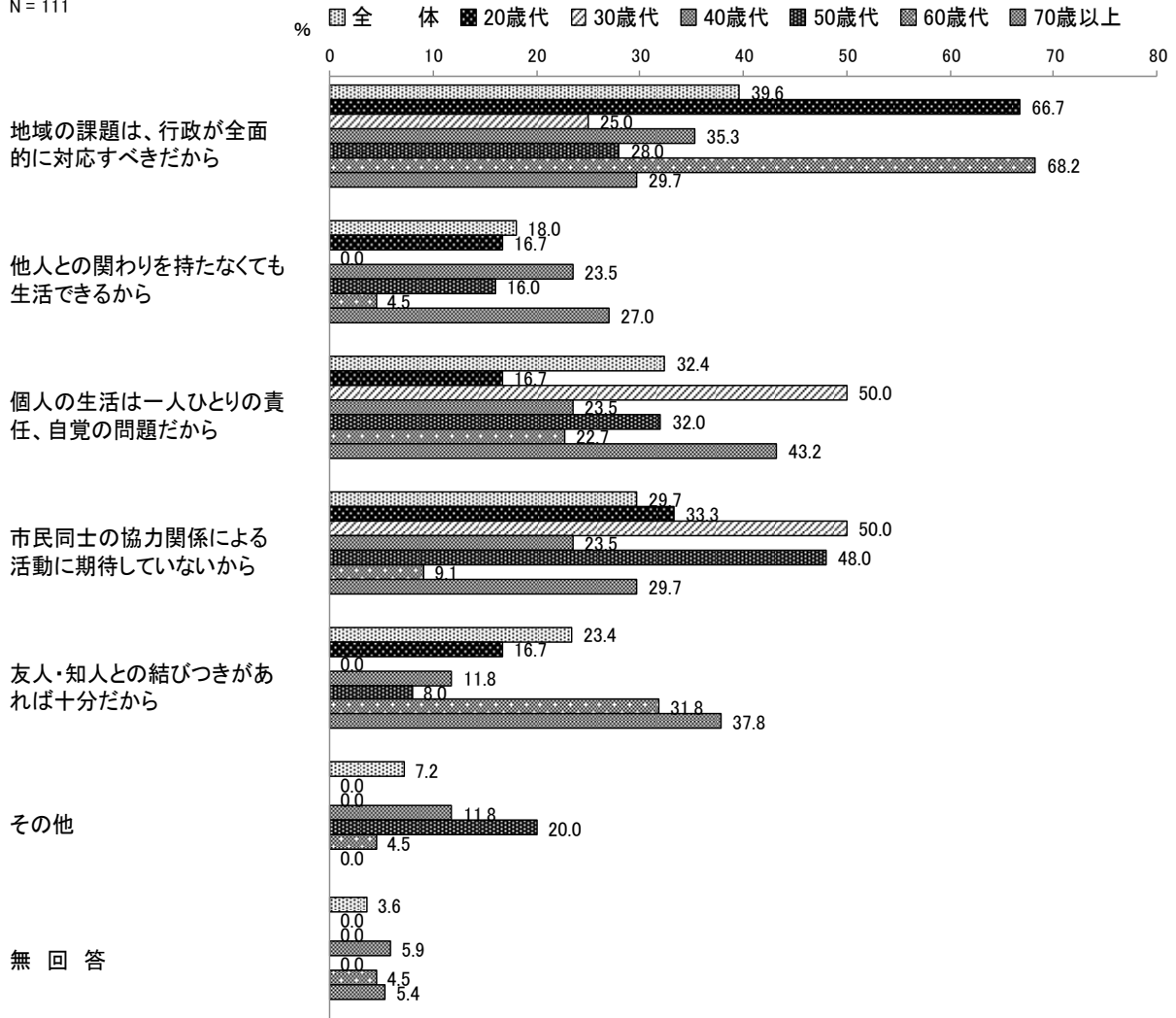
年代別では、20歳代と60歳代で「地域の課題は、行政が全面的に対応すべきだから」がそれぞれ65%を超えて多く、30歳代で「個人の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」と「市民同士の協力関係による活動に期待していないから」がともに50.0%と多い。「友人・知人との結びつきがあれば十分だから」は70歳以上で37.8%と多い。

地区別では、北西地域(蔵敷、芋窪)で「友人・知人と結びつきがあれば十分だから」が44.4%と多く、南東地域(清原、新堀、仲原)で「他人との関わりを持たなくても生活できるから」と「個人の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」がそれぞれ31.3%、43.8%と多い。また、南西地域(立野、上北台、桜が丘)で「市民同士の協力関係による活動に期待していないから」が40.9%と多い。

暮らしやすさ別では、どちらかというと暮らしにくい「地域の課題は、行政が全面的に対応すべきだから」と「市民同士の協力関係による活動に期待していないから」がそれぞれ60%前後と多い。

問12 必要と思わない理由[%・複数回答]

N = 111



		問12 必要と思わない理由[%・複数回答]							
		全体	地域の課題は、行政が全面的に対応すべきだから	他人との関わりを持たなくても生活できるから	個人の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから	市民同士の協力関係による活動に期待していないから	友人・知人との結びつきがあれば十分だから	その他	無回答
地区別	全体	111	44	20	36	33	26	8	4
		100.0	39.6	18.0	32.4	29.7	23.4	7.2	3.6
	北東地域(清水、狭山)	10	4	2	3	3	2	-	2
		100.0	40.0	20.0	30.0	30.0	20.0	-	20.0
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	12	4	2	5	4	3	1	1
		100.0	33.3	16.7	41.7	33.3	25.0	8.3	8.3
	北西地域(蔵敷、芋窪)	9	3	-	3	1	4	1	-
		100.0	33.3	-	33.3	11.1	44.4	11.1	-
南東地域(清原、新堀、仲原)	16	6	5	7	4	4	1	-	
	100.0	37.5	31.3	43.8	25.0	25.0	6.3	-	
南地域(中央、南街、向原)	42	17	6	11	12	10	2	1	
	100.0	40.5	14.3	26.2	28.6	23.8	4.8	2.4	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	22	10	5	7	9	3	3	-	
	100.0	45.5	22.7	31.8	40.9	13.6	13.6	-	

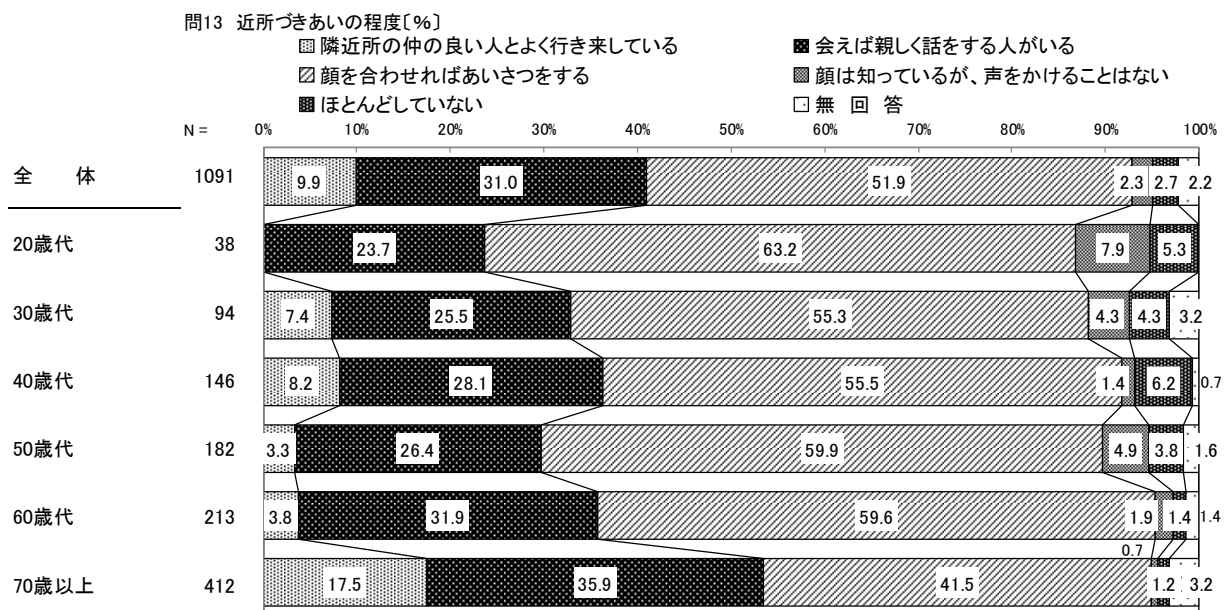
		問12必要と思わない理由〔%・複数回答〕							
		全 体	地域の課題は、行政が全面的に対応すべきだから	他人との関わりを持たなくても生活できるから	個人の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから	市民同士の協力関係による活動に期待していないから	友人・知人との結びつきがあれば十分だから	その他	無回答
暮らしやすさ別	全 体	111 100.0	44 39.6	20 18.0	36 32.4	33 29.7	26 23.4	8 7.2	4 3.6
	暮らしやすい	34 100.0	13 38.2	7 20.6	11 32.4	5 14.7	9 26.5	3 8.8	- -
	どちらかという暮らしやすい	52 100.0	16 30.8	7 13.5	22 42.3	15 28.8	15 28.8	4 7.7	2 3.8
	どちらかという暮らしにくい	22 100.0	14 63.6	5 22.7	3 13.6	13 59.1	2 9.1	- -	2 9.1
	暮らしにくい	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	- -

3.2 近所つきあい・自治会活動

問13. 【全員】あなたは、どの程度近所づきあいをされていますか。

全体では、「顔を合わせればあいさつをする」が51.9%と半数を超えて多く、「会えば親しく話をする人がある」が31.0%と続き、「隣近所の仲の良い人とよく行き来している」は9.9%である。

年代別では、70歳以上で「隣近所の仲の良い人とよく行き来している」と「会えば親しく話をする人がある」がそれぞれ17.5%、35.9%と他の年代と比べて多い。



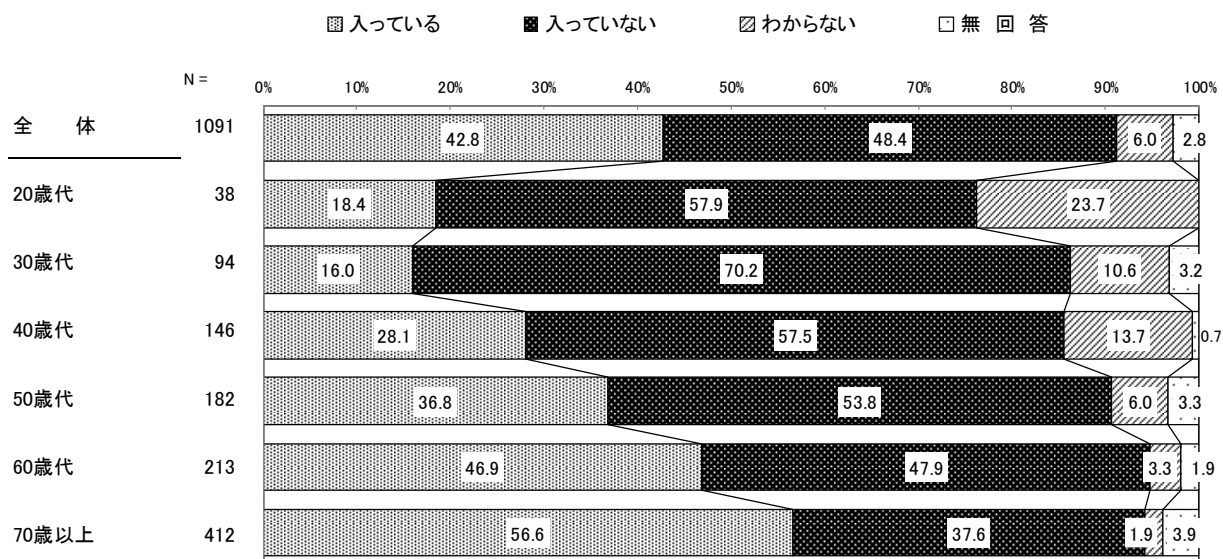
問14. あなたは、自治会に入っていますか。

全体では、「入っていない」が48.4%、「入っている」が42.8%と同程度である。

年代別では、20歳代と30歳代で「入っている」が20%以下と少ないが、年代が上がるにつれ多くなり、70歳以上で56.6%である。

地区別では、北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）と北西地域（蔵敷、芋窪）で「入っている」がともに54%台、南地域（中央、南街、向原）で「入っていない」が59.1%とそれぞれ多い。

問14 自治会への入会[%]

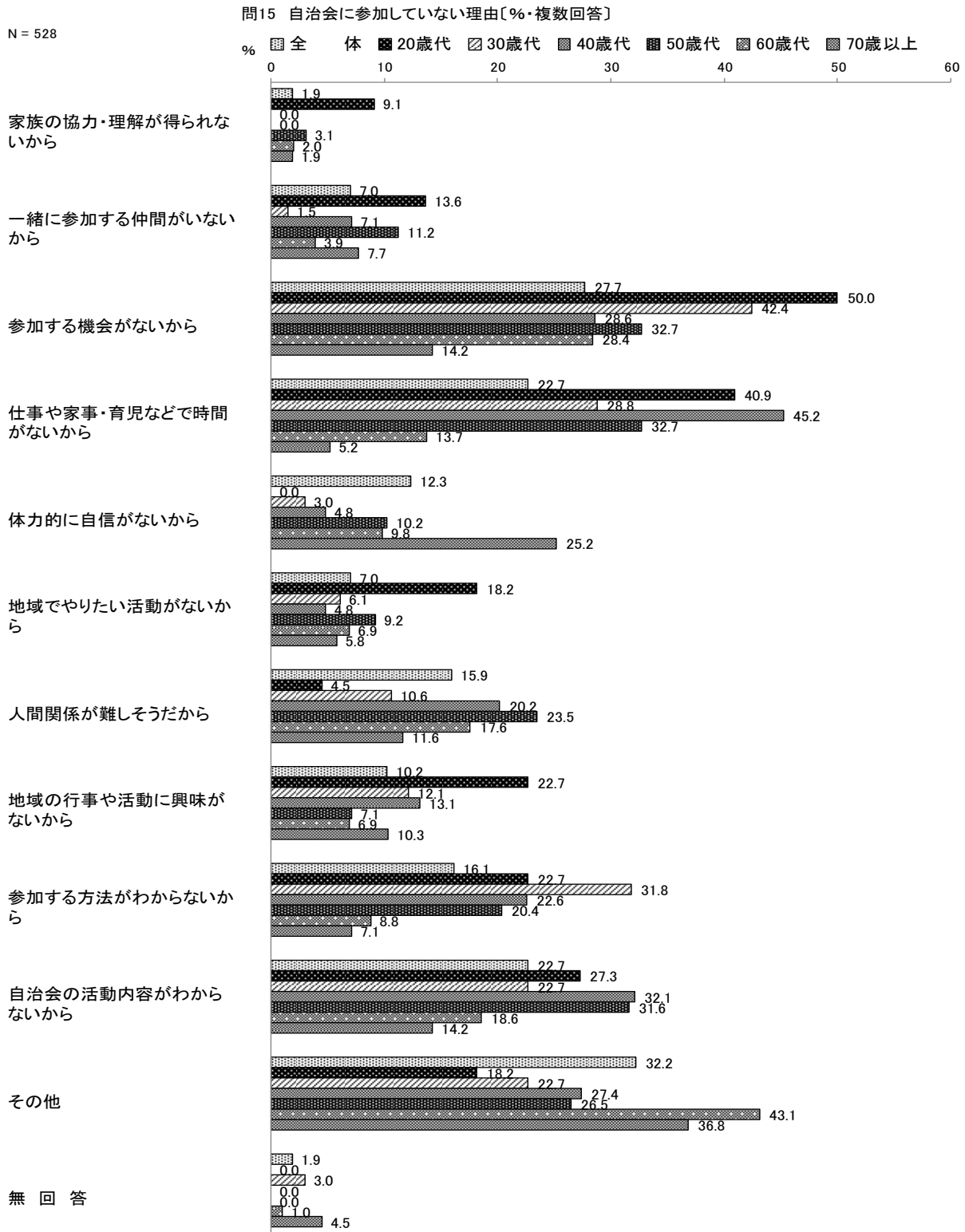


		問14自治会への入会[%]				
		全体	入っている	入っていない	わからない	無回答
地区別	全体	1091	467	528	65	31
		100.0	42.8	48.4	6.0	2.8
	北東地域(清水、狭山)	122	53	59	6	4
		100.0	43.4	48.4	4.9	3.3
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	71	53	3	3
		100.0	54.6	40.8	2.3	2.3
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	62	47	4	-
		100.0	54.9	41.6	3.5	-
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	59	61	6	2
		100.0	46.1	47.7	4.7	1.6
南地域(中央、南街、向原)	286	100	169	10	7	
	100.0	35.0	59.1	3.5	2.4	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	116	138	36	14	
	100.0	38.2	45.4	11.8	4.6	
無回答	8	6	1	-	1	
	100.0	75.0	12.5	-	12.5	

問15. 【問14で2を選んだ方】自治会に参加していない理由は何ですか。

全体では、「参加する機会がないから」が27.7%と多く、「仕事や家事・育児などで時間がないから」と「自治会の活動内容がわからないから」がともに22.7%、「参加する方法がわからないから」が16.1%、「人間関係が難しそうだから」が15.9%、「体力的に自信がないから」が12.3%と続いている。

年代別では、20歳代で「参加する機会がないから」と「仕事や家事・育児などで時間がないから」がそれぞれ50.0%、40.9%と多く、30歳代で「参加する方法がわからないから」が31.8%、70歳以上で「体力的に自信がないから」が25.2%と多い。

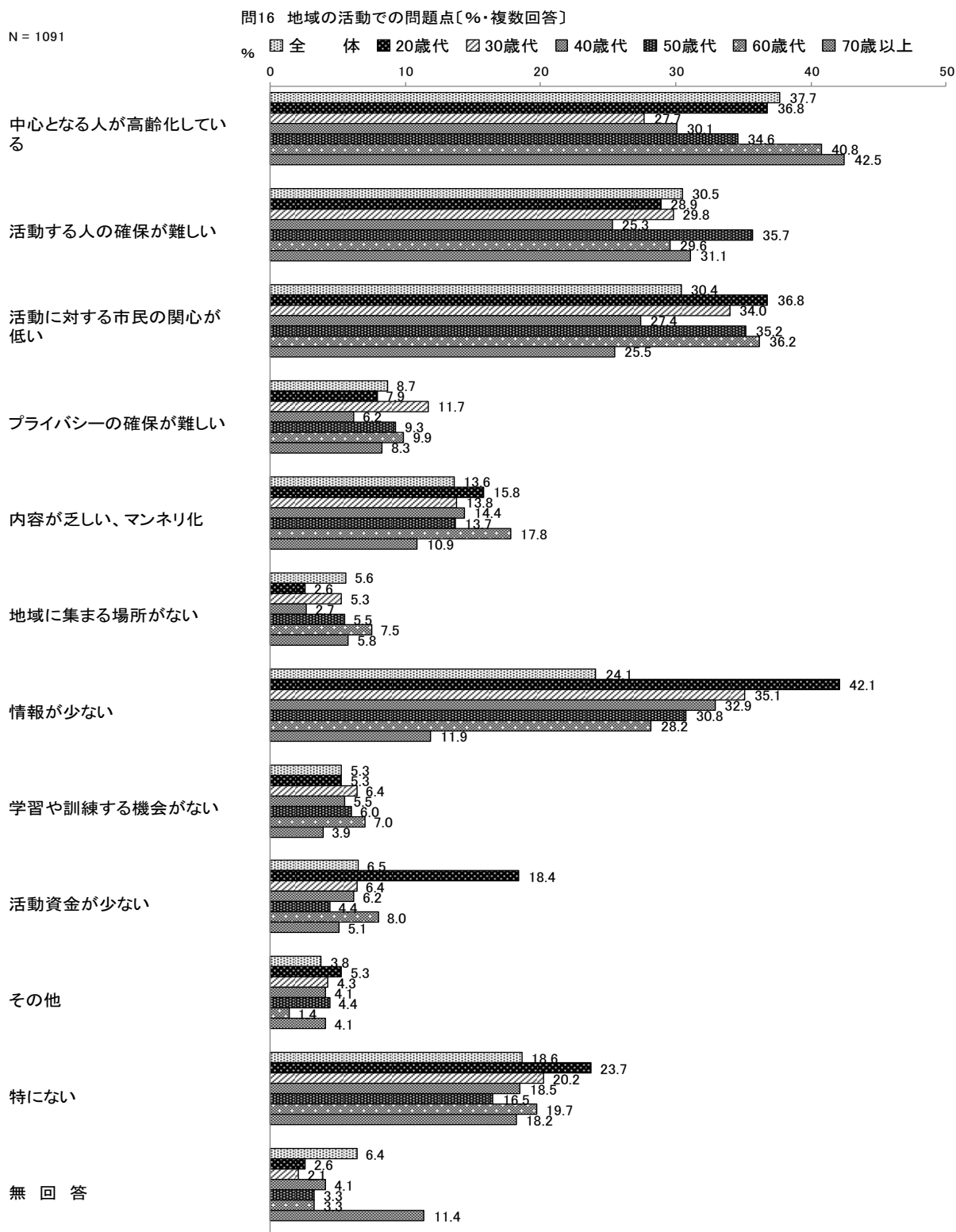


問16. 【全員】あなたの地域の活動で問題だと思うことは何ですか。

全体では、「中心となる人が高齢化している」が37.7%と多く、「活動する人の確保が難しい」と「活動に対する市民の関心が低い」がそれぞれ30%程度、「情報が少ない」が24.1%と続いている。

年代別では、60歳代と70歳以上で「中心となる人が高齢化している」がそれぞれ40%を超えて多く、20歳代で「情報が少ない」が42.1%と多い。

地区別では、北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）で「情報が少ない」が14.6%と少ない。



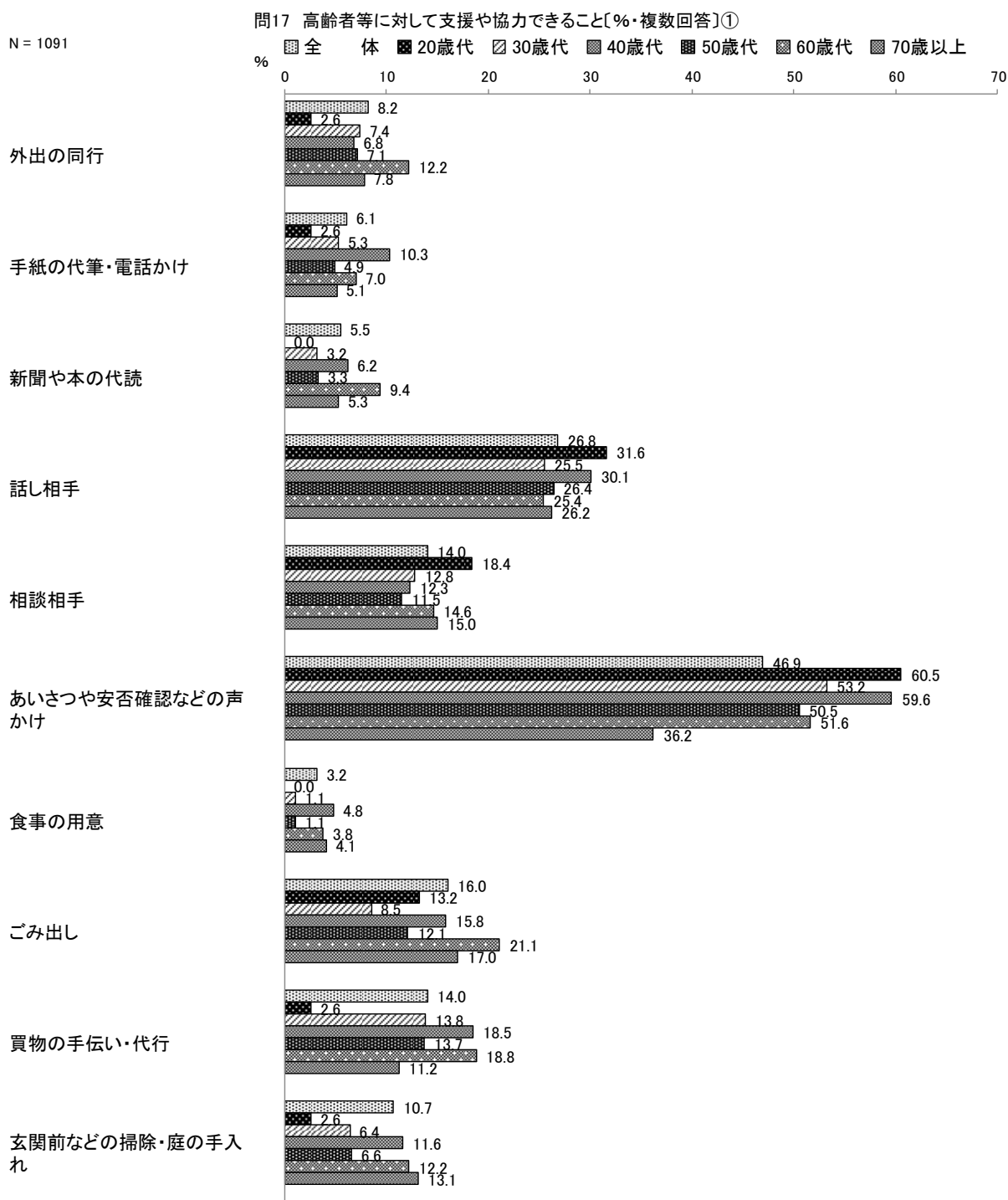
		問16地域の活動での問題点[%・複数回答]												
		全 体	中心となる人が高齢化している	活動する人の確保が難しい	活動に対する市民の関心が低い	プライバシーの確保が難しい	内容が乏しい、マンネリ化	地域に集まる場所がない	情報が少ない	学習や訓練する機会がない	活動資金が少ない	その他	特になし	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	411 37.7	333 30.5	332 30.4	95 8.7	148 13.6	61 5.6	263 24.1	58 5.3	71 6.5	41 3.8	203 18.6	70 6.4
	北東地域 (清水、狹山)	122 100.0	49 40.2	39 32.0	36 29.5	12 9.8	22 18.0	9 7.4	27 22.1	4 3.3	10 8.2	5 4.1	19 15.6	11 9.0
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130 100.0	58 44.6	37 28.5	38 29.2	12 9.2	19 14.6	5 3.8	19 14.6	5 3.8	7 5.4	3 2.3	27 20.8	5 3.8
	北西地域 (蔵敷、芋窪)	113 100.0	46 40.7	35 31.0	29 25.7	7 6.2	15 13.3	5 4.4	23 20.4	4 3.5	6 5.3	2 1.8	23 20.4	9 8.0
	南東地域 (清原、新堀、仲原)	128 100.0	45 35.2	35 27.3	36 28.1	14 10.9	19 14.8	6 4.7	36 28.1	5 3.9	9 7.0	4 3.1	22 17.2	10 7.8
	南地域(中央、南街、向原)	286 100.0	111 38.8	95 33.2	96 33.6	22 7.7	35 12.2	18 6.3	83 29.0	25 8.7	20 7.0	15 5.2	55 19.2	13 4.5
	南西地域 (立野、上北台、桜が丘)	304 100.0	99 32.6	90 29.6	96 31.6	28 9.2	38 12.5	17 5.6	74 24.3	15 4.9	16 5.3	11 3.6	56 18.4	21 6.9
	無 回 答	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	- -	- -	1 12.5	1 12.5	- -	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5

3.3 地域での支えあい

問17. あなたが高齢者や障害のある人、子どもなどが住む近所の世帯に対して、支援や協力できると思うことは何ですか。

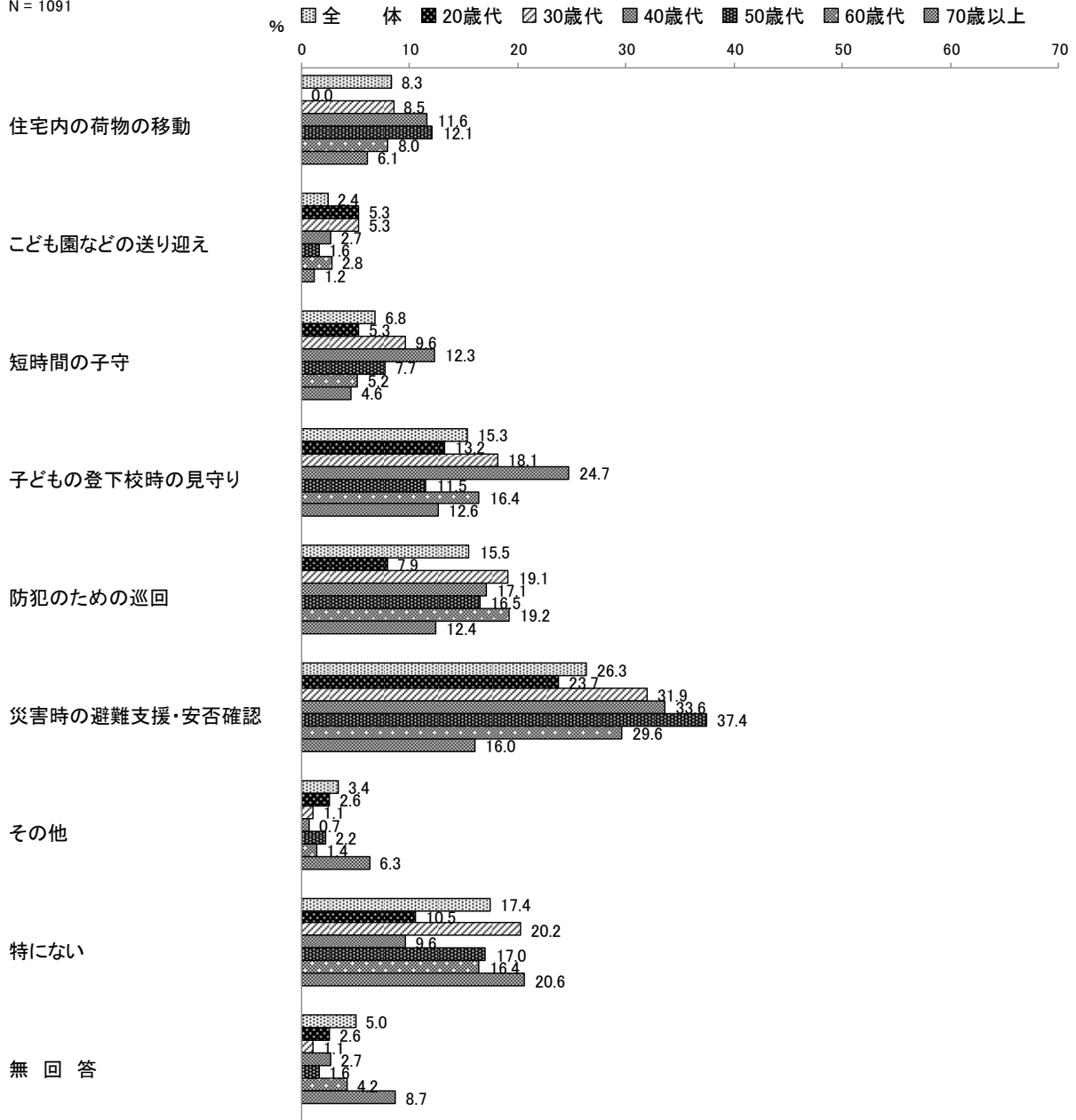
全体では、「あいさつや安否確認などの声かけ」が46.9%と多く、「話し相手」が26.8%、「災害時の避難支援・安否確認」が26.3%、「特にない」が17.4%、「ごみ出し」が16.0%、「防犯のための巡回」が15.5%、「子どもの登下校時の見守り」が15.3%と続いている。

年代別では、「あいさつや安否確認などの声かけ」、「話し相手」、「相談相手」が20歳代でそれぞれ60.5%、31.6%、18.4%と多く、「災害時の避難支援・安否確認」が50歳代で37.4%、「子どもの登下校時の見守り」が40歳代で24.7%と多い。



N = 1091

問17 高齢者等に対して支援や協力できること[%・複数回答]②



問18. あなたは問17の1～17のような地域住民による支援や協力を受けたいと思いますか。

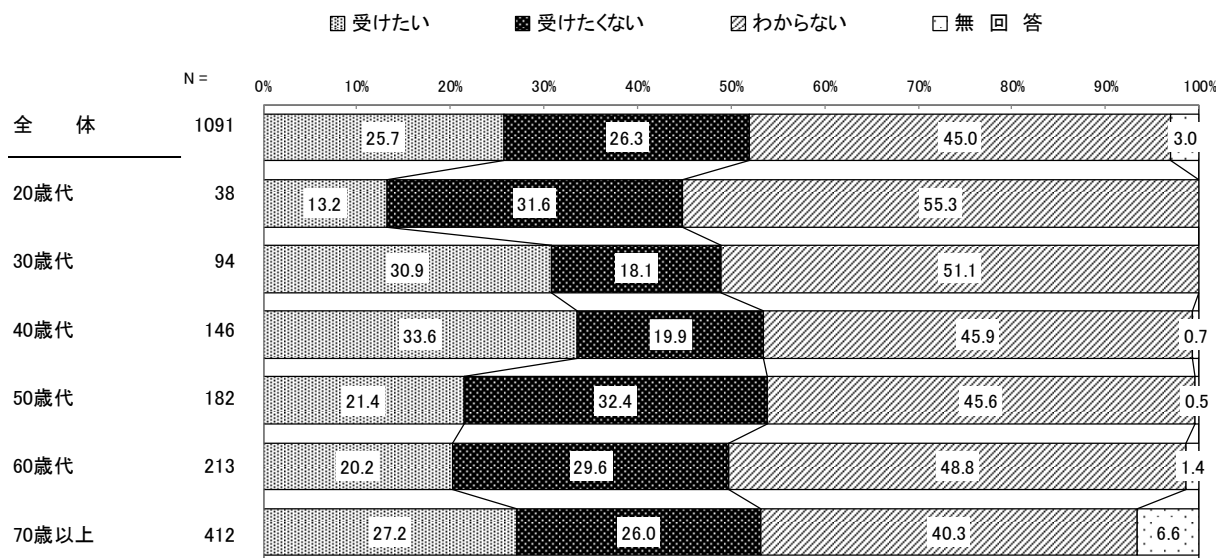
全体では、「受けたい」が25.7%、「受けたくない」が26.3%と同程度である。

年代別では、「受けたい」は30歳代と40歳代で30%を超えて多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「受けたくない」が35.9%と多い。

暮らしやすさ別では、どちらかという暮らしにくいと暮らしにくいで「受けたくない」がそれぞれ35.6%、36.4%と多い。

問18 地域住民による支援を受けたいか[%]



		問18地域住民による支援を受けたいか[%]				
		全体	受けたい	受けたくない	わからない	無回答
地区別	全体	1091	280	287	491	33
		100.0	25.7	26.3	45.0	3.0
	北東地域(清水、狭山)	122	33	27	57	5
		100.0	27.0	22.1	46.7	4.1
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	30	34	61	5
		100.0	23.1	26.2	46.9	3.8
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	28	34	49	2
		100.0	24.8	30.1	43.4	1.8
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	31	46	47	4
		100.0	24.2	35.9	36.7	3.1
南地域(中央、南街、向原)	286	72	83	121	10	
	100.0	25.2	29.0	42.3	3.5	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	82	61	155	6	
	100.0	27.0	20.1	51.0	2.0	
無回答	8	4	2	1	1	
	100.0	50.0	25.0	12.5	12.5	

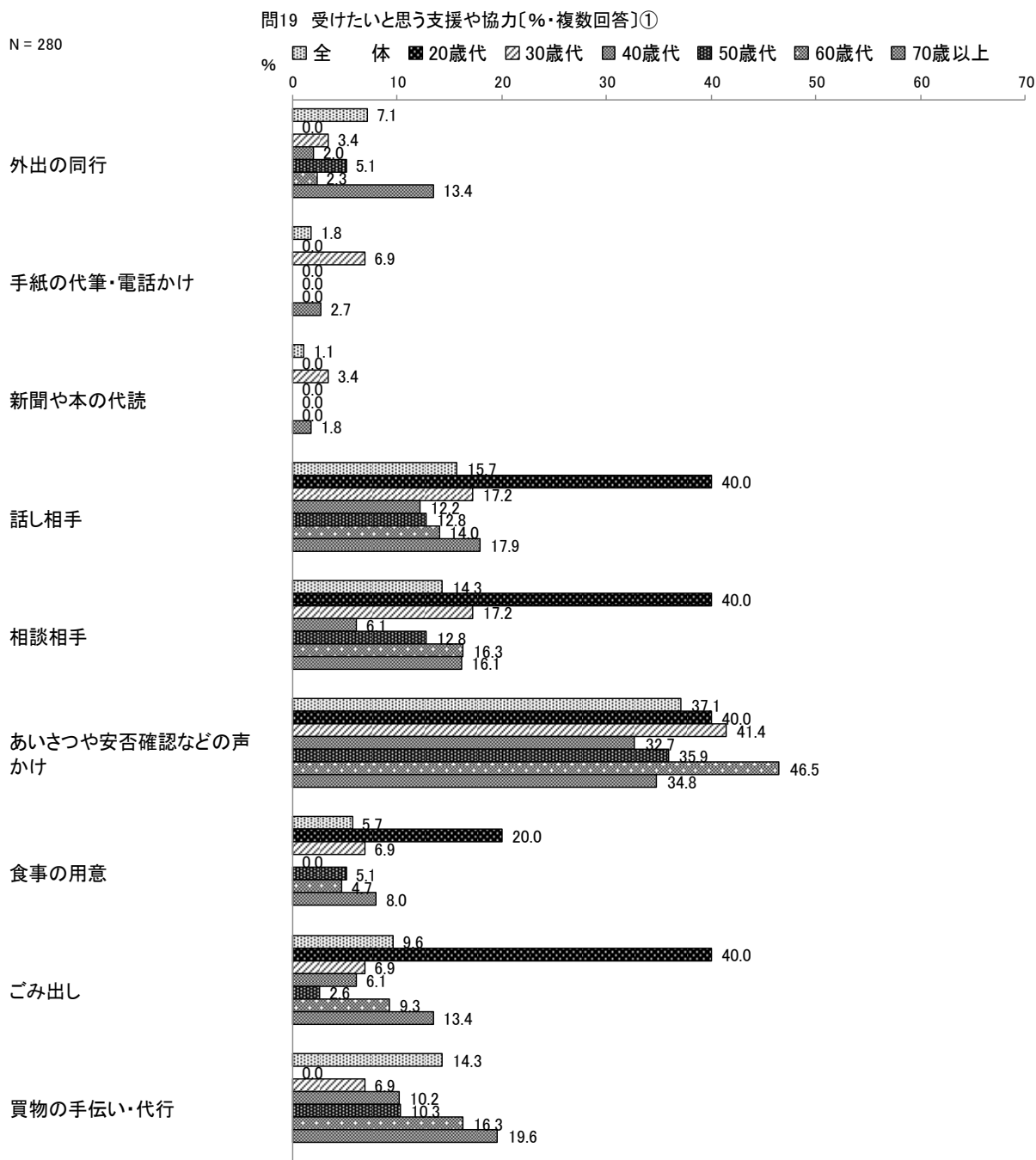
		問18地域住民による支援を受けたいか[%]				
		全 体	受けたい	受けたくない	わからない	無回答
暮らしやす さ別	全 体	1091 100.0	280 25.7	287 26.3	491 45.0	33 3.0
	暮らしやす い	434 100.0	122 28.1	121 27.9	172 39.6	19 4.4
	どちらかとい うと暮らしや すい	506 100.0	125 24.7	119 23.5	253 50.0	9 1.8
	どちらかとい うと暮らしに くい	87 100.0	19 21.8	31 35.6	36 41.4	1 1.1
	暮らしにく い	22 100.0	4 18.2	8 36.4	8 36.4	2 9.1
	無 回 答	42 100.0	10 23.8	8 19.0	22 52.4	2 4.8

問19. 【問18で1を選んだ方】あなたが受けたいと思う支援や協力は何か。

全体では、「災害時の避難支援・安否確認」が56.4%と最も多く、「あいさつや安否確認などの声かけ」が37.1%、「防犯のための巡回」が30.0%と続いている。

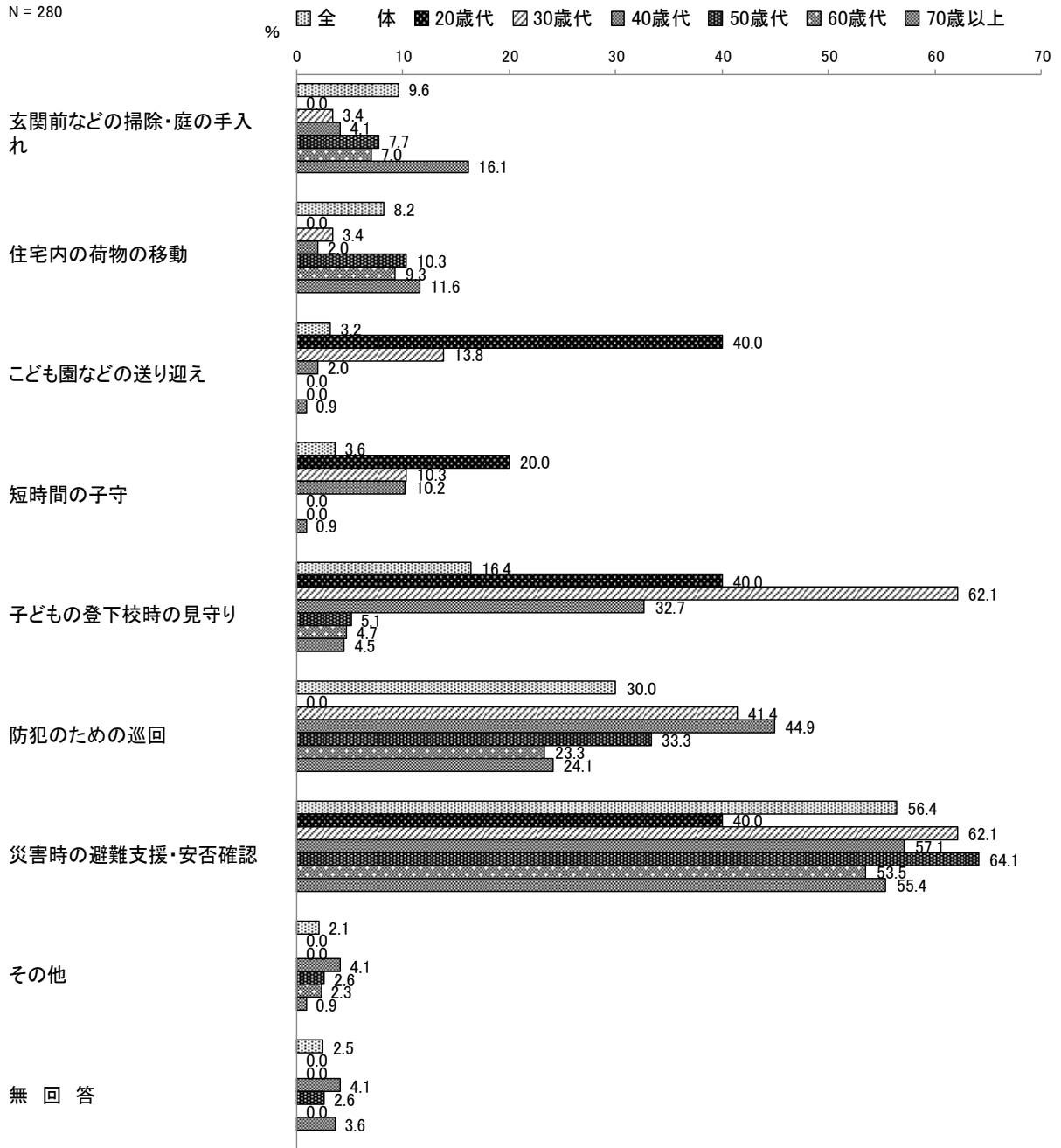
年代別では、20歳代で「話し相手」、「相談相手」、「ごみ出し」と「こども園などの送り迎え」がそれぞれ40.0%と多く、30歳代で「子どもの登下校時の見守り」が62.1%と多い。

地区別では、北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）で「住宅内の荷物の移動」が20.0%、南地域（中央、南街、向原）で「災害時の避難支援・安否確認」が65.3%とそれぞれ多い。「話し相手」は、北西地域（蔵敷、芋窪）と南東地域（清原、新堀、仲原）でともに30%前後と多く、北西地域（蔵敷、芋窪）では「買物の手伝い・代行」と「玄関前などの掃除・庭の手入れ」もそれぞれ20%を超えて多い。



問19 受けたいと思う支援や協力[%・複数回答]②

N = 280



		問19受けたいと思う支援や協力[%・複数回答]									
		全体	外出の同行	手紙の代筆・電話かけ	新聞や本の代読	話し相手	相談相手	あいさつや安否確認などの声かけ	食事の用意	ごみ出し	買物の手伝い・代行
地区別	全体	280	20	5	3	44	40	104	16	27	40
		100.0	7.1	1.8	1.1	15.7	14.3	37.1	5.7	9.6	14.3
	北東地域(清水、狭山)	33	2	-	-	3	1	13	2	2	4
		100.0	6.1	-	-	9.1	3.0	39.4	6.1	6.1	12.1
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	30	-	-	-	6	5	13	1	4	5
		100.0	-	-	-	20.0	16.7	43.3	3.3	13.3	16.7
	北西地域(蔵敷、芋窪)	28	3	-	-	9	5	8	3	2	7
		100.0	10.7	-	-	32.1	17.9	28.6	10.7	7.1	25.0
	南東地域(清原、新堀、仲原)	31	3	2	-	9	7	14	-	5	4
		100.0	9.7	6.5	-	29.0	22.6	45.2	-	16.1	12.9
南地域(中央、南街、向原)	72	6	1	1	7	13	30	2	8	7	
	100.0	8.3	1.4	1.4	9.7	18.1	41.7	2.8	11.1	9.7	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	82	6	2	2	9	9	25	8	6	13	
	100.0	7.3	2.4	2.4	11.0	11.0	30.5	9.8	7.3	15.9	
無回答	4	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
	100.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	
		玄関前などの掃除・庭の手入れ	住宅内の荷物の移動	こども園などの送り迎え	短時間の子守	子どもの登下校時の見守り	防犯のための巡回	災害時の避難支援・安否確認	その他	無回答	
地区別	全体	27	23	9	10	46	84	158	6	7	
		9.6	8.2	3.2	3.6	16.4	30.0	56.4	2.1	2.5	
	北東地域(清水、狭山)	4	2	-	-	5	9	17	-	1	
		12.1	6.1	-	-	15.2	27.3	51.5	-	3.0	
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	2	6	1	3	2	11	17	-	2	
		6.7	20.0	3.3	10.0	6.7	36.7	56.7	-	6.7	
	北西地域(蔵敷、芋窪)	6	3	1	2	4	6	15	-	1	
		21.4	10.7	3.6	7.1	14.3	21.4	53.6	-	3.6	
	南東地域(清原、新堀、仲原)	3	1	-	-	6	7	17	1	-	
		9.7	3.2	-	-	19.4	22.6	54.8	3.2	-	
南地域(中央、南街、向原)	8	6	2	2	11	23	47	1	-		
	11.1	8.3	2.8	2.8	15.3	31.9	65.3	1.4	-		
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	4	5	4	3	17	28	45	3	3		
	4.9	6.1	4.9	3.7	20.7	34.1	54.9	3.7	3.7		
無回答	-	-	1	-	1	-	-	1	-		
	-	-	25.0	-	25.0	-	-	25.0	-		

問20. 【問18で1を選んだ方】地域での手助けを誰にしてほしいと思いますか。

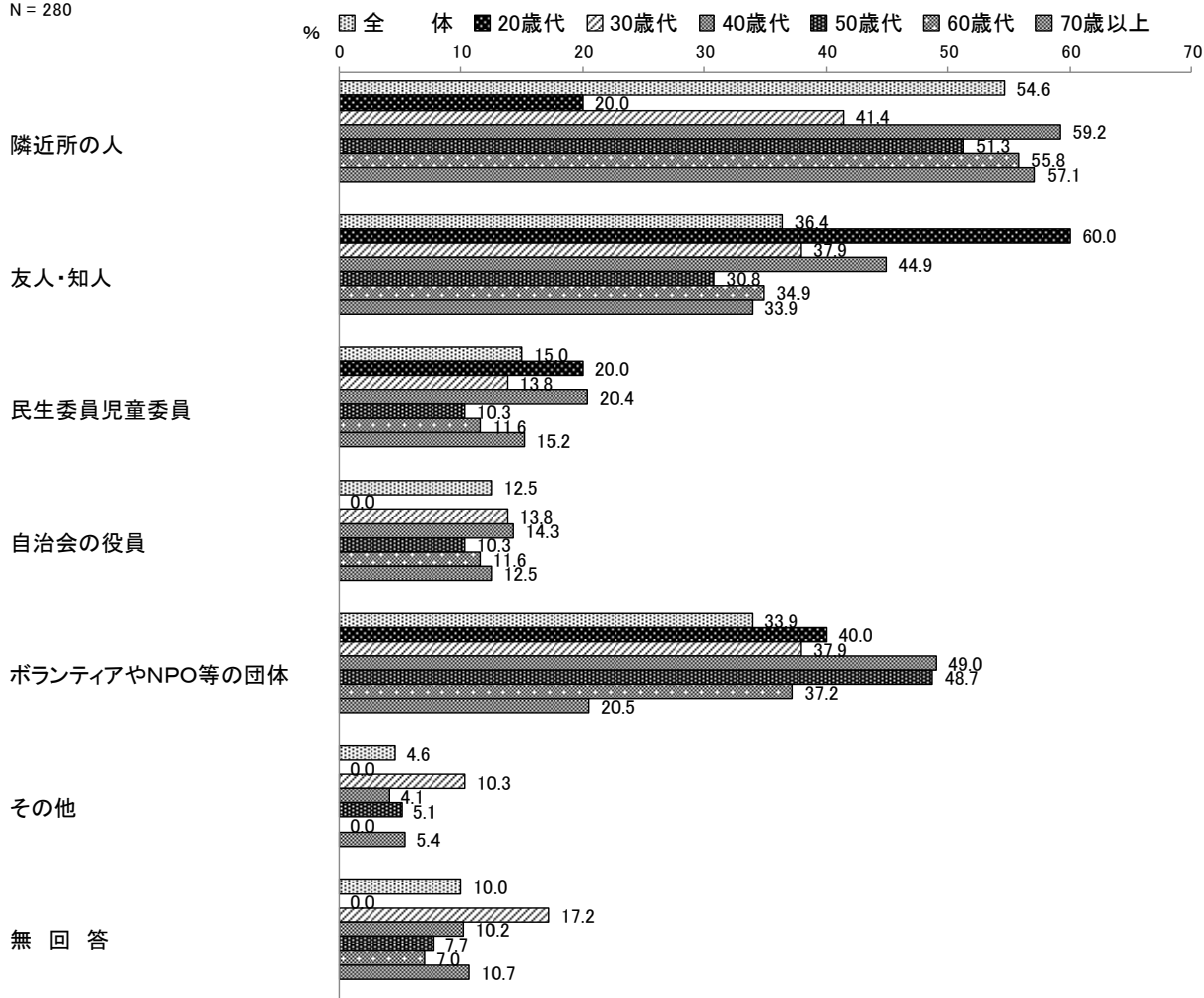
全体では、「隣近所の人」が54.6%と多く、「友人・知人」が36.4%、「ボランティアやNPO等の団体」が33.9%と続いている。

年代別では、20歳代で「隣近所の人」が20.0%と少なく、「友人・知人」が60.0%と最も多い。「ボランティアやNPO等の団体」は40歳代と50歳代でそれぞれ50%近くと多い。

地区別では、「隣近所の人」は北東地域(清水、狭山)と南東地域(清原、新堀、仲原)とともに70%前後と多く、南東地域(清原、新堀、仲原)では「友人・知人」と「自治会の役員」もそれぞれ48.4%、22.6%と多い。また、北西地域(蔵敷、芋窪)で「ボランティアやNPO等の団体」が42.9%と多い。

N = 280

問20 手助けをしてほしい人[%・複数回答]



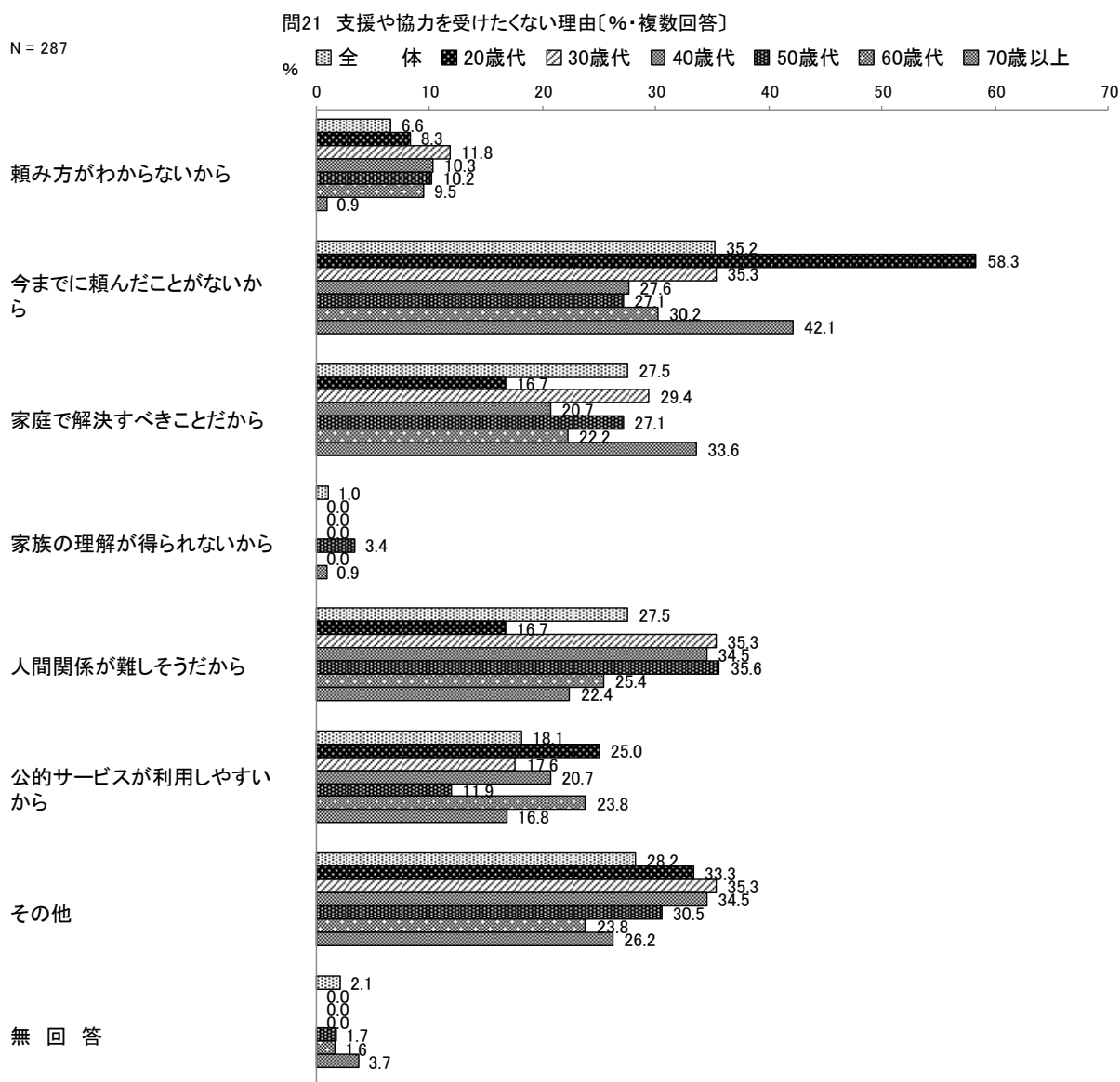
		問20手助けをしてほしい人[%・複数回答]							
		全体	隣近所の人	友人・知人	民生委員児童委員	自治会の役員	ボランティアやNPO等の団体	その他	無回答
地区別	全体	280	153	102	42	35	95	13	28
		100.0	54.6	36.4	15.0	12.5	33.9	4.6	10.0
	北東地域(清水、狭山)	33	23	7	7	2	11	1	4
		100.0	69.7	21.2	21.2	6.1	33.3	3.0	12.1
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	30	15	12	3	3	12	-	4
		100.0	50.0	40.0	10.0	10.0	40.0	-	13.3
	北西地域(蔵敷、芋窪)	28	15	9	4	3	12	1	4
		100.0	53.6	32.1	14.3	10.7	42.9	3.6	14.3
	南東地域(清原、新堀、仲原)	31	22	15	5	7	10	1	4
	100.0	71.0	48.4	16.1	22.6	32.3	3.2	12.9	
南地域(中央、南街、向原)	72	40	26	8	8	22	4	7	
	100.0	55.6	36.1	11.1	11.1	30.6	5.6	9.7	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	82	35	32	14	11	27	6	5	
	100.0	42.7	39.0	17.1	13.4	32.9	7.3	6.1	
無回答	4	3	1	1	1	1	-	-	
	100.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	

問21. 【問18で2を選んだ方】あなたが支援や協力を受けたくないと思う理由は何ですか。

全体では、「今までに頼んだことがないから」が35.2%と多く、「家庭で解決すべきことだから」と「人間関係が難しそうだから」がともに27.5%と続いている。

年代別では、20歳代で「今までに頼んだことがないから」が58.3%と最も多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「家庭で解決すべきことだから」が41.3%と多い。



		問21 支援や協力を受けたくない理由〔%・複数回答〕								
		全 体	頼み方が わからな いから	今までに頼 んだことが ないから	家庭で解 決すべき ことだから	家族の理解 が得られな いから	人間関係 が難しそう だから	公的サービ スが利用し やすいから	その他	無回答
地区別	全 体	287 100.0	19 6.6	101 35.2	79 27.5	3 1.0	79 27.5	52 18.1	81 28.2	6 2.1
	北東地域(清 水、狭山)	27 100.0	1 3.7	10 37.0	3 11.1	1 3.7	6 22.2	6 22.2	15 55.6	1 3.7
	北地域(多摩 湖、湖畔、奈 良橋、高木)	34 100.0	2 5.9	9 26.5	12 35.3	-	9 26.5	7 20.6	6 17.6	2 5.9
	北西地域(蔵 敷、芋窪)	34 100.0	2 5.9	10 29.4	9 26.5	-	8 23.5	8 23.5	13 38.2	2 5.9
	南東地域(清 原、新堀、仲 原)	46 100.0	3 6.5	15 32.6	19 41.3	1 2.2	15 32.6	9 19.6	13 28.3	-
	南地域(中 央、南街、向 原)	83 100.0	5 6.0	33 39.8	21 25.3	-	22 26.5	11 13.3	19 22.9	1 1.2
	南西地域(立 野、上北台、 桜が丘)	61 100.0	6 9.8	24 39.3	13 21.3	1 1.6	19 31.1	10 16.4	15 24.6	-
	無 回 答	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-

4. 社会福祉協議会や地域に関わっている団体・活動

4.1 社会福祉協議会について

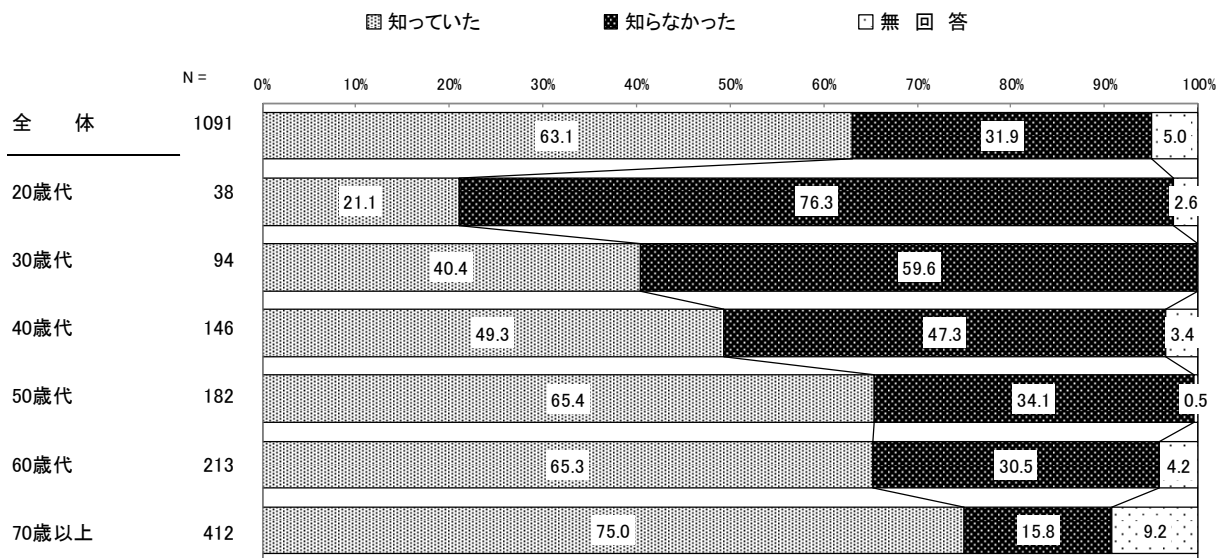
問22. あなたは、地域福祉の推進を図るために諸活動を行っている「東大和市社会福祉協議会」という組織を知っていましたか。

全体では、「知っていた」が63.1%と半数を超えている。

年代別では、「知っていた」は20歳代で21.1%と少ないが、50歳代から65%を超え、70歳以上は75.0%である。

地区別では、南西地域（立野、上北台、桜が丘）で「知っていた」が55.3%と少ない。

問22「東大和市社会福祉協議会」の認知[%]



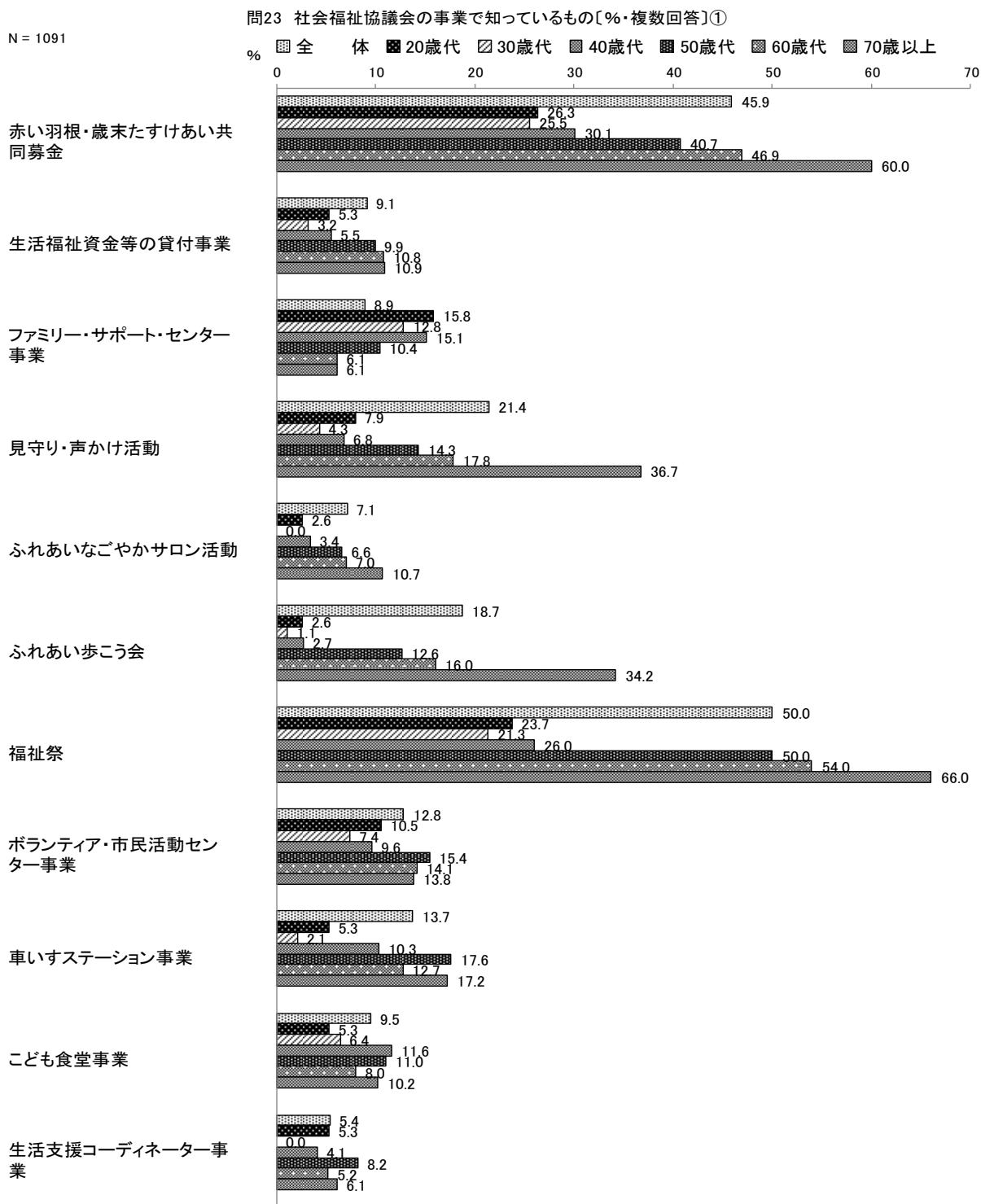
		問22「東大和市社会福祉協議会」の認知 [%]			
		全体	知っていた	知らなかった	無回答
地区別	全体	1091	688	348	55
		100.0	63.1	31.9	5.0
	北東地域(清水、狭山)	122	80	36	6
		100.0	65.6	29.5	4.9
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	87	38	5
		100.0	66.9	29.2	3.8
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	77	33	3
		100.0	68.1	29.2	2.7
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	82	37	9
	100.0	64.1	28.9	7.0	
南地域(中央、南街、向原)	286	190	85	11	
	100.0	66.4	29.7	3.8	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	168	116	20	
	100.0	55.3	38.2	6.6	
無回答	8	4	3	1	
	100.0	50.0	37.5	12.5	

問23. あなたは、社会福祉協議会の事業やサービスについて、知っているものはありますか。

全体では、「福祉祭」が50.0%、「赤い羽根・歳末たすけあい共同募金」が45.9%、「社協だよりの発行」が45.6%と多く、「見守り・声かけ活動」が21.4%と続いている。

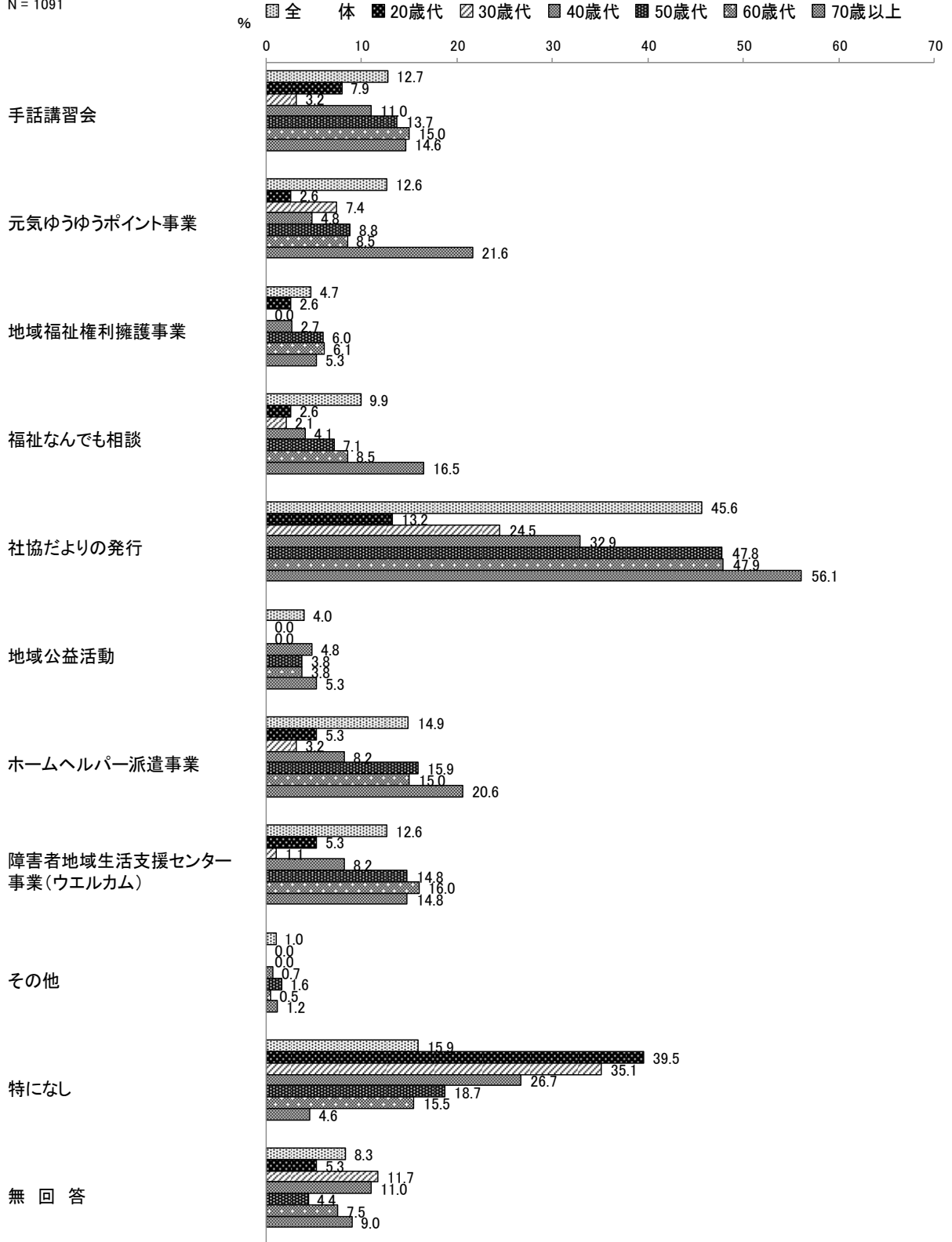
年代別では、70歳以上で「福祉祭」が66.0%、「赤い羽根・歳末たすけあい共同募金」が60.0%、「社協だよりの発行」が56.1%、「見守り・声かけ活動」が36.7%と多い。

地区別では、南西地域（立野、上北台、桜が丘）で「福祉祭」が37.8%、「社協だよりの発行」が38.8%とそれぞれ少ない。



問23 社会福祉協議会の事業で知っているもの[%・複数回答]②

N = 1091



		問23社会福祉協議会の事業で知っているもの[%・複数回答]											
		全 体	赤い羽根・ 歳末たすけ あい共同募 金	生活福祉 資金等の 貸付事業	ファミリー・ サポート・セ ンター事業	見守り・声 かけ活動	ふれあいな ごやかサロ ン活動	ふれあい 歩こう会	福祉祭	ボランティア・ 市民活 動センター 事業	車いすス テーション 事業	こども食堂 事業	生活支援 コーディネ ーター事業
地区別	全 体	1091 100.0	501 45.9	99 9.1	97 8.9	233 21.4	77 7.1	204 18.7	545 50.0	140 12.8	149 13.7	104 9.5	59 5.4
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	62 50.8	13 10.7	11 9.0	23 18.9	7 5.7	26 21.3	69 56.6	11 9.0	16 13.1	11 9.0	9 7.4
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	55 42.3	6 4.6	8 6.2	28 21.5	5 3.8	29 22.3	75 57.7	21 16.2	16 12.3	12 9.2	5 3.8
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	60 53.1	12 10.6	10 8.8	26 23.0	6 5.3	29 25.7	67 59.3	15 13.3	15 13.3	12 10.6	6 5.3
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	128 100.0	59 46.1	15 11.7	10 7.8	34 26.6	12 9.4	22 17.2	64 50.0	20 15.6	28 21.9	10 7.8	14 10.9
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	137 47.9	35 12.2	25 8.7	74 25.9	32 11.2	62 21.7	155 54.2	39 13.6	41 14.3	34 11.9	15 5.2
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	125 41.1	18 5.9	32 10.5	46 15.1	15 4.9	35 11.5	115 37.8	34 11.2	33 10.9	25 8.2	10 3.3
	無 回 答	8 100.0	3 37.5	-	1 12.5	2 25.0	-	1 12.5	-	-	-	-	-
		手話講習 会	元気ゆう ゆうポイン ト事業	地域福祉 権利擁護 事業	福祉なん でも相談	社協だよ りの発行	地域公益 活動	ホームヘ ルパー派 遣事業	障害者地域 生活支援セ ンター事業 (ウエルカ ム)	その他	特になし	無回答	
地区別	全 体	139 12.7	138 12.6	51 4.7	108 9.9	497 45.6	44 4.0	163 14.9	137 12.6	11 1.0	174 15.9	91 8.3	
	北東地域 (清水、狭 山)	11 9.0	16 13.1	7 5.7	11 9.0	63 51.6	6 4.9	19 15.6	18 14.8	-	16 13.1	9 7.4	
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	14 10.8	16 12.3	2 1.5	11 8.5	57 43.8	6 4.6	19 14.6	15 11.5	1 0.8	20 15.4	10 7.7	
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	22 19.5	19 16.8	6 5.3	12 10.6	58 51.3	7 6.2	16 14.2	14 12.4	-	15 13.3	10 8.8	
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	21 16.4	21 16.4	8 6.3	15 11.7	58 45.3	5 3.9	28 21.9	17 13.3	3 2.3	20 15.6	16 12.5	
	南地域(中 央、南街、 向原)	42 14.7	43 15.0	18 6.3	37 12.9	141 49.3	14 4.9	53 18.5	47 16.4	4 1.4	38 13.3	18 6.3	
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	29 9.5	23 7.6	10 3.3	22 7.2	118 38.8	6 2.0	28 9.2	26 8.6	2 0.7	64 21.1	27 8.9	
	無 回 答	-	-	-	-	2 25.0	-	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	

問24. 【問23で1～20までに○をされた方】あなたは、事業やサービスについてどのような方法で知りましたか。

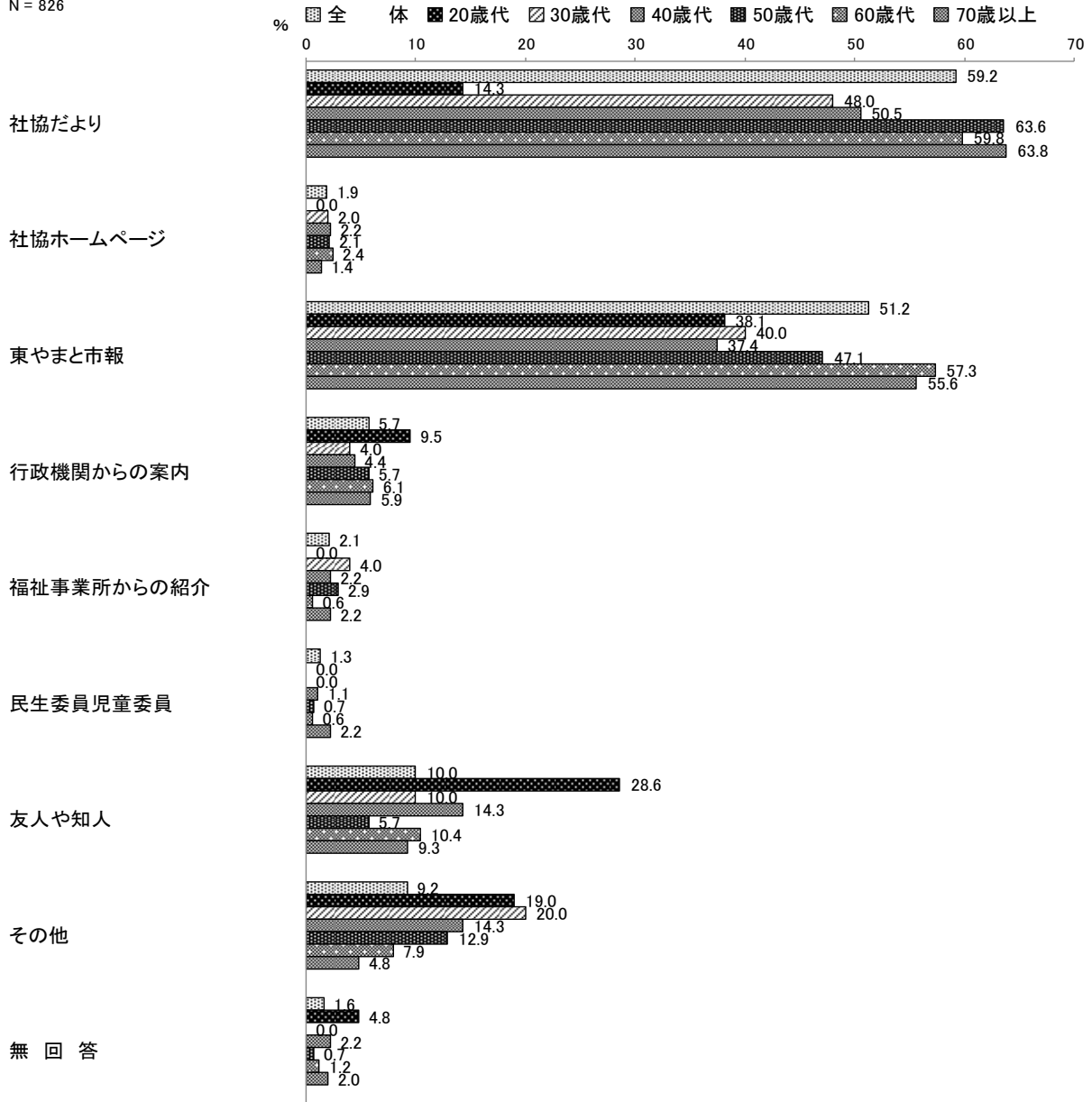
全体では、「社協だより」が59.2%、「東やまと市報」が51.2%と多く、「友人や知人」が10.0%と続いている。

年代別では、20歳代で「社協だより」や「東やまと市報」はそれぞれ14.3%、38.1%と少なく、「友人や知人」が28.6%と多い。

地区別では、北東地域（清水、狭山）で「社協だより」が70.1%と多い。

N = 826

問24 事業やサービスの認知経路[%・複数回答]



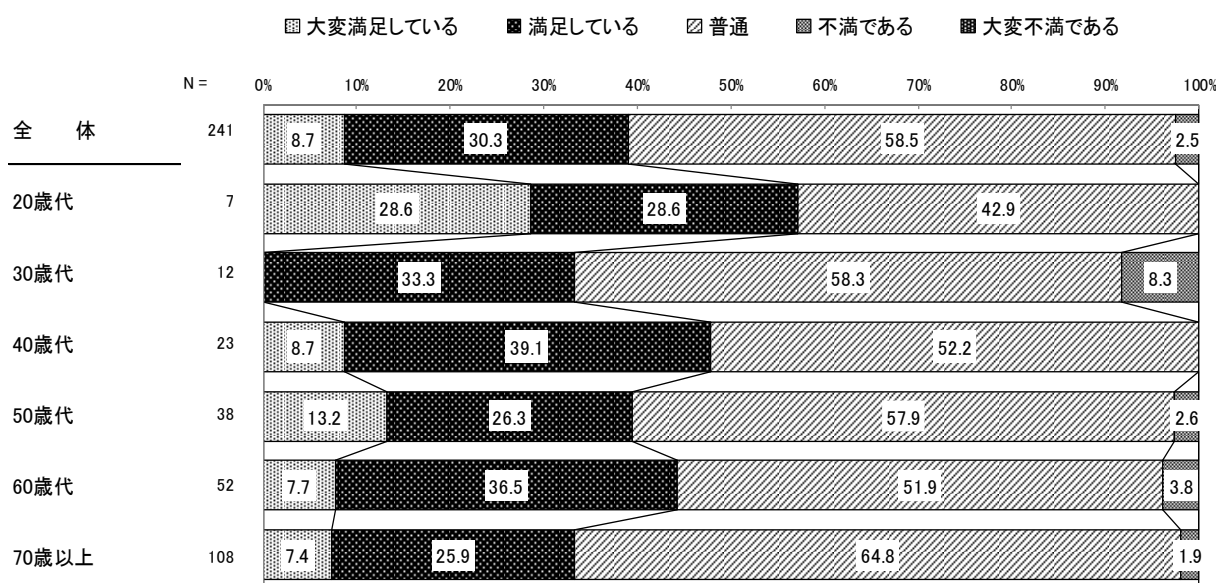
		問24事業やサービスの認知経路[%・複数回答]									
		全体	社協だより	社協ホームページ	東やまと市報	行政機関からの案内	福祉事業所からの紹介	民生委員児童委員	友人や知人	その他	無回答
地区別	全体	826	489	16	423	47	17	11	83	76	13
		100.0	59.2	1.9	51.2	5.7	2.1	1.3	10.0	9.2	1.6
	北東地域(清水、狭山)	97	68	4	47	5	3	1	10	6	1
		100.0	70.1	4.1	48.5	5.2	3.1	1.0	10.3	6.2	1.0
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	100	60	1	49	2	1	1	9	7	4
		100.0	60.0	1.0	49.0	2.0	1.0	1.0	9.0	7.0	4.0
	北西地域(蔵敷、芋窪)	88	48	-	51	4	-	1	6	9	1
		100.0	54.5	-	58.0	4.5	-	1.1	6.8	10.2	1.1
	南東地域(清原、新堀、仲原)	92	55	3	53	10	4	4	9	7	2
		100.0	59.8	3.3	57.6	10.9	4.3	4.3	9.8	7.6	2.2
南地域(中央、南街、向原)	230	140	2	125	9	6	2	27	20	2	
	100.0	60.9	0.9	54.3	3.9	2.6	0.9	11.7	8.7	0.9	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	213	115	5	94	17	3	2	21	25	3	
	100.0	54.0	2.3	44.1	8.0	1.4	0.9	9.9	11.7	1.4	
無回答	6	3	1	4	-	-	-	1	2	-	
	100.0	50.0	16.7	66.7	-	-	-	16.7	33.3	-	

問25. 【社会福祉協議会の事業やサービスを利用（参加）したことがある方】あなたは、事業やサービスを利用（参加）して、どのように思われましたか。

全体では、「普通」が 58.5%と多く、「満足している」が 30.3%、「大変満足している」が 8.7%である。

年代別では、20歳代で『満足している』（「満足している」と「大変満足している」の合計）が 57.2%と、他の年代と比べて多い。

問25 社会福祉協議会の事業の満足度[%]



問26. あなたは、今後、社会福祉協議会にどのような事業やサービスの充実を期待しますか。

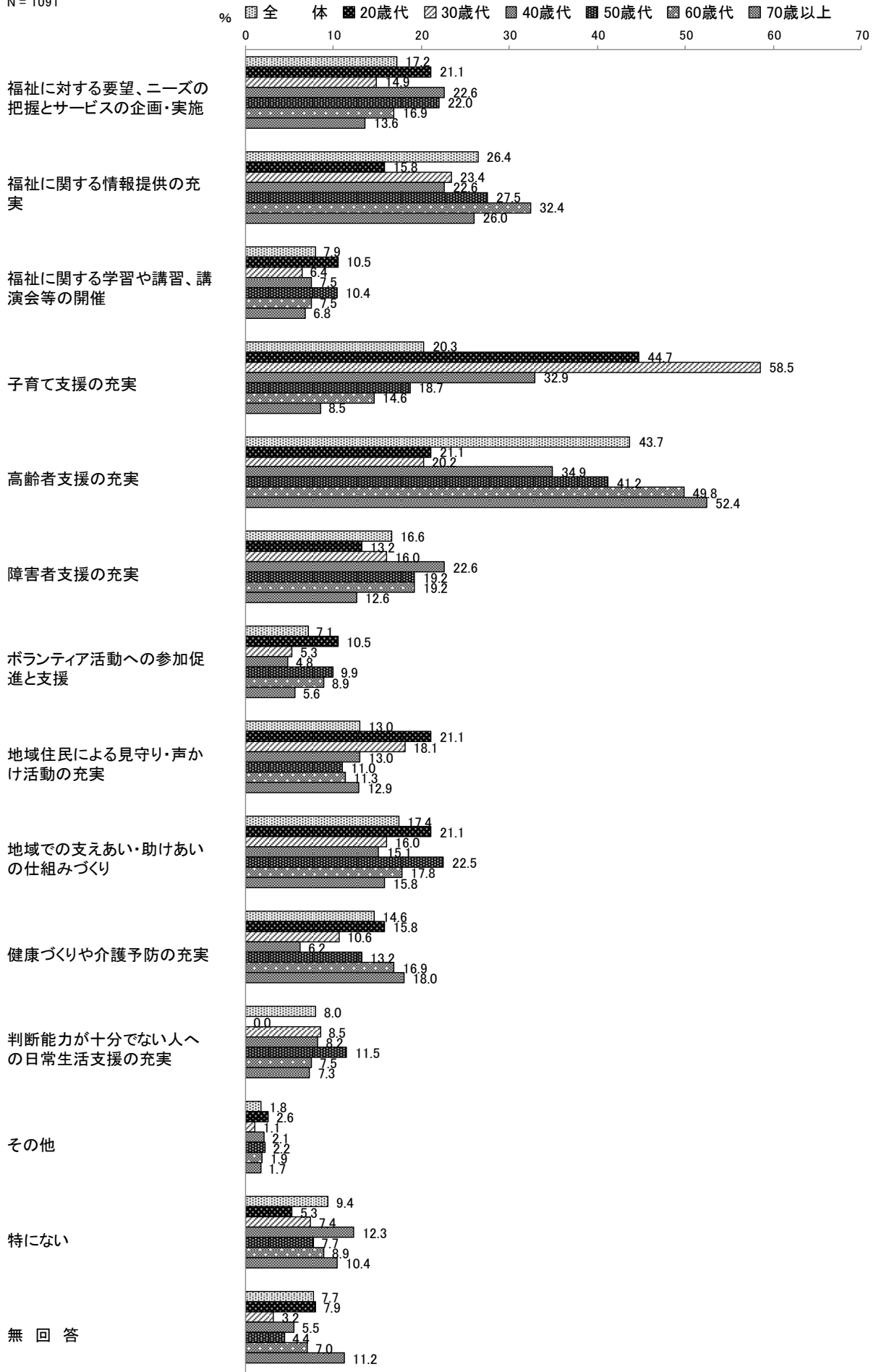
全体では、「高齢者支援の充実」が 43.7%と最も多く、「福祉に関する情報提供の充実」が 26.4%、「子育て支援の充実」が 20.3%、「地域での支えあい・助けあいの仕組みづくり」が 17.4%、「福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施」が 17.2%、「障害者支援の充実」が 16.6%と続いている。

年代別では、「子育て支援の充実」は 30歳代で 58.5%と最も多く、「高齢者支援の充実」は 60歳代と 70歳以上でそれぞれ 50%前後と多い。

地区別では、「高齢者支援の充実」は北東地域（清水、狭山）と北西地域（蔵敷、芋窪）でともに 50%を超えて多く、北西地域（蔵敷、芋窪）では「子育て支援の充実」も 30.1%と多い。

問26 社会福祉協議会に期待する事業やサービス[%・複数回答]

N = 1091



		問26社会福祉協議会に期待する事業やサービス〔%・複数回答〕							
		全 体	福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施	福祉に関する情報提供の充実	福祉に関する学習や講習、講演会等の開催	子育て支援の充実	高齢者支援の充実	障害者支援の充実	ボランティア活動への参加促進と支援
地区別	全 体	1091 100.0	188 17.2	288 26.4	86 7.9	221 20.3	477 43.7	181 16.6	77 7.1
	北東地域 (清水、狭山)	122 100.0	18 14.8	37 30.3	7 5.7	18 14.8	64 52.5	20 16.4	11 9.0
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130 100.0	27 20.8	27 20.8	14 10.8	29 22.3	55 42.3	26 20.0	7 5.4
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113 100.0	17 15.0	23 20.4	5 4.4	34 30.1	57 50.4	19 16.8	13 11.5
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128 100.0	23 18.0	27 21.1	10 7.8	17 13.3	44 34.4	24 18.8	8 6.3
	南地域(中央、南街、向原)	286 100.0	47 16.4	82 28.7	24 8.4	50 17.5	124 43.4	40 14.0	12 4.2
	南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304 100.0	55 18.1	89 29.3	25 8.2	71 23.4	130 42.8	51 16.8	25 8.2
	無 回 答	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5
		地域住民による見守り・声かけ活動の充実	地域での支えあい・助けあいの仕組みづくり	健康づくりや介護予防の充実	判断能力が十分でない人への日常生活支援の充実	その他	特にない	無回答	
地区別	全 体	142 13.0	190 17.4	159 14.6	87 8.0	20 1.8	103 9.4	84 7.7	
	北東地域 (清水、狭山)	25 20.5	21 17.2	19 15.6	16 13.1	1 0.8	8 6.6	5 4.1	
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	17 13.1	21 16.2	14 10.8	13 10.0	1 0.8	13 10.0	15 11.5	
	北西地域(蔵敷、芋窪)	15 13.3	16 14.2	18 15.9	10 8.8	2 1.8	5 4.4	9 8.0	
	南東地域(清原、新堀、仲原)	18 14.1	22 17.2	17 13.3	9 7.0	3 2.3	17 13.3	13 10.2	
	南地域(中央、南街、向原)	34 11.9	64 22.4	41 14.3	26 9.1	7 2.4	37 12.9	16 5.6	
	南西地域(立野、上北台、桜が丘)	32 10.5	45 14.8	50 16.4	13 4.3	6 2.0	23 7.6	25 8.2	
	無 回 答	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5

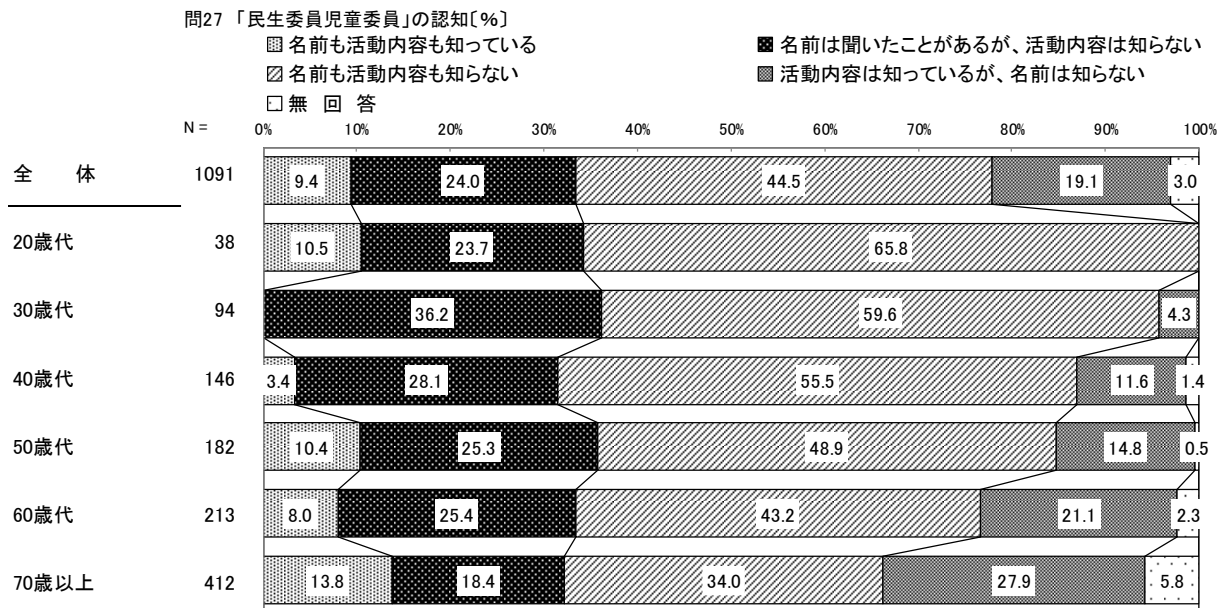
4.2 地域活動・ボランティア活動等

問27. あなたは、お住まいの地区の「民生委員児童委員」をご存じですか。

全体では、「名前も活動内容も知らない」が44.5%と多く、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が24.0%、「活動内容は知っているが、名前は知らない」が19.1%と続き、「名前も活動内容も知っている」は9.4%である。

年代別では、「名前も活動内容も知っている」は、20歳代、50歳代と70歳以上でそれぞれ10%を超えている。

地区別では、北西地域（蔵敷、芋窪）で「名前も活動内容も知っている」が16.8%と多い。

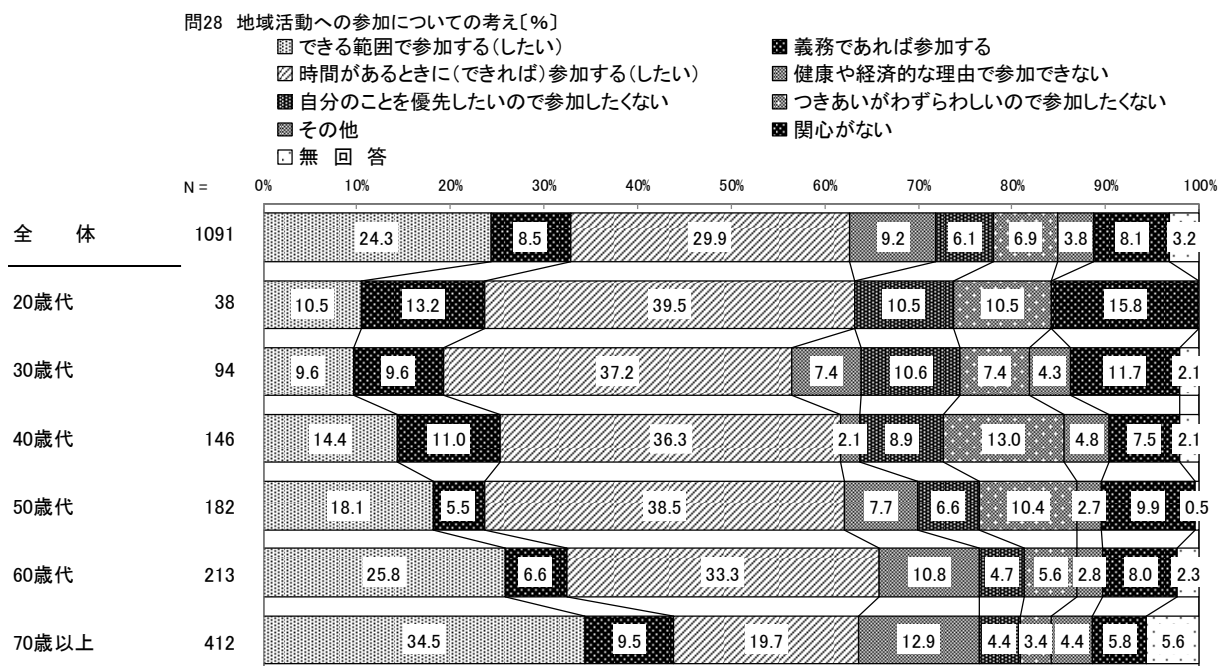


		全体	名前も活動内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない	名前も活動内容も知らない	活動内容は知っているが、名前は知らない	無回答
地区別	全体	1091	103	262	485	208	33
		100.0	9.4	24.0	44.5	19.1	3.0
	北東地域(清水、狭山)	122	14	27	53	24	4
		100.0	11.5	22.1	43.4	19.7	3.3
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	7	30	66	23	4
		100.0	5.4	23.1	50.8	17.7	3.1
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	19	35	43	15	1
		100.0	16.8	31.0	38.1	13.3	0.9
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	10	27	53	31	7
	100.0	7.8	21.1	41.4	24.2	5.5	
南地域(中央、南街、向原)	286	29	72	124	54	7	
	100.0	10.1	25.2	43.4	18.9	2.4	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	22	68	145	60	9	
	100.0	7.2	22.4	47.7	19.7	3.0	
	無回答	8	2	3	1	1	1
		100.0	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5

問28. 自治会をはじめとする地域の活動への参加について、あなたのお考えや状況に最も近いものはどれですか。

全体では、「時間があるときに（できれば）参加する（したい）」が 29.9%、「できる範囲で参加する（したい）」が 24.3%と多い。

年代別では、「時間があるときに（できれば）参加する（したい）」は 20 歳代～60 歳代の各年代でそれぞれ 30%を超えて多い。「できる範囲で参加する（したい）」は 20 歳代と 30 歳代でそれぞれ 10%前後と少ないが、年代が上がるにつれ多くなり、70 歳以上で 34.5%である。

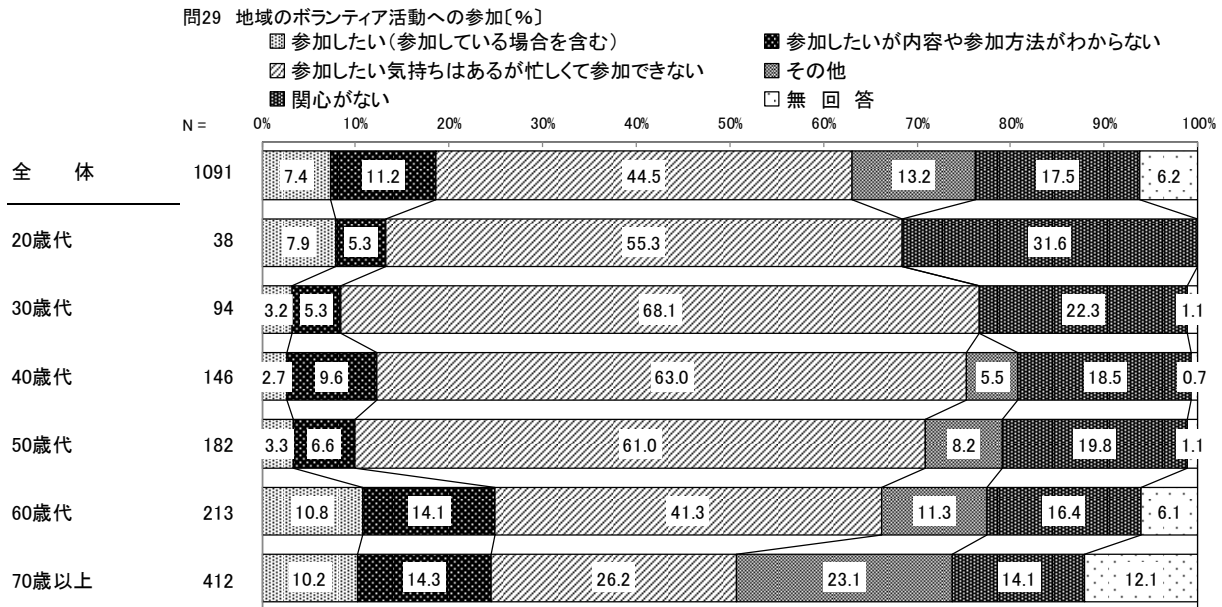


問29. あなたは、地域のボランティア活動への参加についてどのようにお考えですか。

全体では、「参加したい気持ちはあるが忙しくて参加できない」が44.5%と最も多く、「関心がない」が17.5%、「参加したいが内容や参加方法がわからない」が11.2%と続き、「参加したい（参加している場合を含む）」は7.4%である。

年代別では、20歳代～50歳代の各年代で「参加したい気持ちはあるが忙しくて参加できない」が50%を超えて多い。60歳代と70歳以上で「参加したい（参加している場合を含む）」と「参加したいが内容や参加方法がわからない」がそれぞれ10%台、14%台と多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「関心がない」が25.0%と多い。

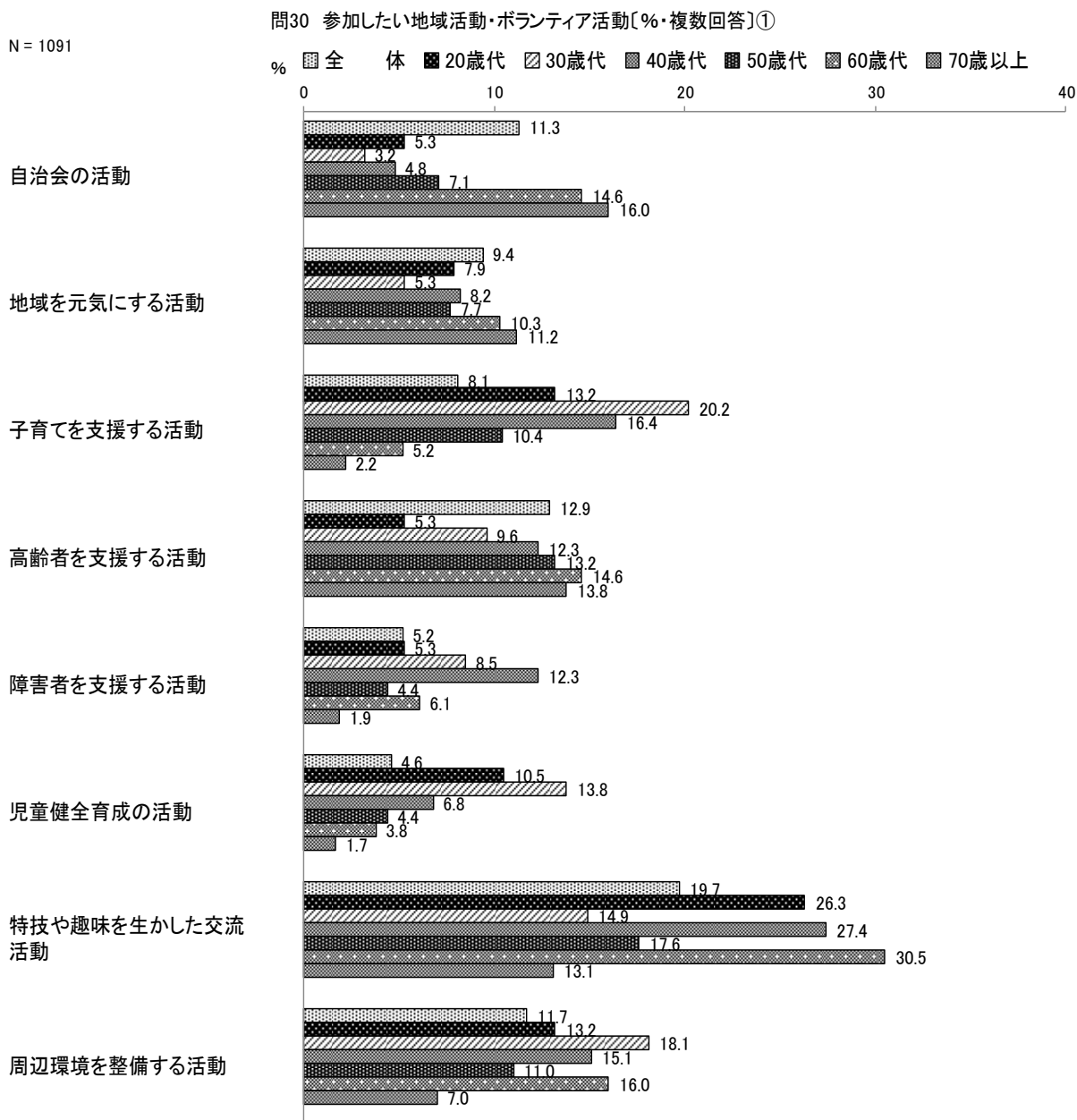


		問29地域のボランティア活動への参加[%]						
		全体	参加したい(参加している場合を含む)	参加したいが内容や参加方法がわからない	参加したい気持ちはあるが忙しくて参加できない	その他	関心がない	無回答
地区別	全体	1091	81	122	485	144	191	68
		100.0	7.4	11.2	44.5	13.2	17.5	6.2
	北東地域(清水、狭山)	122	10	6	62	16	15	13
		100.0	8.2	4.9	50.8	13.1	12.3	10.7
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	16	15	48	22	21	8
		100.0	12.3	11.5	36.9	16.9	16.2	6.2
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	14	11	59	15	11	3
		100.0	12.4	9.7	52.2	13.3	9.7	2.7
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	12	12	39	17	32	16
		100.0	9.4	9.4	30.5	13.3	25.0	12.5
南地域(中央、南街、向原)	286	18	28	137	36	54	13	
	100.0	6.3	9.8	47.9	12.6	18.9	4.5	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	11	48	138	36	57	14	
	100.0	3.6	15.8	45.4	11.8	18.8	4.6	
無回答	8	-	2	2	2	1	1	
	100.0	-	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	

問30. あなたは、今後、仕事や学業とは別に地域活動やボランティア活動として参加したいものはありますか。（現在参加していて、今後継続して参加したいものも含む）

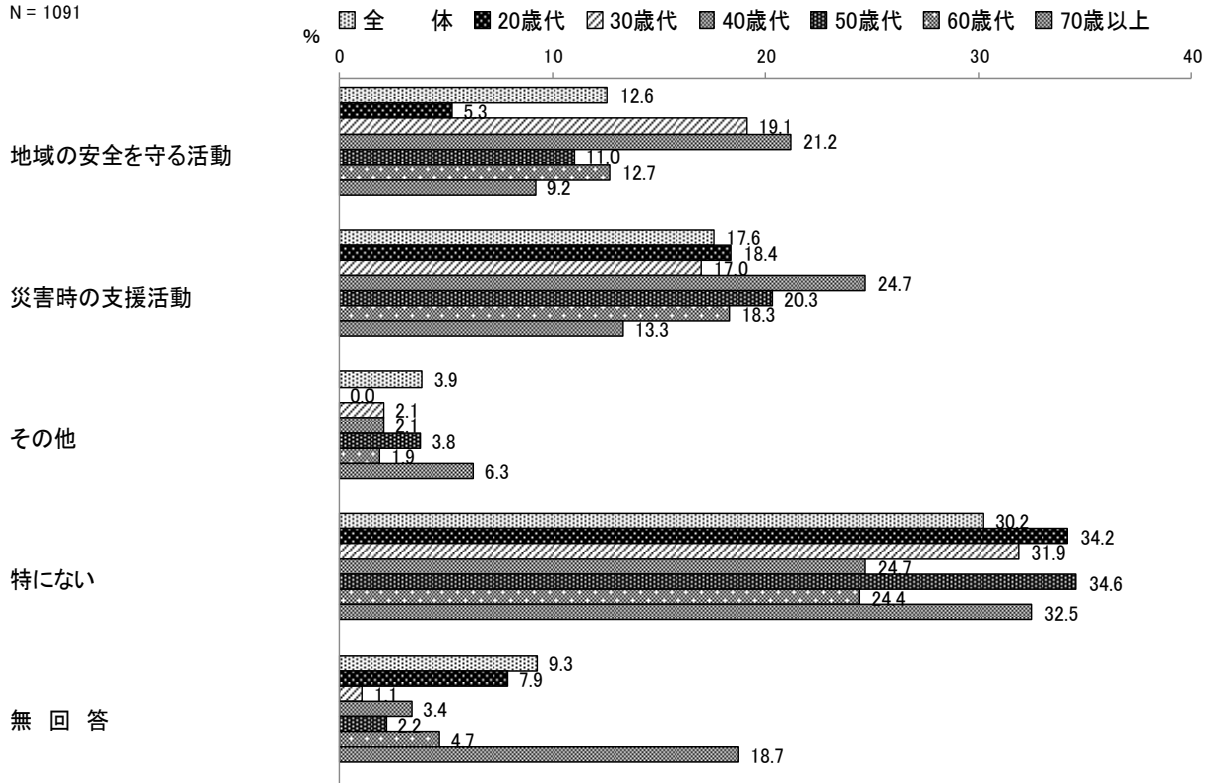
全体では、「特にない」が30.2%と多く、「特技や趣味を生かした交流活動」が19.7%、「災害時の支援活動」が17.6%、「高齢者を支援する活動」が12.9%、「自治会の活動」が11.3%と続いている。

年代別では、30歳代で「子育てを支援する活動」と「児童健全育成の活動」がそれぞれ20.2%、13.8%と多い。



N = 1091

問30 参加したい地域活動・ボランティア活動[%・複数回答]②



5. 生活での相談や福祉情報など

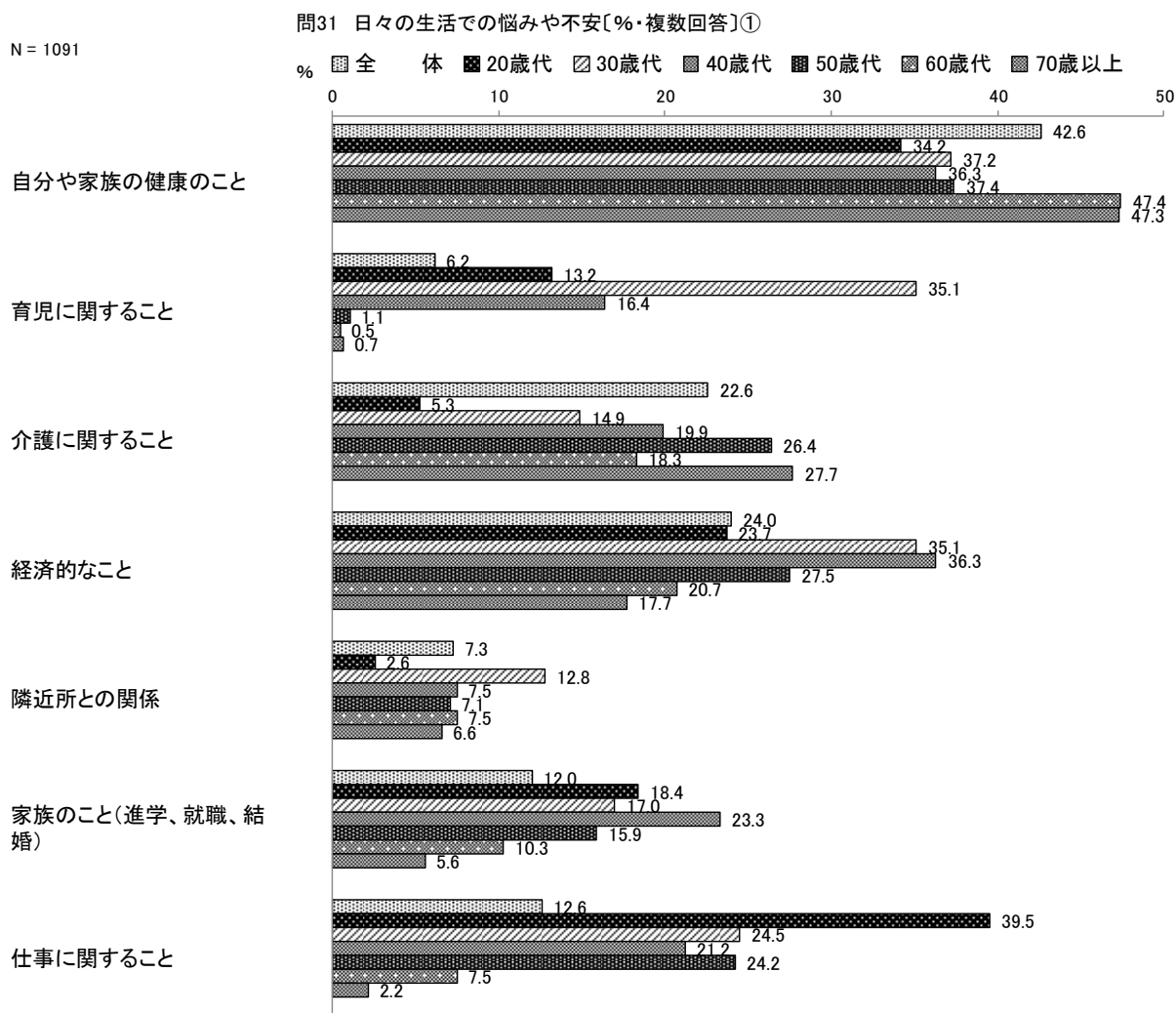
5.1 不安なこと・相談先

問31. あなたは、日々の生活で悩みや不安なことがありますか。

全体では、「自分や家族の健康のこと」が42.6%と多く、「災害時のこと」が35.4%、「経済的なこと」が24.0%、「介護に関すること」が22.6%と続いている。

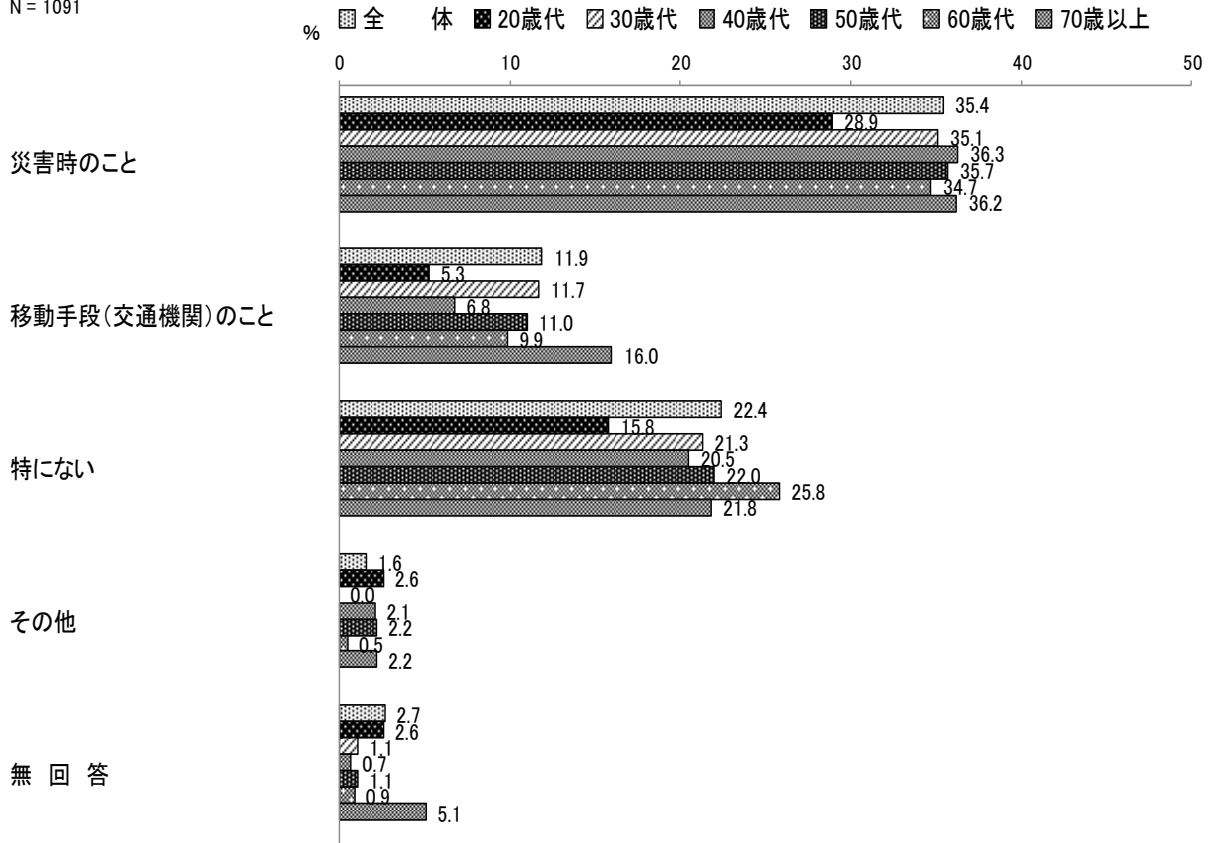
年代別では、20歳代で「仕事に関すること」が39.5%と多く、30歳代で「育児に関すること」が35.1%と多い。

地区別では、北東地域（清水、狭山）と北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）で「移動手段（交通機関）のこと」がともに20%を超えて多い。



問31 日々の生活での悩みや不安[%・複数回答]

N = 1091



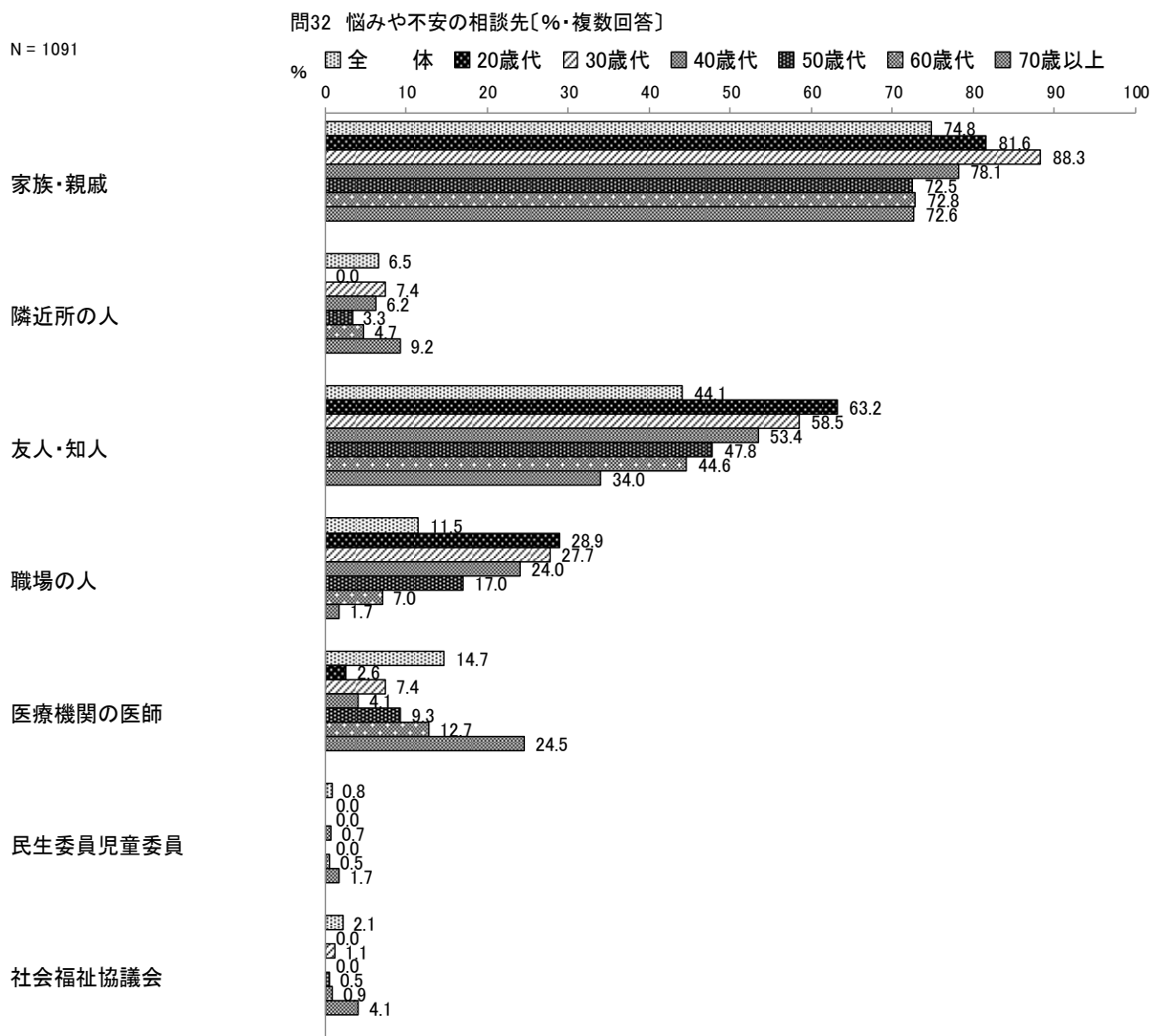
		問31日々の生活での悩みや不安[%・複数回答]												
		全体	自分や家族の健康のこと	育児に関すること	介護に関すること	経済的なこと	隣近所との関係	家族のこと(進学、就職、結婚)	仕事に関すること	災害時のこと	移動手段(交通機関)のこと	特にない	その他	無回答
地区別	全体	1091	465	68	247	262	80	131	138	386	130	244	18	29
		100.0	42.6	6.2	22.6	24.0	7.3	12.0	12.6	35.4	11.9	22.4	1.6	2.7
	北東地域(清水、狭山)	122	55	6	31	31	11	15	10	48	30	24	2	1
		100.0	45.1	4.9	25.4	25.4	9.0	12.3	8.2	39.3	24.6	19.7	1.6	0.8
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130	43	7	20	29	6	15	15	51	29	33	4	2
		100.0	33.1	5.4	15.4	22.3	4.6	11.5	11.5	39.2	22.3	25.4	3.1	1.5
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113	46	7	27	25	7	7	11	32	22	31	3	3
		100.0	40.7	6.2	23.9	22.1	6.2	6.2	9.7	28.3	19.5	27.4	2.7	2.7
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128	57	7	27	32	13	15	14	47	17	26	2	8
		100.0	44.5	5.5	21.1	25.0	10.2	11.7	10.9	36.7	13.3	20.3	1.6	6.3
南地域(中央、南街、向原)	286	130	14	65	76	23	38	42	109	18	55	5	5	
	100.0	45.5	4.9	22.7	26.6	8.0	13.3	14.7	38.1	6.3	19.2	1.7	1.7	
南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304	132	27	75	69	20	41	46	97	14	72	2	9	
	100.0	43.4	8.9	24.7	22.7	6.6	13.5	15.1	31.9	4.6	23.7	0.7	3.0	
無回答	8	2	-	2	-	-	-	-	2	-	3	-	1	
	100.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	37.5	-	12.5	

問32. 日々の生活での悩みや不安を、あなたは主にどこへ相談しますか。

全体では、「家族・親戚」が74.8%と多く、「友人・知人」が44.1%と続いている。

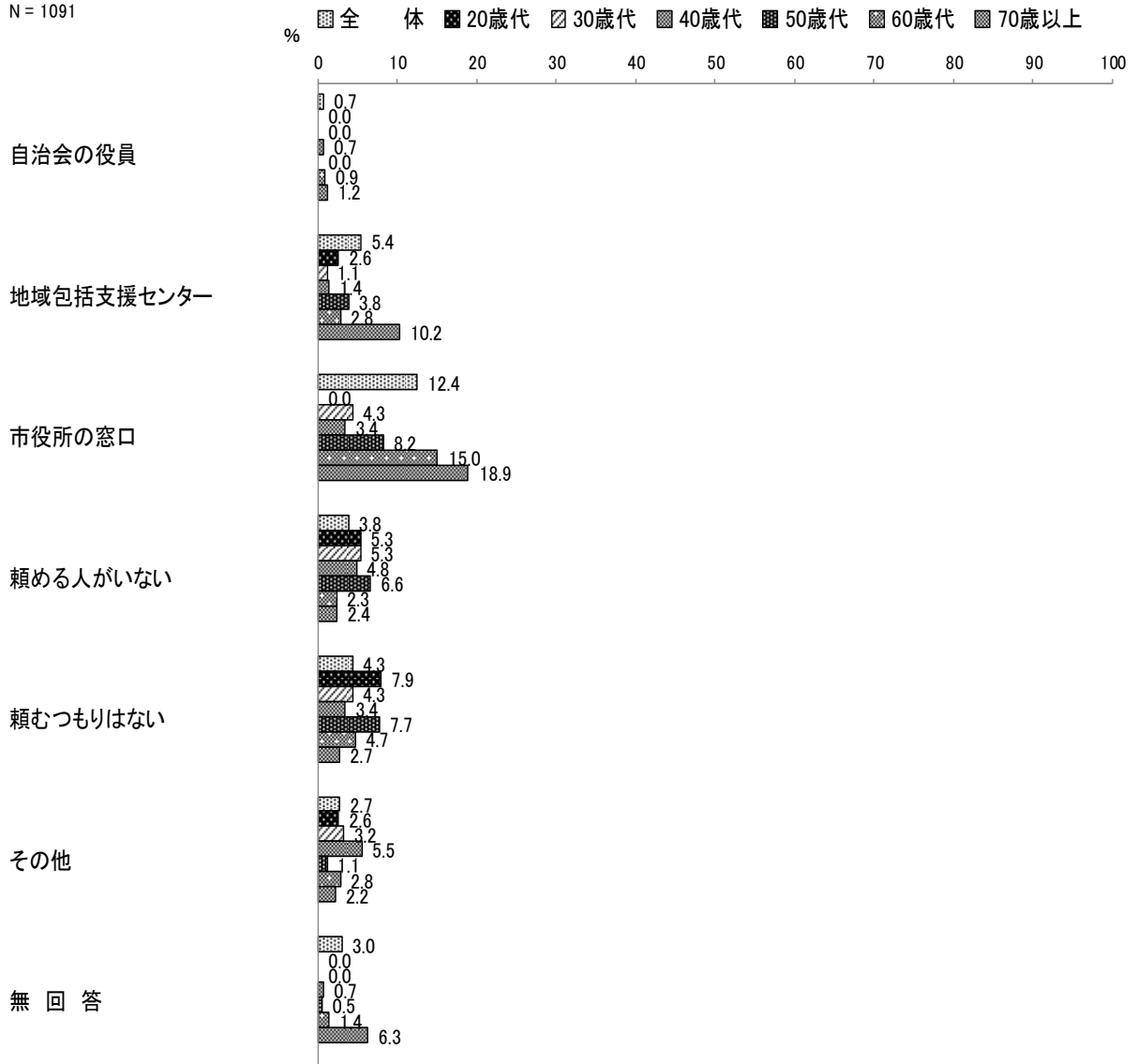
年代別では、70歳以上で「医療機関の医師」が24.5%、「市役所の窓口」が18.9%と他の年代と比べて多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「家族・親戚」が65.6%、「友人・知人」が35.9%とそれぞれ少なく、「市役所の窓口」が21.9%と多い。



問32 悩みや不安の相談先[%・複数回答]

N = 1091



		問32悩みや不安の相談先[%・複数回答]								
		全 体	家族・親 戚	隣近所の 人	友人・知 人	職場の人	医療機関 の医師	民生委員 児童委員	社会福祉 協議会	
地区別	全 体	1091 100.0	816 74.8	71 6.5	481 44.1	125 11.5	160 14.7	9 0.8	23 2.1	
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	89 73.0	5 4.1	53 43.4	16 13.1	14 11.5	- -	2 1.6	
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	97 74.6	10 7.7	58 44.6	12 9.2	19 14.6	- -	2 1.5	
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	87 77.0	8 7.1	50 44.2	13 11.5	16 14.2	2 1.8	3 2.7	
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	128 100.0	84 65.6	13 10.2	46 35.9	11 8.6	22 17.2	2 1.6	4 3.1	
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	211 73.8	21 7.3	123 43.0	34 11.9	55 19.2	3 1.0	7 2.4	
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	243 79.9	13 4.3	146 48.0	39 12.8	33 10.9	2 0.7	4 1.3	
	無 回 答	8 100.0	5 62.5	1 12.5	5 62.5	- -	1 12.5	- -	1 12.5	
			自治会の 役員	地域包括 支援セン ター	市役所の 窓口	頼める人 がいない	頼むつもり はない	その他	無回答	
	地区別	全 体	8 0.7	59 5.4	135 12.4	41 3.8	47 4.3	30 2.7	33 3.0	
北東地域 (清水、狭 山)		- -	2 1.6	19 15.6	1 0.8	6 4.9	3 2.5	3 2.5		
北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)		2 1.5	9 6.9	15 11.5	3 2.3	8 6.2	3 2.3	4 3.1		
北西地域 (蔵敷、芋 窪)		- -	10 8.8	13 11.5	5 4.4	4 3.5	- -	3 2.7		
南東地域 (清原、新 堀、仲原)		1 0.8	9 7.0	28 21.9	5 3.9	8 6.3	5 3.9	6 4.7		
南地域(中 央、南街、 向原)		3 1.0	16 5.6	31 10.8	17 5.9	12 4.2	11 3.8	8 2.8		
南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)		2 0.7	13 4.3	29 9.5	10 3.3	9 3.0	7 2.3	7 2.3		
無 回 答		- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	2 25.0		

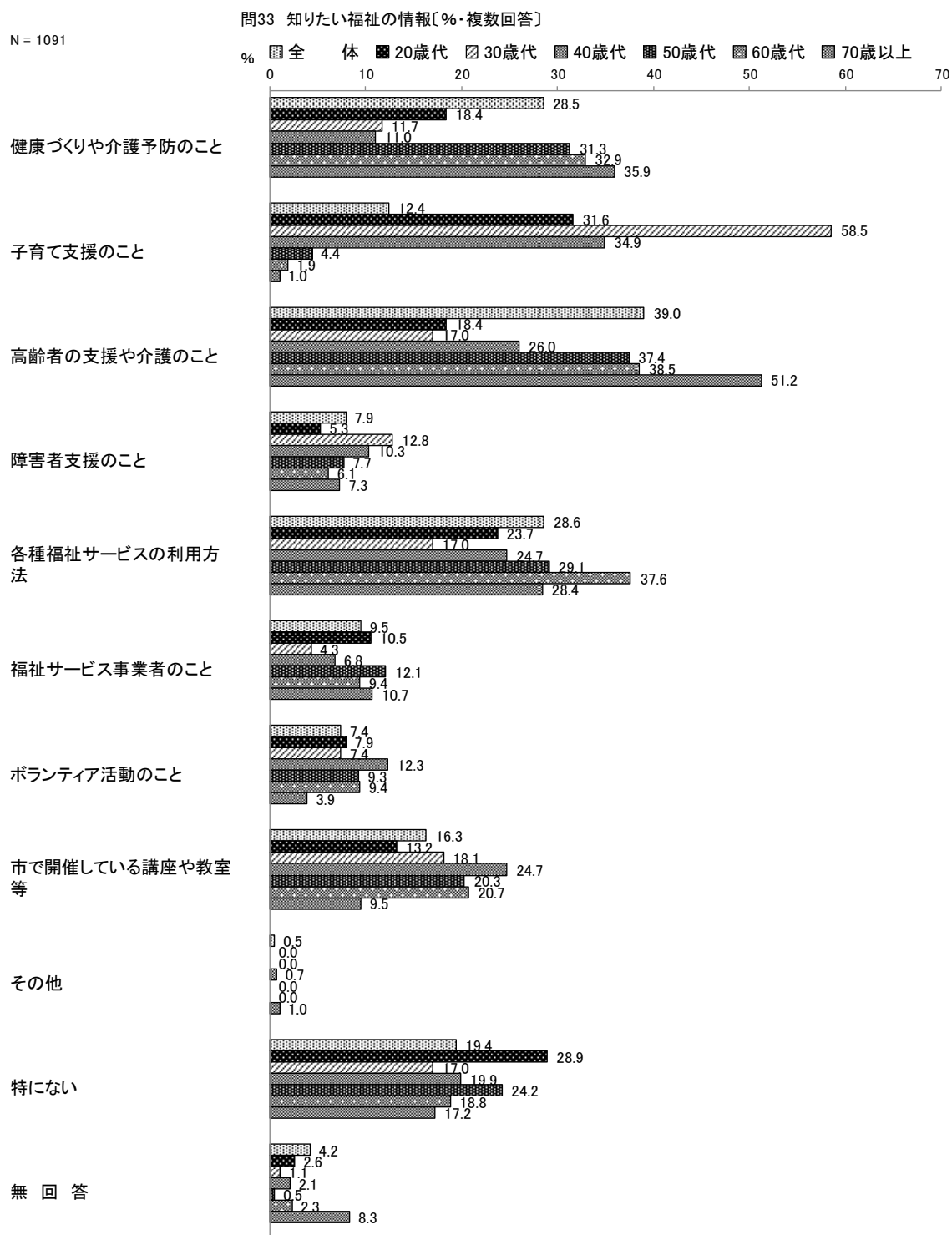
5.2 福祉に関する情報提供

問33. あなたが知りたい福祉の情報は何ですか。

全体では、「高齢者の支援や介護のこと」が39.0%と多く、「各種福祉サービスの利用方法」が28.6%、「健康づくりや介護予防のこと」が28.5%、「特にない」が19.4%と続いている。

年代別では、「子育て支援のこと」が30歳代で58.5%と多く、「高齢者の支援や介護のこと」が70歳以上で51.2%と多い。

地区別では、北地域（多摩湖、湖畔、奈良橋、高木）で「健康づくりや介護予防のこと」が17.7%と少ない。



		問33知りたい福祉の情報[%・複数回答]											
		全 体	健康づくり や介護予 防のこと	子育て支 援のこと	高齢者の 支援や介 護のこと	障害者支 援のこと	各種福祉 サービスの 利用方法	福祉サー ビス事業 者のこと	ボランティ ア活動の こと	市で開催し ている講座 や教室等	その他	特にな い	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	311 28.5	135 12.4	425 39.0	86 7.9	312 28.6	104 9.5	81 7.4	178 16.3	5 0.5	212 19.4	46 4.2
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	33 27.0	8 6.6	48 39.3	17 13.9	42 34.4	17 13.9	7 5.7	18 14.8	1 0.8	25 20.5	2 1.6
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	23 17.7	16 12.3	54 41.5	12 9.2	37 28.5	17 13.1	8 6.2	23 17.7	-	27 20.8	8 6.2
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	31 27.4	16 14.2	42 37.2	7 6.2	29 25.7	8 7.1	12 10.6	18 15.9	-	25 22.1	5 4.4
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	128 100.0	34 26.6	11 8.6	51 39.8	12 9.4	32 25.0	9 7.0	10 7.8	21 16.4	-	27 21.1	10 7.8
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	98 34.3	31 10.8	112 39.2	18 6.3	86 30.1	23 8.0	18 6.3	41 14.3	3 1.0	55 19.2	11 3.8
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	90 29.6	52 17.1	114 37.5	20 6.6	84 27.6	30 9.9	25 8.2	57 18.8	1 0.3	53 17.4	9 3.0
	無 回 答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	4 50.0	-	2 25.0	-	1 12.5	-	-	-	1 12.5

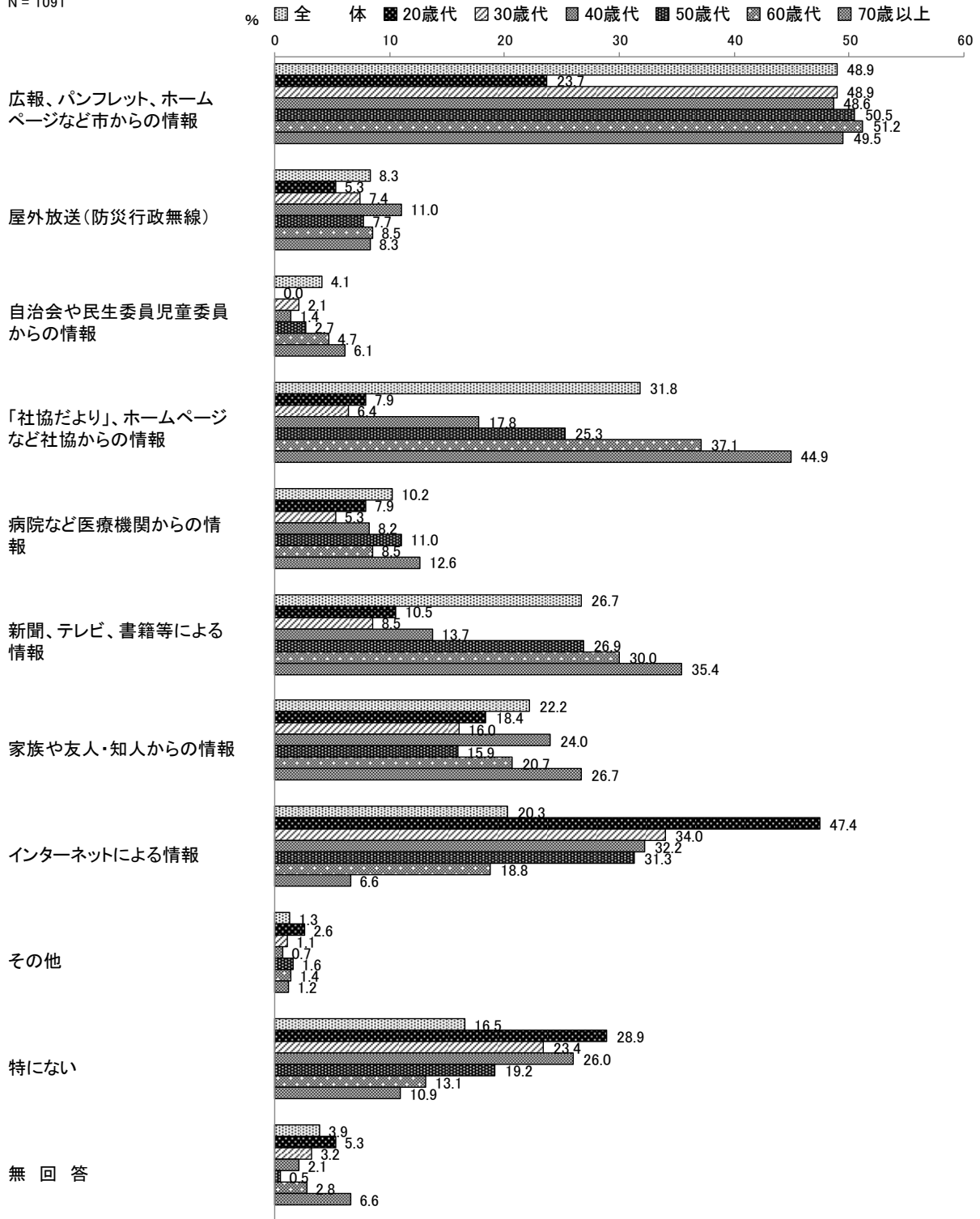
問34. 福祉についての情報で、役立っているものは何ですか。

全体では、「広報、パンフレット、ホームページなど市からの情報」が48.9%と多く、『「社協だより」、ホームページなど社協からの情報』が31.8%、「新聞、テレビ、書籍等による情報」が26.7%と続いている。

年代別では、20歳代は「広報、パンフレット、ホームページなど市からの情報」、『「社協だより」、ホームページなど社協からの情報』、「新聞、テレビ、書籍等による情報」がそれぞれ23.7%、7.9%、10.5%と少なく、「インターネットによる情報」が47.4%と最も多い。

N = 1091

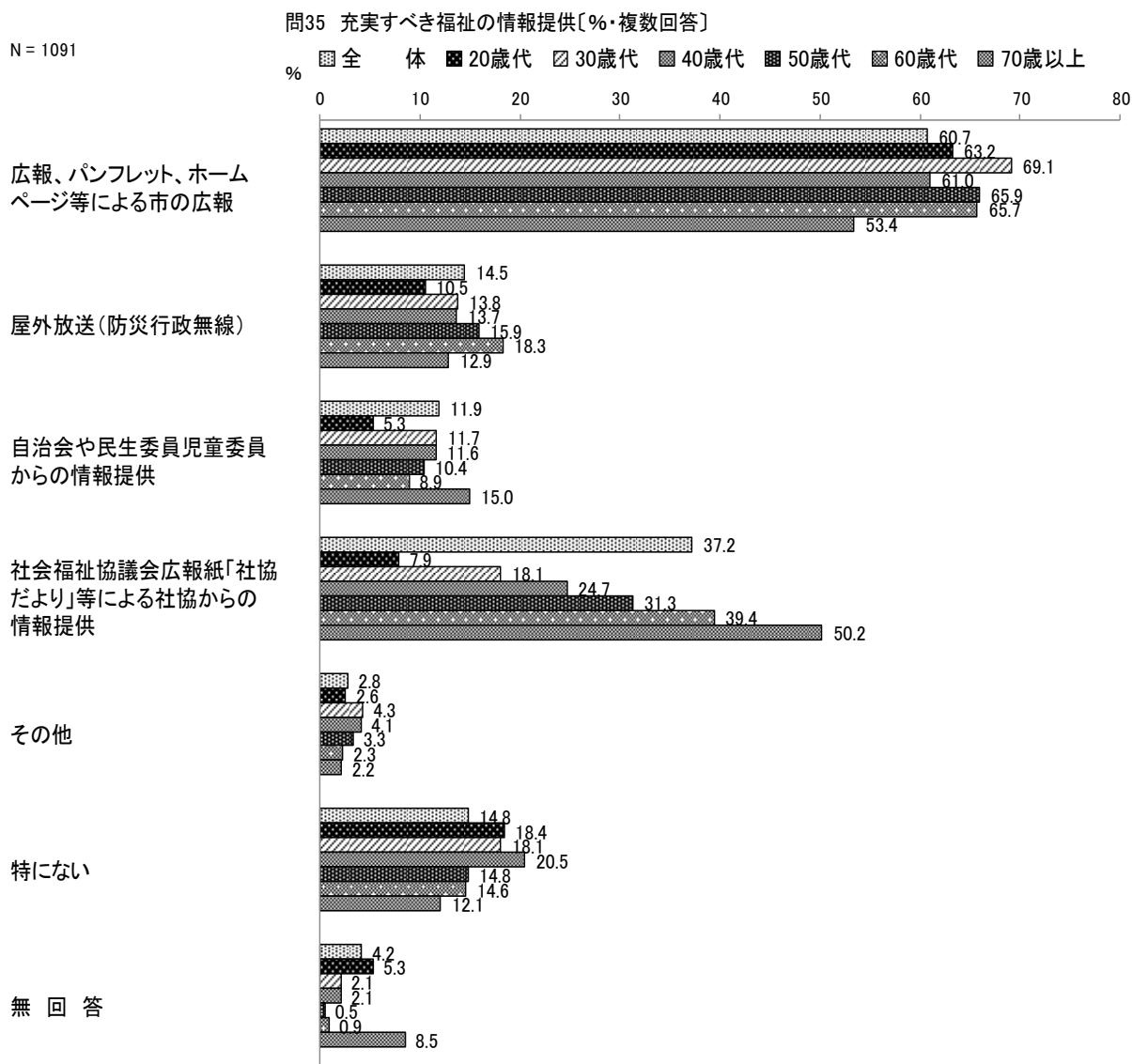
問34 役立っている福祉の情報[%・複数回答]



問35. 福祉の情報提供で、充実すべきだと思うものは何ですか。

全体では、「広報、パンフレット、ホームページ等による市の広報」が60.7%と多く、『社会福祉協議会広報紙「社協だより」等による社協からの情報提供』が37.2%、「屋外放送（防災行政無線）」が14.5%と続いている。

年代別では、70歳以上で『社会福祉協議会広報紙「社協だより」等による社協からの情報提供』が50.2%と多い。



6. 成年後見制度について

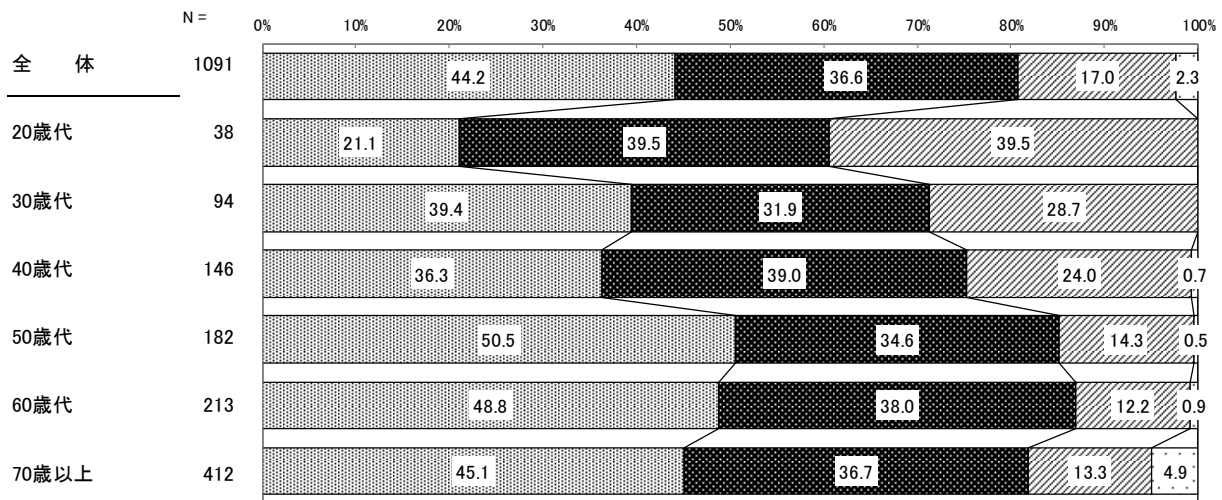
問36. 「成年後見制度」について知っていましたか。

全体では、「知っている」が44.2%と多く、「聞いたことはあるが、内容はわからない」が36.6%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が17.0%である。

年代別では、20歳代で「知っている」が21.1%と少なく、「聞いたことはあるが、内容はわからない」と「聞いたことがなく、内容も知らない」がともに39.5%と多い。50歳代で「知っている」が50.5%と半数を超えて多い。

問36 「成年後見制度」の認知[%]

■ 知っている ■ 聞いたことはあるが、内容はわからない ▨ 聞いたことがなく、内容も知らない □ 無回答



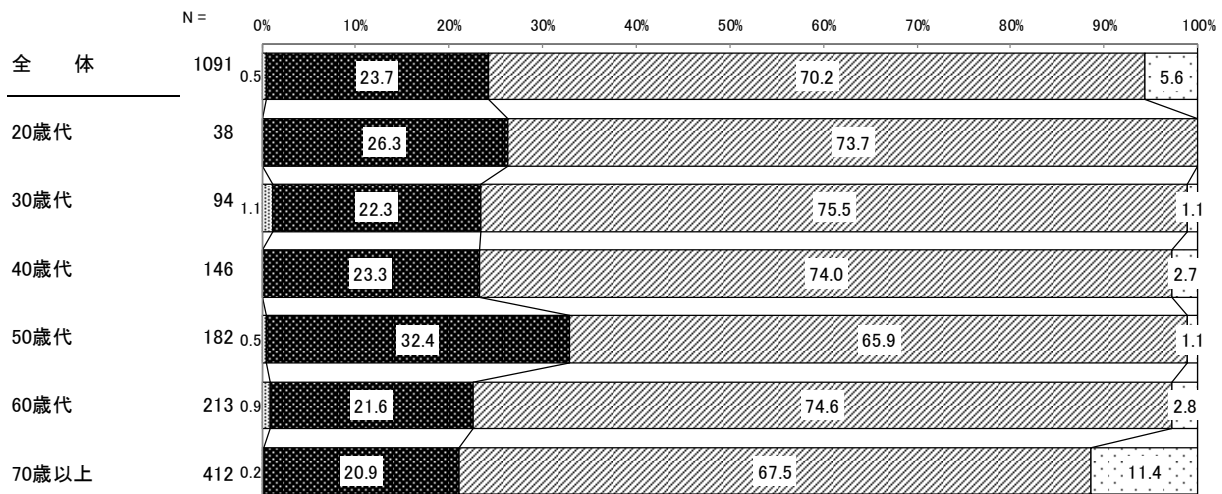
問37. 「成年後見制度」について利用する予定はありますか。

全体では、「利用する予定はない」が70.2%と多くを占めており、「今後必要になったら利用したい」が23.7%である。

年代別では、50歳代で「今後必要になったら利用したい」が32.4%とやや多い。

問37 「成年後見制度」の利用予定[%]

■ すでに利用している ■ 今後必要になったら利用したい ▨ 利用する予定はない □ 無回答

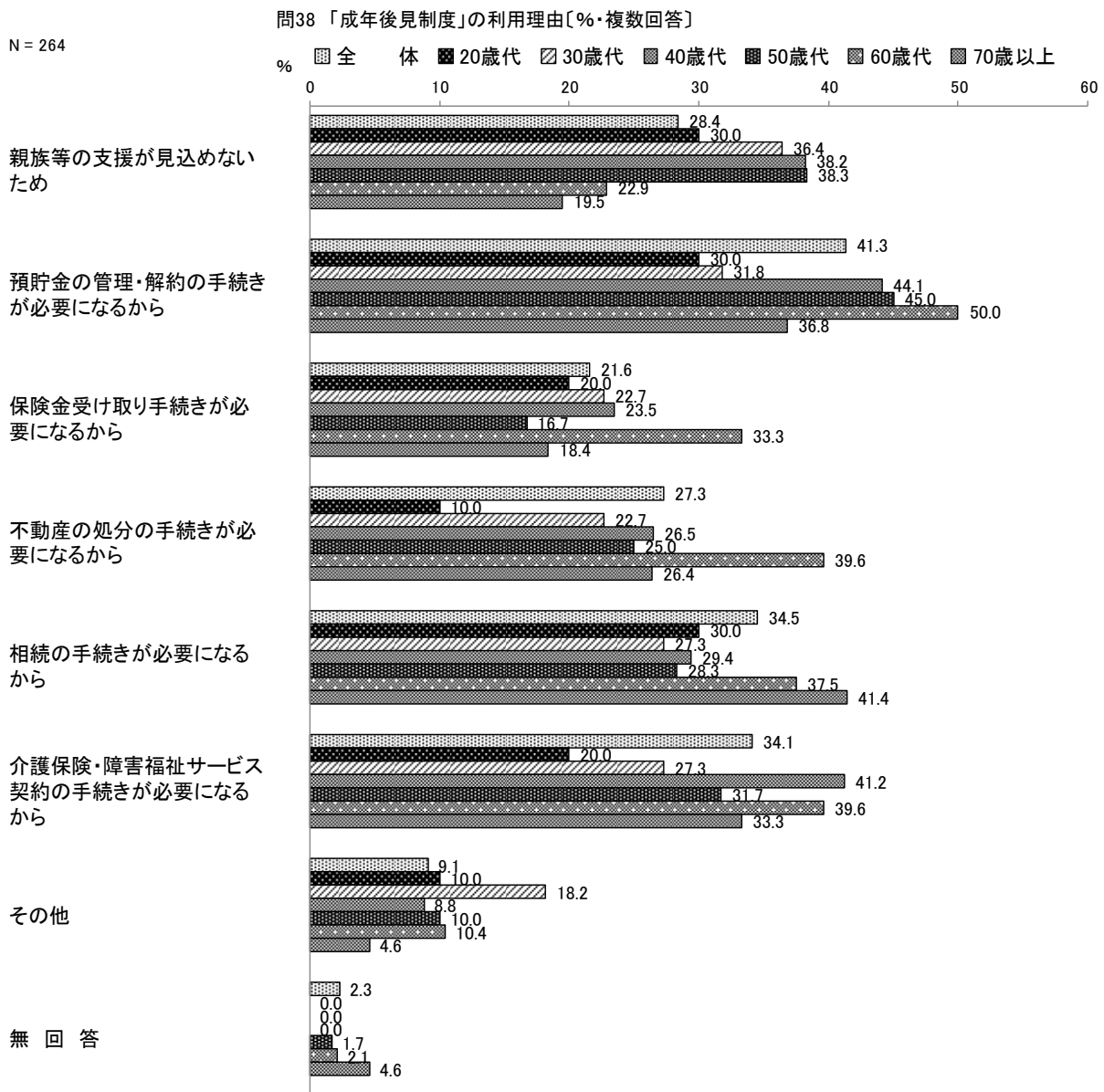


問38. 【問 37 で1または2を選んだ方】「成年後見制度」を利用する理由は何ですか。

全体では、「預貯金の管理・解約の手続きが必要になるから」が41.3%と多く、「相続の手続きが必要になるから」と「介護保険・障害福祉サービス契約の手続きが必要になるから」がそれぞれ34%台、「親族等の支援が見込めないため」が28.4%、「不動産の処分の手続きが必要になるから」が27.3%、「保険金受け取り手続きが必要になるから」が21.6%と続いている。

年代別では、60歳代で「預貯金の管理・解約の手続きが必要になるから」が50.0%、「不動産の処分の手続きが必要になるから」と「介護保険・障害福祉サービス契約の手続きが必要になるから」がともに39.6%、「保険金受け取り手続きが必要になるから」が33.3%と他の年代に比べて多い。

地区別では、北東地域（清水、狭山）で「預貯金の管理・解約の手続きが必要になるから」が57.1%、北西地域（蔵敷、芋窪）で「親族等の支援が見込めないため」が40.0%とそれぞれ多い。

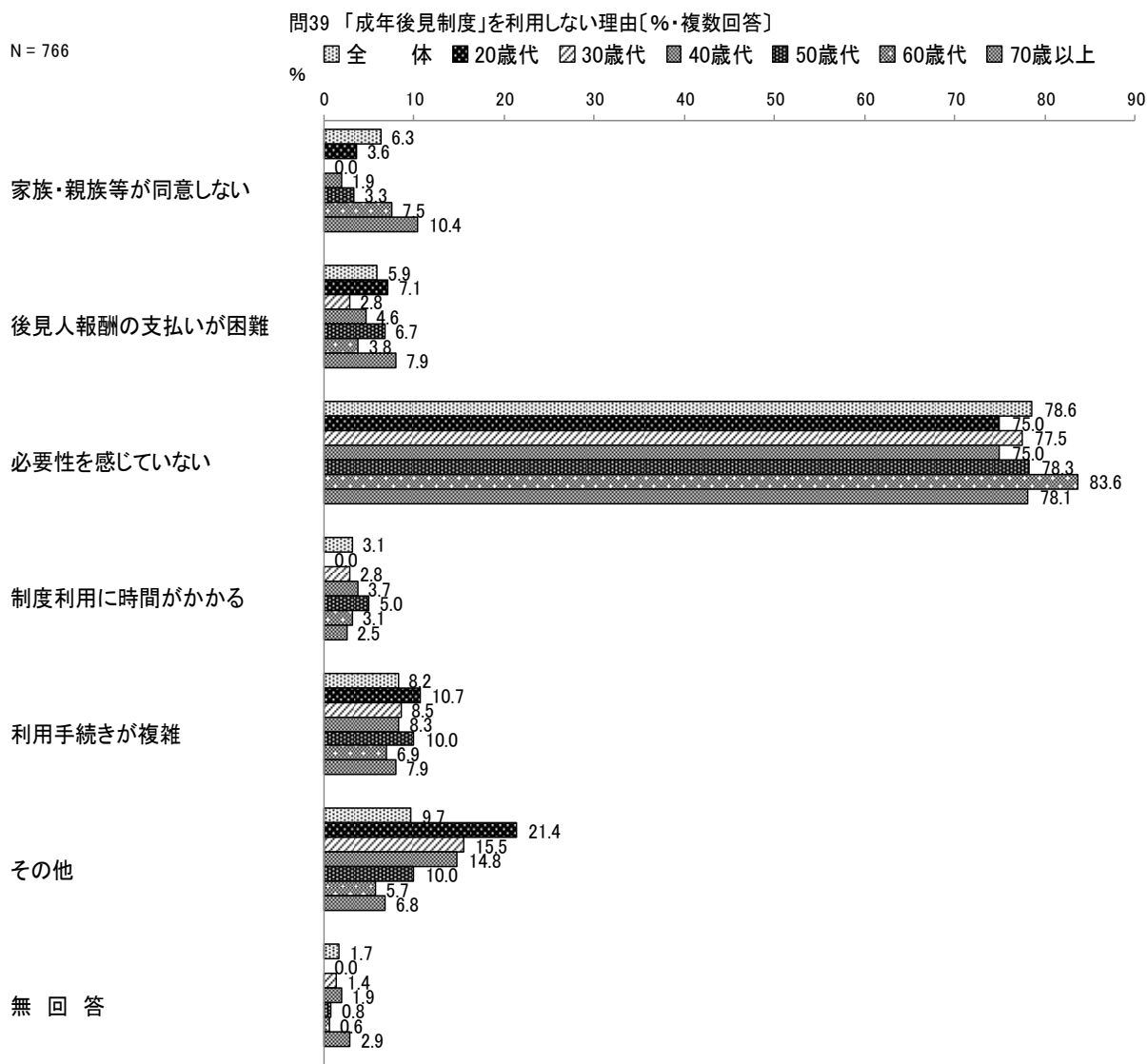


		問38「成年後見制度」の利用理由〔%・複数回答〕									
		全 体	親族等の 支援が見 込めない ため	預貯金の管 理・解約の 手続きが必 要になるか ら	保険金受 け取り手 続きが必 要になる から	不動産の 処分の手 続きが必 要になる から	相続の手 続きが必 要になる から	介護保険・ 障害福祉 サービス契 約の手続き が必要にな るから	その他	無回答	
地区別	全 体	264 100.0	75 28.4	109 41.3	57 21.6	72 27.3	91 34.5	90 34.1	24 9.1	6 2.3	
	北東地域 (清水、狭 山)	28 100.0	6 21.4	16 57.1	5 17.9	6 21.4	12 42.9	9 32.1	1 3.6	1 3.6	
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	32 100.0	8 25.0	11 34.4	9 28.1	7 21.9	12 37.5	13 40.6	4 12.5	- -	
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	25 100.0	10 40.0	11 44.0	6 24.0	6 24.0	10 40.0	9 36.0	2 8.0	- -	
	南東地域 (清原、新 堀、中原)	32 100.0	8 25.0	10 31.3	5 15.6	10 31.3	9 28.1	12 37.5	3 9.4	- -	
	南地域(中 央、南街、 向原)	72 100.0	23 31.9	33 45.8	15 20.8	23 31.9	28 38.9	23 31.9	5 6.9	3 4.2	
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	73 100.0	20 27.4	28 38.4	17 23.3	20 27.4	19 26.0	24 32.9	8 11.0	2 2.7	
	無 回 答	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -

問39. 【問37で3を選んだ方】「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。

全体では、「必要性を感じていない」が78.6%と多い。

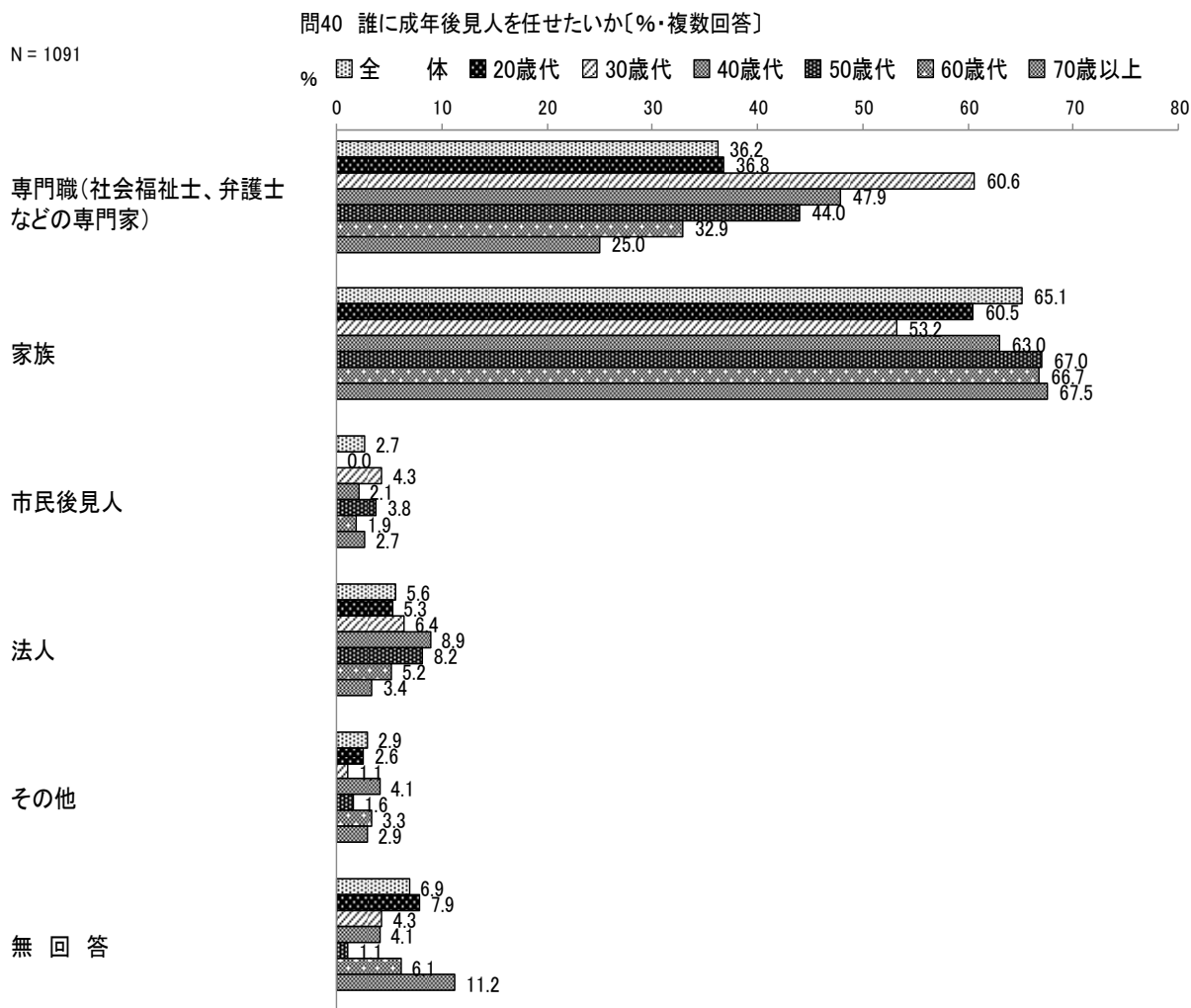
年代別では、「必要性を感じていない」は60歳代で83.6%と多い。



問40. 「成年後見制度」を利用するにあたって、誰に成年後見人を任せたいですか。

全体では、「家族」が65.1%と多く、「専門職（社会福祉士、弁護士などの専門家）」が36.2%と続いている。

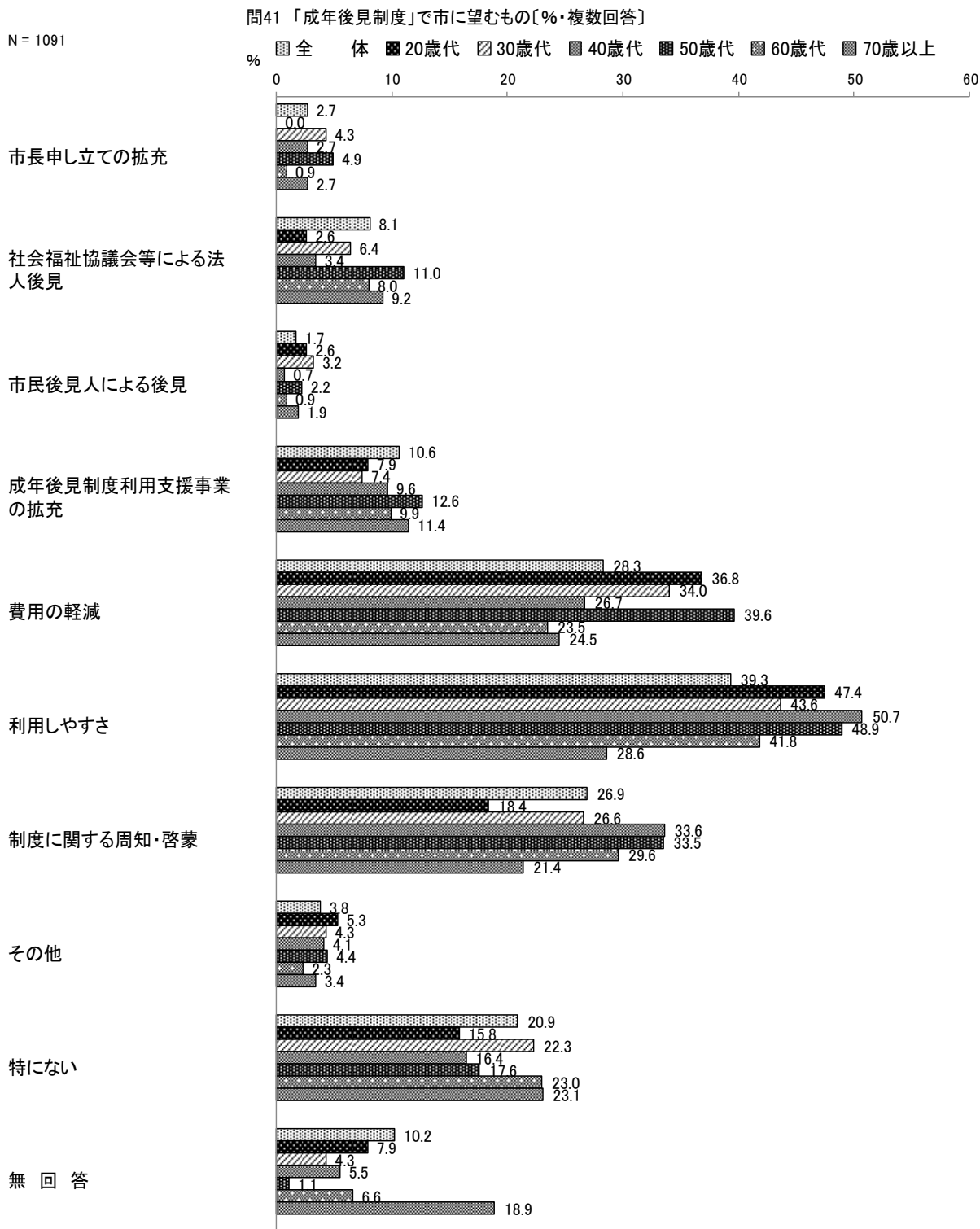
年代別では、30歳代で、「家族」が53.2%と少なく、「専門職（社会福祉士、弁護士などの専門家）」が60.6%と多い。



問41. 「成年後見制度」で市に望むものは何ですか。

全体では、「利用しやすさ」が39.3%と多く、「費用の軽減」が28.3%、「制度に関する周知・啓蒙」が26.9%と続いている。

年代別では、「利用しやすさ」は40歳代で50.7%と多く、「費用の軽減」は50歳代で39.6%と多い。



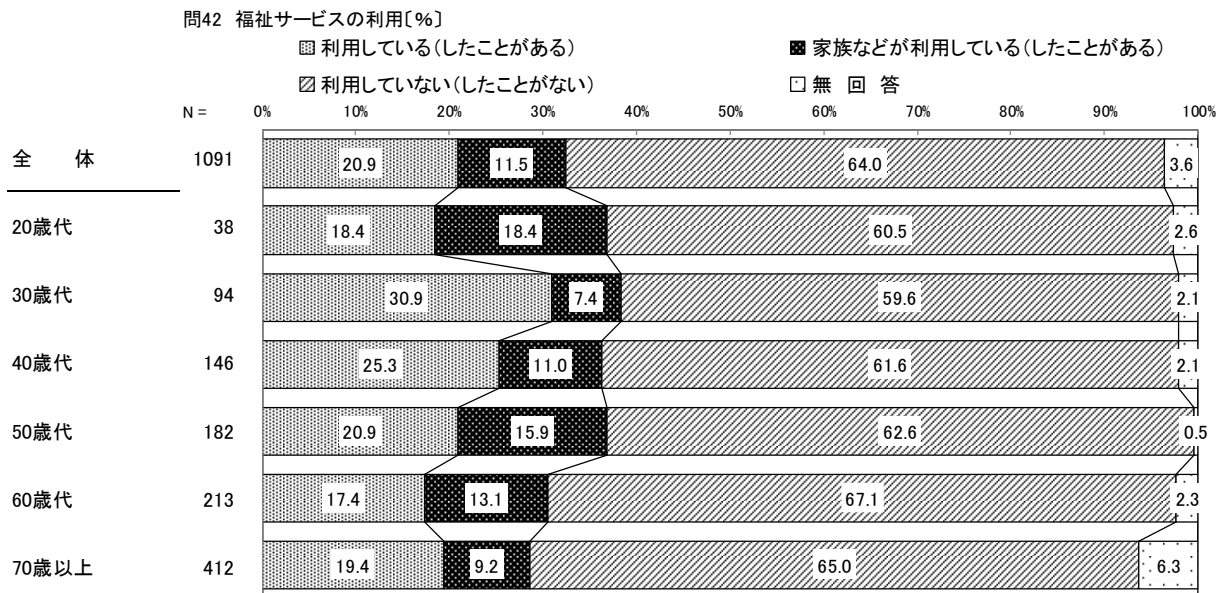
7. これからの福祉に必要なこと

7.1 福祉サービスの利用

問42. あなたやあなたのご家族は、福祉サービス（介護保険や障害福祉、子育て支援など）を利用していますか。（したことがありますか）

全体では、「利用していない（したことがない）」が 64.0%と多く、「利用している（したことがある）」が 20.9%、「家族などが利用している（したことがある）」が 11.5%である。

年代別では、30歳代で「利用している（したことがある）」が 30.9%と多い。

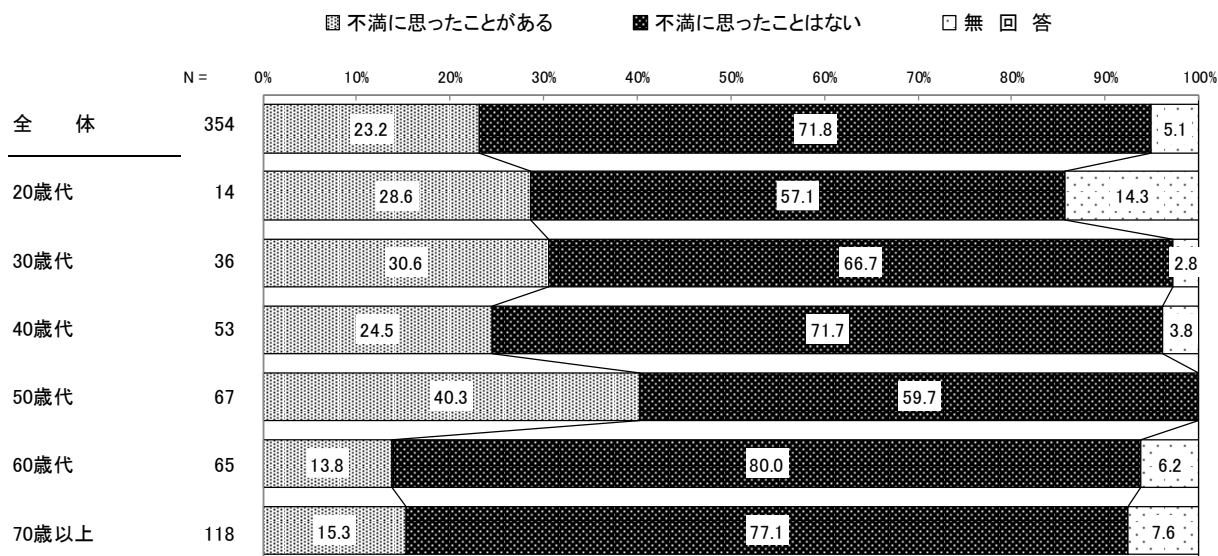


問43. 【問42で1または2を選んだ方】あなたやあなたのご家族が福祉サービス（介護保険や障害福祉、子育て支援など）の利用をするときに、不満に思ったことはありますか。

全体では、「不満に思ったことはない」が71.8%と多く、「不満に思ったことがある」は23.2%である。

年代別では、60歳代と70歳以上で「不満に思ったことはない」がそれぞれ80.0%、77.1%と多くを占めている。50歳代で「不満に思ったことがある」が40.3%と最も多い。

問43 福祉サービスへの不満[%]



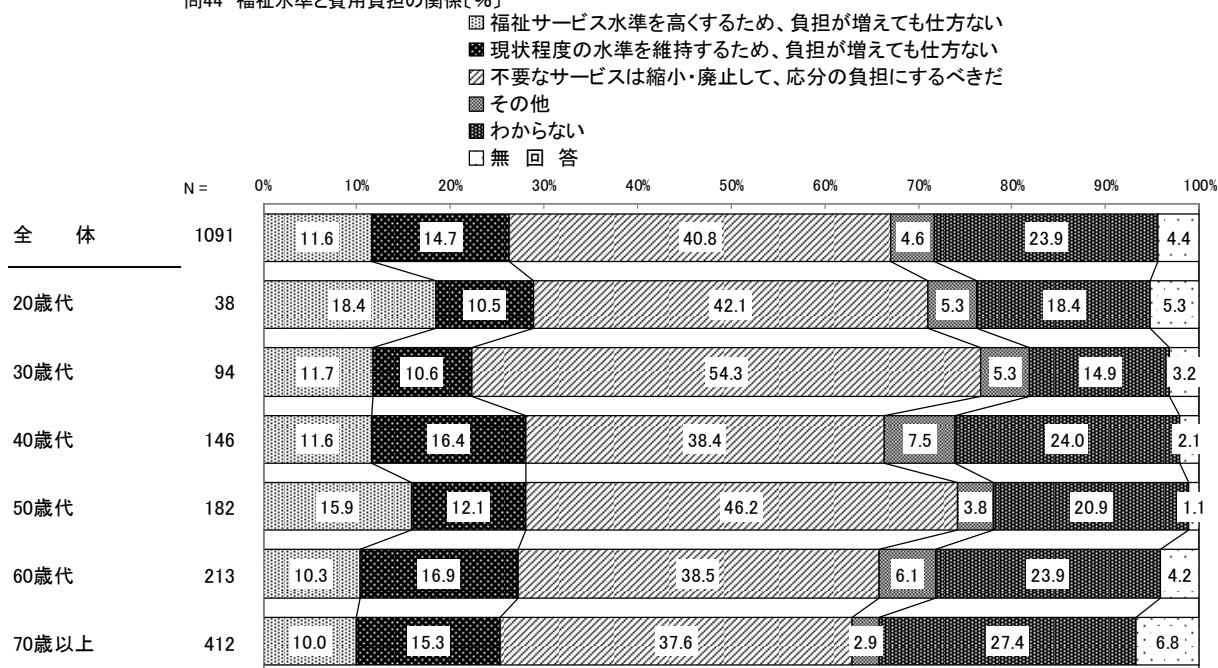
不満の内容（回答者 82 件）では、介護保険サービス等福祉サービスの内容や利用に関すること、サービス担当者やケアマネジャー等の対応などについての意見があげられている。

問44. 市が実施している福祉サービスの水準を確保していくためには、その費用が増大していくと考えられます。これからの福祉水準と費用負担の関係について、どのようにお考えですか。

全体では、「不要なサービスは縮小・廃止して、応分の負担にするべきだ」が40.8%と多く、「わからない」が23.9%、「現状程度の水準を維持するため、負担が増えても仕方ない」が14.7%、「福祉サービス水準を高くするため、負担が増えても仕方ない」が11.6%である。

年代別では、30歳代で「不要なサービスは縮小・廃止して、応分の負担にするべきだ」が54.3%と他の年代と比べて多い。

問44 福祉水準と費用負担の関係[%]



7.2 地域福祉の推進

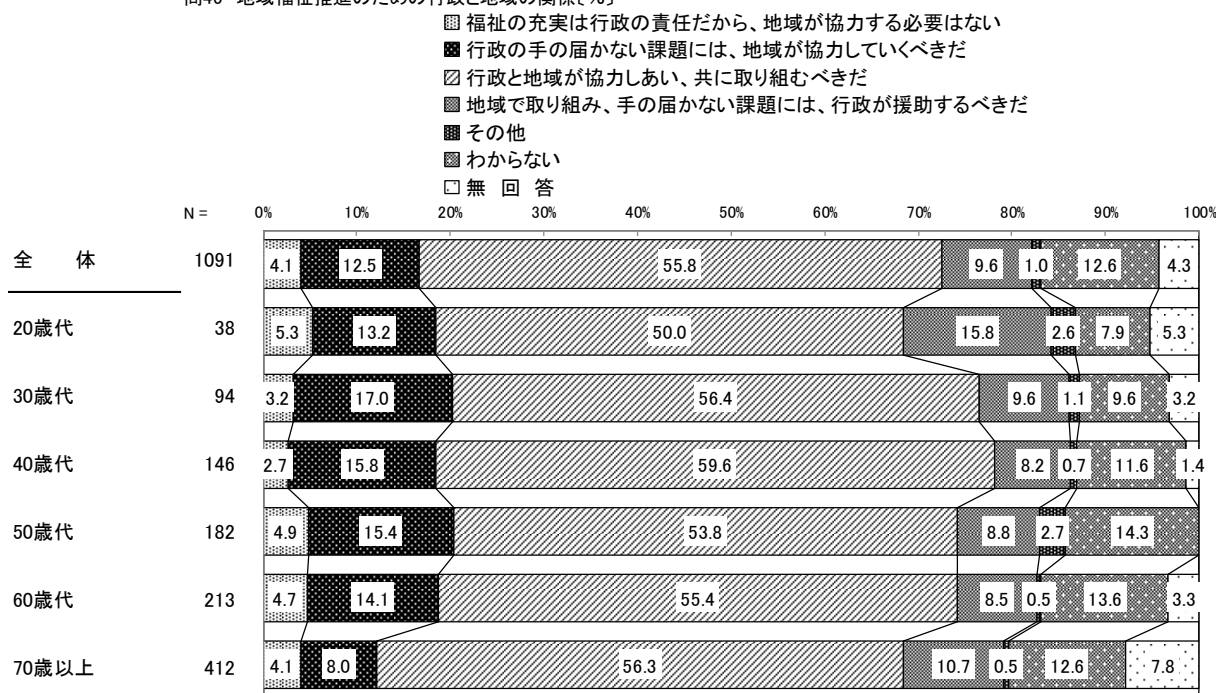
問45. あなたは、地域福祉の推進のために、行政と地域の関係はどのようにあるべきだと思いますか。

全体では、「行政と地域が協力しあい、共に取り組むべきだ」が55.8%と多く、「わからない」が12.6%、「行政の手の届かない課題には、地域が協力していくべきだ」が12.5%と続いている。

年代別では、20歳代で「地域で取り組み、手の届かない課題には行政が援助するべきだ」が15.8%とやや多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「行政と地域が協力しあい、共に取り組むべきだ」が46.9%と少ない。

問45 地域福祉推進のための行政と地域の関係[%]



		問45地域福祉推進のための行政と地域の関係[%]							
		全 体	福祉の充実 は行政の責 任だから、 地域が協力 する必要は ない	行政の手の 届かない課 題には、地 域が協力し ていくべき だ	行政と地 域が協力 しあい、共 に取り組 むべきだ	地域で取り 組み、手の 届かない課 題には、行 政が援助す るべきだ	その他	わからな い	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	45 4.1	136 12.5	609 55.8	105 9.6	11 1.0	138 12.6	47 4.3
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	7 5.7	15 12.3	62 50.8	17 13.9	-	19 15.6	2 1.6
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	3 2.3	14 10.8	73 56.2	16 12.3	1 0.8	20 15.4	3 2.3
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	4 3.5	14 12.4	70 61.9	7 6.2	1 0.9	11 9.7	6 5.3
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	128 100.0	7 5.5	22 17.2	60 46.9	11 8.6	3 2.3	17 13.3	8 6.3
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	15 5.2	33 11.5	153 53.5	28 9.8	6 2.1	37 12.9	14 4.9
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	9 3.0	37 12.2	187 61.5	25 8.2	-	33 10.9	13 4.3
	無 回 答	8 100.0	-	1 12.5	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5

問46. あなたは、東大和市は今後どのようになってほしいと思いますか。

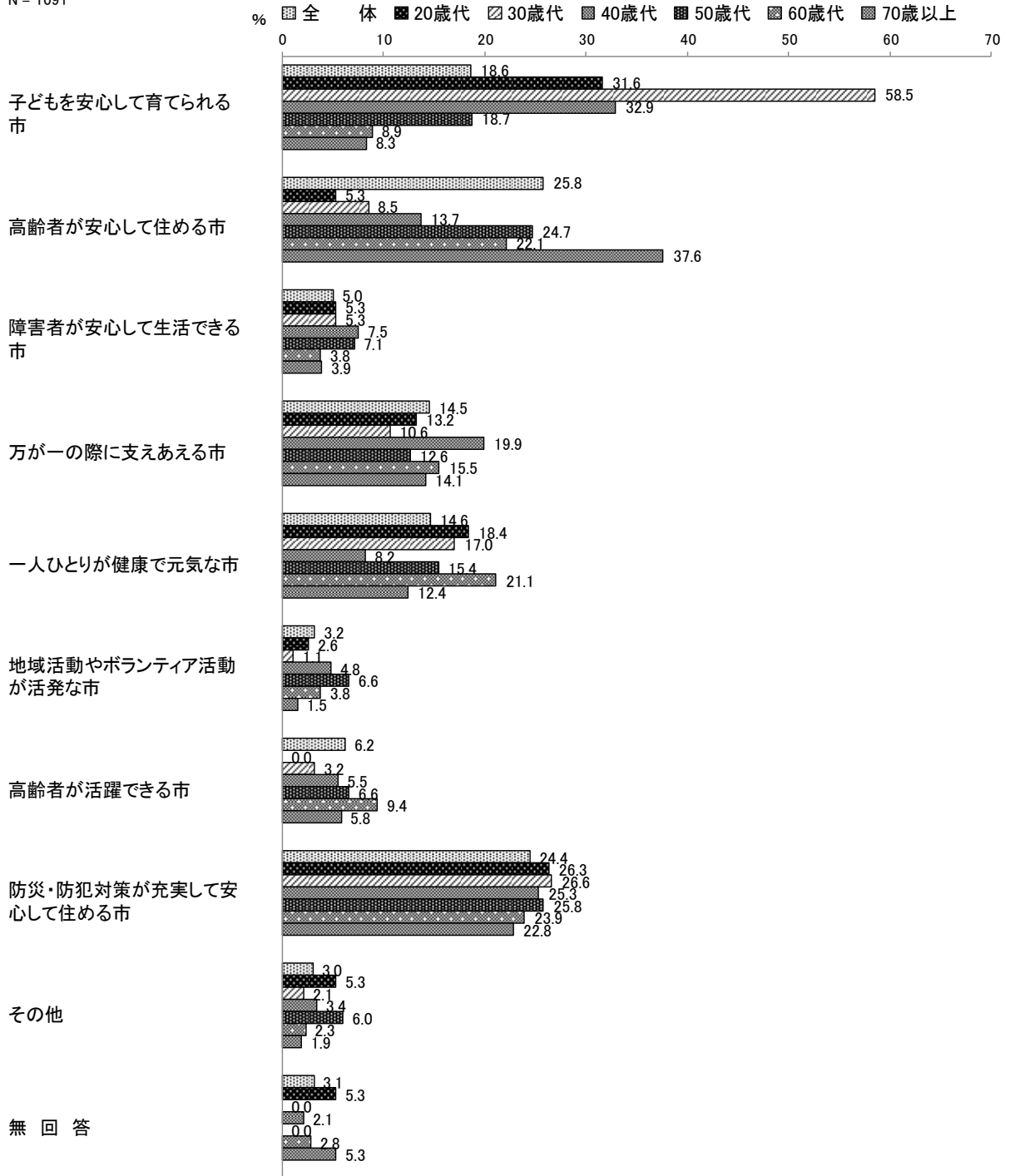
全体では、「高齢者が安心して住める市」が25.8%、「防災・防犯対策が充実して安心して住める市」が24.4%と多く、「子どもを安心して育てられる市」が18.6%、「一人ひとりが健康で元気な市」と「万が一の際に支えあえる市」がともに14%台と続いている。

年代別では、30歳代で「子どもを安心して育てられる市」が58.5%と最も多く、「高齢者が安心して住める市」は70歳以上で37.6%と多い。

地区別では、南東地域（清原、新堀、仲原）で「万が一の際に支えあえる市」が24.2%と多い。

問46 なってほしい東大和市の今後[%・複数回答]

N = 1091



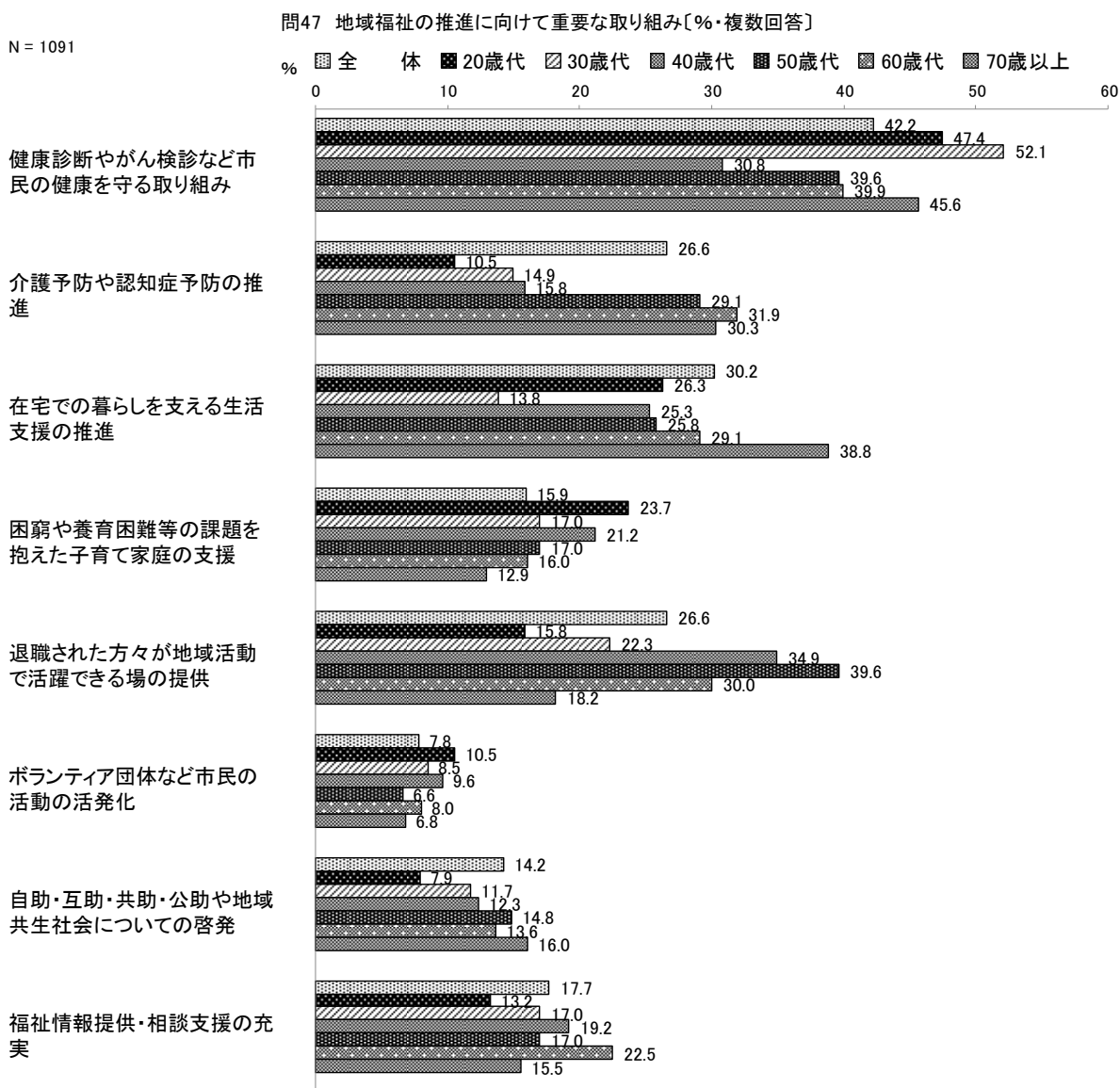
		問46なってほしい東大和市の今後〔%・複数回答〕										
		全 体	子どもを安心して育てられる市	高齢者が安心して住める市	障害者が安心して生活できる市	万が一の際に支えあえる市	一人ひとりが健康で元気な市	地域活動やボランティア活動が活発な市	高齢者が活躍できる市	防災・防犯対策が充実して安心して住める市	その他	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	203 18.6	281 25.8	55 5.0	158 14.5	159 14.6	35 3.2	68 6.2	266 24.4	33 3.0	34 3.1
	北東地域 (清水、狭山)	122 100.0	22 18.0	39 32.0	10 8.2	24 19.7	14 11.5	7 5.7	8 6.6	29 23.8	- -	2 1.6
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130 100.0	25 19.2	27 20.8	8 6.2	18 13.8	15 11.5	6 4.6	5 3.8	38 29.2	7 5.4	4 3.1
	北西地域 (蔵敷、芋窪)	113 100.0	22 19.5	33 29.2	3 2.7	11 9.7	20 17.7	2 1.8	7 6.2	22 19.5	2 1.8	1 0.9
	南東地域 (清原、新堀、仲原)	128 100.0	25 19.5	29 22.7	11 8.6	31 24.2	18 14.1	5 3.9	8 6.3	29 22.7	4 3.1	8 6.3
	南地域(中央、南街、向原)	286 100.0	47 16.4	74 25.9	11 3.8	27 9.4	53 18.5	7 2.4	22 7.7	69 24.1	10 3.5	11 3.8
	南西地域 (立野、上北台、桜が丘)	304 100.0	60 19.7	76 25.0	12 3.9	47 15.5	39 12.8	8 2.6	17 5.6	75 24.7	10 3.3	7 2.3
	無 回 答	8 100.0	2 25.0	3 37.5	- -	- -	- -	- -	1 12.5	4 50.0	- -	1 12.5

問47. 地域福祉の推進に向けて、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。

全体では、「健康診断やがん検診など市民の健康を守る取り組み」が42.2%と多く、「在宅での暮らしを支える生活支援の推進」が30.2%、「道路の段差解消など誰もが移動しやすいバリアフリーのまちづくり」が28.0%、「介護予防や認知症予防の推進」と「退職された方々が地域活動で活躍できる場の提供」がともに26.6%と続いている。

年代別では、20歳代で「手当など経済的な支援策の充実」が34.2%と多く、30歳代で「健康診断やがん検診など市民の健康を守る取り組み」と「道路の段差解消など誰もが移動しやすいバリアフリーのまちづくり」がそれぞれ52.1%、43.6%と多い。50歳代で「退職された方々が地域活動で活躍できる場の提供」が39.6%、70歳以上で「在宅での暮らしを支える生活支援の推進」が38.8%と多い。

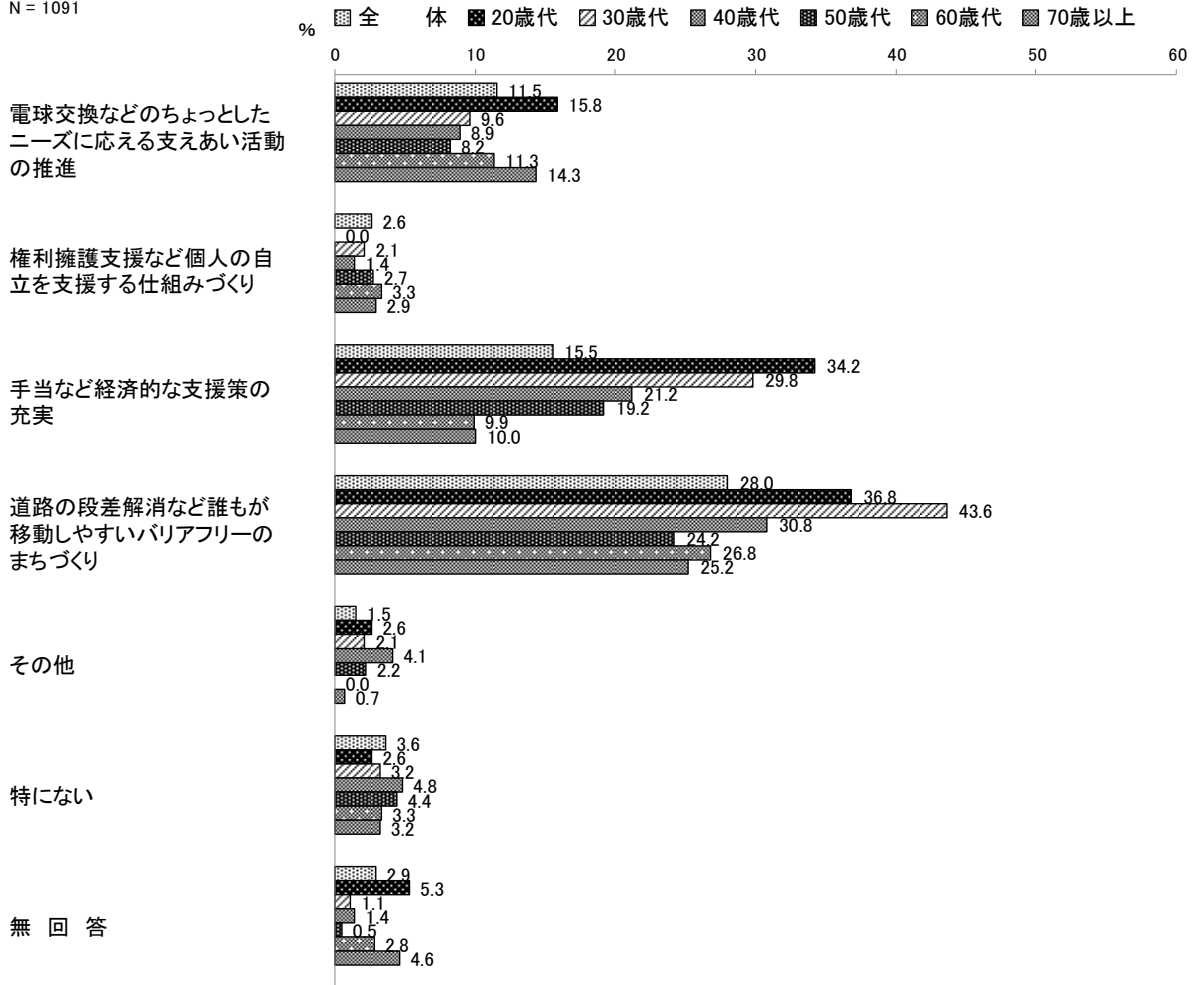
地区別では、北西地域（蔵敷、芋窪）で「在宅での暮らしを支える生活支援の推進」が40.7%と多い。



(次頁に続く)

問47 地域福祉の推進に向けて重要な取り組み〔%・複数回答〕

N = 1091



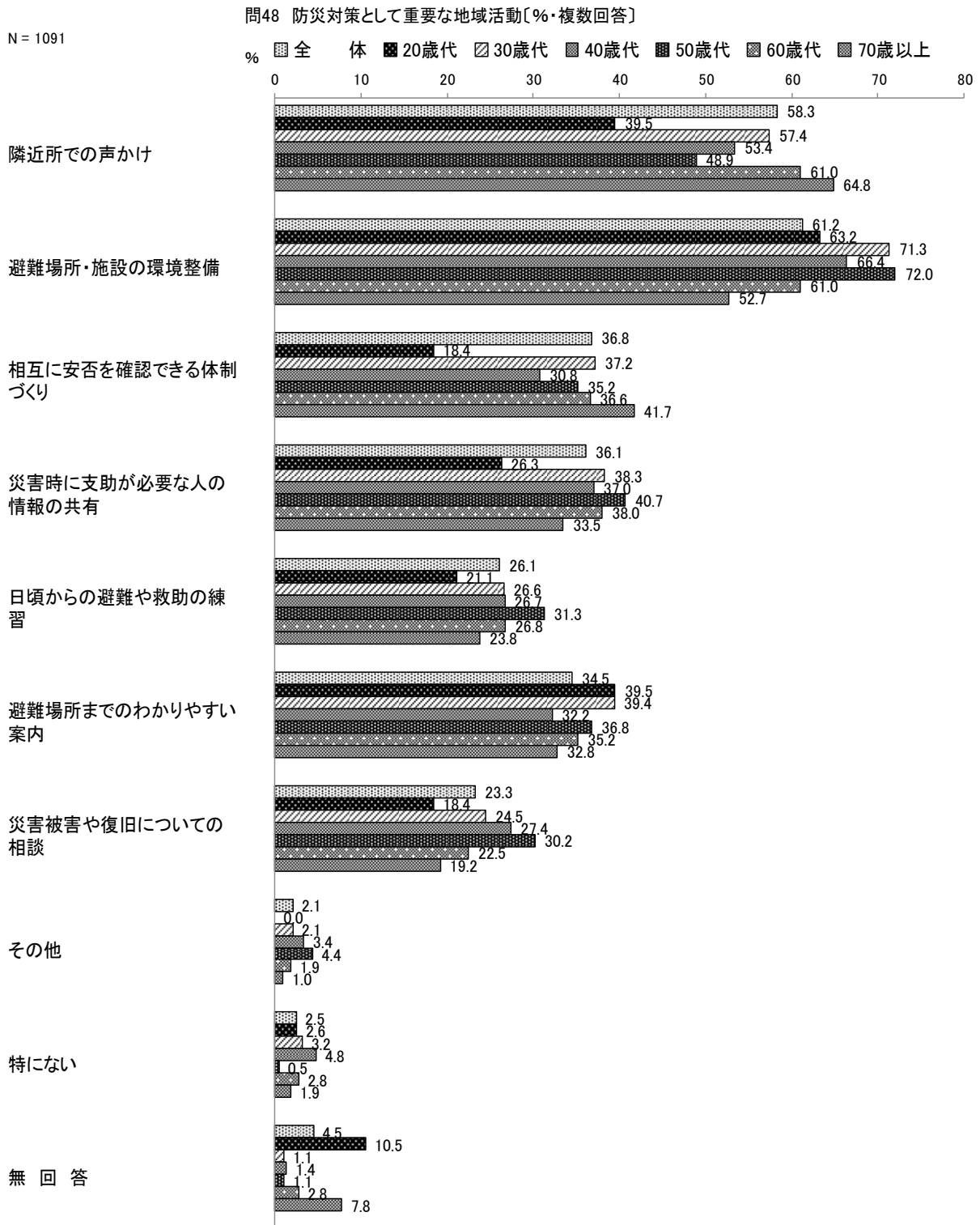
		問47地域福祉の推進に向けて重要な取り組み[%・複数回答]							
		全 体	健康診断やがん検診など市民の健康を守る取り組み	介護予防や認知症予防の推進	在宅での暮らしを支える生活支援の推進	困窮や養育困難等の課題を抱えた子育て家庭の支援	退職された方々が地域活動で活躍できる場の提供	ボランティア団体など市民の活動の活発化	自助・互助・共助・公助や地域共生社会についての啓発
地区別	全 体	1091 100.0	460 42.2	290 26.6	330 30.2	174 15.9	290 26.6	85 7.8	155 14.2
	北東地域(清水、狭山)	122 100.0	52 42.6	36 29.5	38 31.1	16 13.1	21 17.2	13 10.7	20 16.4
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	130 100.0	58 44.6	35 26.9	49 37.7	24 18.5	33 25.4	8 6.2	13 10.0
	北西地域(蔵敷、芋窪)	113 100.0	48 42.5	25 22.1	46 40.7	15 13.3	36 31.9	10 8.8	17 15.0
	南東地域(清原、新堀、仲原)	128 100.0	51 39.8	35 27.3	39 30.5	22 17.2	28 21.9	12 9.4	9 7.0
	南地域(中央、南街、向原)	286 100.0	112 39.2	83 29.0	76 26.6	41 14.3	87 30.4	17 5.9	53 18.5
	南西地域(立野、上北台、桜が丘)	304 100.0	134 44.1	72 23.7	80 26.3	55 18.1	84 27.6	23 7.6	42 13.8
	無 回 答	8 100.0	5 62.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5
		福祉情報提供・相談支援の充実	電球交換などのちょっとしたニーズに応える支えあい活動の推進	権利擁護支援など個人の自立を支援する仕組みづくり	手当など経済的な支援策の充実	道路の段差解消など誰もが移動しやすいバリアフリーのまちづくり	その他	特になし	無回答
地区別	全 体	193 17.7	126 11.5	28 2.6	169 15.5	305 28.0	16 1.5	39 3.6	32 2.9
	北東地域(清水、狭山)	21 17.2	14 11.5	5 4.1	22 18.0	31 25.4	-	6 4.9	2 1.6
	北地域(多摩湖、湖畔、奈良橋、高木)	21 16.2	14 10.8	3 2.3	21 16.2	39 30.0	1 0.8	5 3.8	3 2.3
	北西地域(蔵敷、芋窪)	24 21.2	14 12.4	4 3.5	21 18.6	30 26.5	3 2.7	-	2 1.8
	南東地域(清原、新堀、仲原)	23 18.0	10 7.8	-	12 9.4	38 29.7	2 1.6	6 4.7	6 4.7
	南地域(中央、南街、向原)	48 16.8	32 11.2	9 3.1	42 14.7	72 25.2	4 1.4	14 4.9	11 3.8
	南西地域(立野、上北台、桜が丘)	56 18.4	41 13.5	7 2.3	51 16.8	95 31.3	6 2.0	8 2.6	7 2.3
	無 回 答	-	1 12.5	-	-	-	-	-	1 12.5

問48. 防災対策として地域の活動で重要だと思うことは何ですか。

全体では、「避難場所・施設的环境整備」が61.2%、「隣近所での声かけ」が58.3%と多く、「相互に安否を確認できる体制づくり」が36.8%、「災害時に支助が必要な人の情報の共有」が36.1%、「避難場所までのわかりやすい案内」が34.5%と続いている。

年代別では、「避難場所・施設的环境整備」は30歳代と50歳代で70%を超えて多い。

地区別では、北東地域（清水、狭山）で「避難場所までのわかりやすい案内」が45.1%と多い。

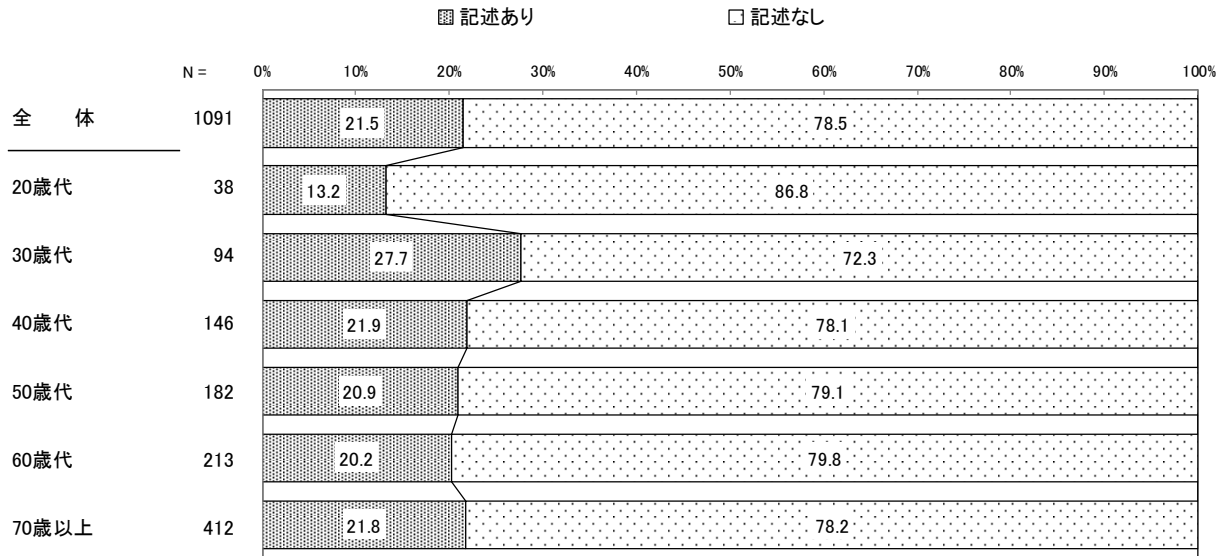


		問48防災対策として重要な地域活動[%・複数回答]										
		全 体	隣近所で の声かけ	避難場 所・施設 の環境整 備	相互に安 否を確認 できる体 制づくり	災害時に支 助が必要な 人の情報の 共有	日頃から の避難や 救助の練 習	避難場所 までのわ かりやす い案内	災害被害 や復旧に ついての 相談	その他	特にな い	無回答
地区別	全 体	1091 100.0	636 58.3	668 61.2	402 36.8	394 36.1	285 26.1	376 34.5	254 23.3	23 2.1	27 2.5	49 4.5
	北東地域 (清水、狭 山)	122 100.0	76 62.3	77 63.1	47 38.5	51 41.8	34 27.9	55 45.1	27 22.1	4 3.3	4 3.3	5 4.1
	北地域(多 摩湖、湖 畔、奈良 橋、高木)	130 100.0	82 63.1	82 63.1	44 33.8	45 34.6	29 22.3	41 31.5	25 19.2	4 3.1	6 4.6	6 4.6
	北西地域 (蔵敷、芋 窪)	113 100.0	70 61.9	79 69.9	43 38.1	37 32.7	34 30.1	37 32.7	33 29.2	3 2.7	- -	5 4.4
	南東地域 (清原、新 堀、仲原)	128 100.0	70 54.7	68 53.1	46 35.9	47 36.7	25 19.5	42 32.8	31 24.2	3 2.3	2 1.6	10 7.8
	南地域(中 央、南街、 向原)	286 100.0	169 59.1	164 57.3	105 36.7	105 36.7	76 26.6	99 34.6	66 23.1	4 1.4	10 3.5	9 3.1
	南西地域 (立野、上 北台、桜が 丘)	304 100.0	165 54.3	194 63.8	116 38.2	108 35.5	84 27.6	101 33.2	69 22.7	5 1.6	5 1.6	11 3.6
	無 回 答	8 100.0	4 50.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	3 37.5	- -	- -	3 37.5

問49. 市民同士の自主的な支えあい・助けあい、福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見等をご記入ください。

全体では、「記述あり」は21.5%である。主な内容は、「自治会や地域での連帯のこと」、「福祉全般のこと」、「高齢者・障害者・子どものこと」などである。

問49 地域福祉に関する提案やご意見〔%〕



順位	内容	件数
1位	自治会や地域での連帯こと 生活リズムが違うので、いくら近隣でも会う機会も少なく関係が希薄である。この状況を補う機会があるとよいと思う。一番身近な隣近所の声かけ、見守りが必要ではないか。日頃のご近所付き合いが大切だ。若い人の参加を増やしたいと考える。自治会に参加し、次の役員が決まらず困っている。隣近所と仲良く生活できる社会とプライバシーとのバランスが難しい。	各41
	福祉全般のこと 東大和市の住民が本当に必要とする対策を精査して行うこと。支える(られる)が互いに尊重される社会づくり。自助共助についての啓発がもっと必要だと思う。正直、活動内容が全く見えない。より一層力を入れて活動してほしい。予算配分をもう少し福祉の方に回すべきだと思う。福祉事業所への金銭面等の補助を手厚くすること。	
3位	高齢者・障害者・子どものこと 親は障害をもっている。何かをしてあげる、与えるだけの支援はもうやめてほしい。高齢者が多いためコミュニケーションの対応が難しい。より住みやすい生活環境を整えるために、元気な高齢者が協力・活躍できる場(機会)をつくってほしい。元気な高齢者の活用。小学生の一時預かりサービスを考えてほしい。	40
4位	地域の防犯・防災などの安全面 災害時の避難場がわからない。動けない介護者がいるので災害時に避難場所に行けない。屋外放送がとて聞き取りにくい。空き家があるので、取り壊しの推進、災害時の避難場所としての活用。防犯カメラが少ない。防犯カメラの設置を望む。ちよこバス等のルートを使った避難用の配車。	34
5位	情報発信や相談できる環境 市のHPはなかなか若い人は見ない。総合窓口がほしい(自ら請求しなくてはならない、手順がわからないため)。不審者情報等の情報提供。個人情報流出しない、気軽に相談できる場所があると嬉しい。地域での福祉及び防災等、身近に情報が欲しい。	23

東大和市地域福祉計画に関するアンケートご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から福祉行政にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

東大和市は、市民の皆様が住みなれた地域で支えあい・助けあって、安心して暮らせるよう、地域福祉の更なる推進を目指して、新しい東大和市地域福祉計画（第六次となります。）の策定準備をしています。

本アンケートは、地域福祉推進の土台となる新しい東大和市地域福祉計画作成の基礎資料とするため、市民の皆様にご協力をいただくものです。無作為に抽出した20歳以上の市民の皆様3,000人を対象とさせていただきます。調査は無記名式で行い、皆様からの回答はすべてコンピュータにより統計的に処理します。個人情報保護に万全を期し、地域福祉計画作成以外の目的には使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年11月

東大和市

<ご記入にあたってのお願い>

1. 封筒のあて名のご本人について伺います。
2. ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いします。
3. 回答は、あてはまるものの番号に○をつけてください。○の数は、質問ごとに「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」などとそれぞれ指定していただきますので、ご注意ください。
4. その他を選んだ場合は、() 内に具体的にご記入ください。

ご記入後の調査票は、同封の返送用封筒に入れて、**12月6日(金)までに**切手を貼らずに返送してください。

※ご不明な点、ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

東大和市福祉部福祉推進課

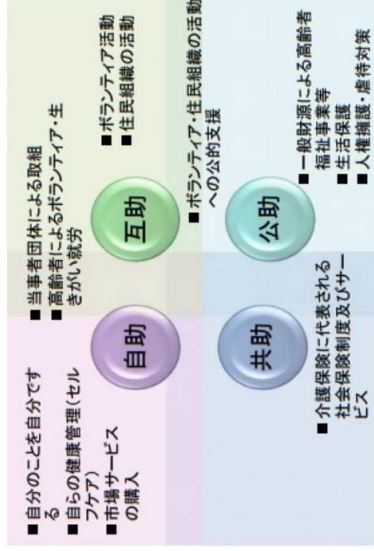
電話：042-563-2111（内線1132） FAX：042-563-5930

（裏面をご覧くださいから、お答えください。）

地域福祉とは？

「地域福祉」とは、地域に住む誰もが対象や担い手になるような、広く、主体的なものであり、近隣の人のつきあいや、困ったことがあれば助けあう、声をかけあうような関係は、地域福祉が目指す姿です。

住みなれた地域の中で、誰もが心豊かに安心して暮らせるように、一人ひとりの努力（自助）、市民同士の支えあい・助けあい（共助）、公的な支援・制度（公助）を連携させて、地域の課題を解決していくことが大切です。



厚生労働省資料より

東大和市地域福祉計画は、

「考え方・進め方」を明らかにして、地域ぐるみで福祉の仕組みをつくります。



そのためには、市の取り組みを整理し、地域の状況を把握することが基本となります。

市民参加のひとつとして、この調査へのご協力をよろしく願います。

あなたのことや世帯について伺います

問1. あなたの性別を伺います。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2. 令和元年11月1日現在のあなたの年齢を伺います。(1つに○)

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

問3. お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

1. 多摩湖	2. 芋窪	3. 蔵敷	4. 奈良橋
5. 湖畔	6. 高木	7. 狭山	8. 清水
9. 上北台	10. 桜が丘	11. 立野	12. 中央
13. 南街	14. 仲原	15. 向原	16. 清原
17. 新堀			

問4. あなたの主な職業についてお答えください。(1つに○)

1. 会社員	2. 自営業 (商店・企業経営など)
3. 農林水産業	4. 公務員
5. 家事専業	6. 専門的職業
7. パート・アルバイト	8. 学生
9. 無職 (年金等生活者を含む)	10. その他

問5. あなたは、現在の地区に何年お住まいですか。(1つに○)

1. 5年未満	2. 5～9年	3. 10～19年
4. 20～39年	5. 40年以上	

問6. あなたの家族構成についてお答えください。(1つに○)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ
3. 2世代 (あなたの子ども、または親と同居)	
4. 3世代 (あなたの子ども、孫または親と同居)	5. その他

問7. 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のよう方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 乳児 (1歳未満)	2. 小学校入学前の幼児
3. 小学生	4. 中学生・高校生
5. 75歳以上の人	6. 介護保険の要支援・要介護認定者
7. 障害者手帳所持者 (身体・療育・精神)	8. いらない

地域での暮らしや地域との関わりについて伺います

問8. あなたが住んでいる地区は、暮らしやすいと思いますか。(1つに○)

1. 暮らしやすい	2. どちらかというと暮らしやすい
3. どちらかというと暮らしにくい	4. 暮らしにくい

問9. あなたは、住んでいる地区で、日頃から心配なこと、気になることがありますか。それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○、下の口内に具体的な内容を記入してください)

1. 地域の防犯・防災などの安全面	2. 自然環境、ごみや道路などの生活環境
3. 高齢者が安心して暮らせる環境	4. 障害者が安心して暮らせる環境
5. 子どもが安心して暮らせる環境	6. 健康に関する活動や相談できる環境
7. 地域でのつきあいや連帯	8. 地域の慣習
9. 日常生活での移動のこと	10. その他 ()
11. 特になし	

心配ごと、気になることの内容：

--

問10. あなたは、地域の課題解決のために、市民同士の自主的な支えあい・助けあいが必要だと思いますか。(1つに○)

1. 必要だと思う	⇒問11へ
2. 必要だと思わない	⇒問12へ

問11. 【問10で1を選んだ方に伺います】どのようなときに必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 高齢者の孤独死や虐待などを聞いたとき
2. 子どもに関する事件などを聞いたとき
3. 隣近所に気騒に相談できる人がいないとき
4. 地域の行事に参加したとき
5. 災害が発生したとき
6. 隣近所に手助けが必要な人を見かけたとき
7. 隣近所でトラブル (空き巣など) が発生したとき
8. 地域に溶け込めない外国籍の人を見かけたとき
9. 地域ぐるみで地域活動などに取り組んでいることを聞いたとき
10. その他 ()

問12.【問10で2を選んだ方に伺います】必要と思わない理由は何ですか。(3つまで)

1. 地域の課題は、行政が全面的に対応すべきだから
2. 他人との関わりを持たなくても生活できるから
3. 個人の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから
4. 市民同士の協力関係による活動に期待していないから
5. 友人・知人との結びつきがあれば十分だから
6. その他 ()

問13.【全員に伺います】あなたは、どの程度近所つきあいをされていますか。(1つに〇)

1. 隣近所の仲の良い人とよく行き来している
2. 会えば親しく話をする人がいる
3. 顔を合わせればあいさつをする
4. 顔は知っているが、声をかけることはない
5. ほとんどしていない

問14.あなたは、自治会に入っていますか。(1つに〇)

1. 入っている ⇒問16△ 2. 入っていない ⇒問15△
3. わからない ⇒問16△

問15.【問14で2を選んだ方に伺います】自治会に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 家族の協力・理解が得られないから
2. 一緒に参加する仲間がいないから
3. 参加する機会がないから
4. 仕事や家事・育児などで時間が足りないから
5. 体力的に自信がないから
6. 地域でやりたい活動がないから
7. 人間関係が難しそうだから
8. 地域の行事や活動に興味がないから
9. 参加する方法がわからないから
10. 自治会の活動内容がわからないから
11. その他 ()

問16.【全員に伺います】あなたの地域の活動で問題だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 中心となる人が高齢化している
2. 活動する人の確保が難しい
3. 活動に対する市民の関心が低い
4. プライバシーの確保が難しい
5. 内容が乏しい、マンネリ化
6. 地域に集まる場所がない
7. 情報が少ない
8. 学習や訓練する機会がない
9. 活動資金が少ない
10. その他 ()
11. 特になし

問17.あなたが高齢者や障害のある人、子どもなどが住む近所の世帯に対して、支援や協力をできると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 外出の同行
2. 手紙の代筆・電話かけ
3. 新聞や本の代読
4. 話し相手
5. 相談相手
6. あいさつや安否確認などの声かけ
7. 食事の用意
8. ごみ出し
9. 買物の手伝い・代行
10. 玄関前などの掃除・庭の手入れ
11. 住宅内の荷物の移動
12. こども園などの送り迎え
13. 短時間の子守
14. 子どもの登下校時の見守り
15. 防犯のための巡回
16. 災害時の避難支援・安否確認
17. その他 ()
18. 特になし

問18.あなたは問17の1～17のような地域住民による支援や協力を受けたいと思いますか。(1つに〇)

1. 受けたい ⇒問19△ 2. 受けたくない ⇒問21△
3. わからない

問19.【問18で1を選んだ方に伺います】あなたが受けたいと思う支援や協力は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 外出の同行
2. 手紙の代筆・電話かけ
3. 新聞や本の代読
4. 話し相手
5. 相談相手
6. あいさつや安否確認などの声かけ
7. 食事の用意
8. ごみ出し
9. 買物の手伝い・代行
10. 玄関前などの掃除・庭の手入れ
11. 住宅内の荷物の移動
12. こども園などの送り迎え
13. 短時間の子守
14. 子どもの登下校時の見守り
15. 防犯のための巡回
16. 災害時の避難支援・安否確認
17. その他 ()

問20.【問18で1を選んだ方に伺います】地域での手助けを誰にしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 隣近所の人 | 2. 友人・知人 |
| 3. 民生委員児童委員 | 4. 自治会の役員 |
| 5. ボランティアやNP0等の団体 | 6. その他 () |

問21.【問18で2を選んだ方に伺います】あなたが支援や協力を受けたくないと思う理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 頼み方がわからないから | 2. 今までに頼んだことがないから |
| 3. 家庭で解決すべきことだから | 4. 家族の理解が得られないから |
| 5. 人間関係が難しそうだから | 6. 公的サービスが利用しやすいから |
| 7. その他 () | |

社会福祉協議会や地域に関わっている団体・活動について伺います

問22.あなたは、地域福祉の推進を図るために諸活動を行っている「東大和市社会福祉協議会」という組織を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問23.あなたは、社会福祉協議会の事業やサービスについて、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 赤い羽根・歳末たすけあい共同募金 | 2. 生活福祉資金等の貸付事業 |
| 3. ファミリー・サポート・センター事業 | 4. 見守り・声かけ活動 |
| 5. ふれあいなごやかサロン活動 | 6. ふれあい茶ろう会 |
| 7. 福祉祭 | 8. ボランティア・市民活動センター事業 |
| 9. 車いすステーション事業 | 10. こども食堂事業 |
| 11. 生活支援コーディネート事業 | 12. 手話講習会 |
| 13. 元気ゆうゆうボイネット事業 | 14. 地域福祉権利擁護事業 |
| 15. 福祉なんでも相談 | 16. 社協だよりの発行 |
| 17. 地域公益活動 | 18. ホームヘルパー派遣事業 |
| 19. 障害者地域生活支援センター事業 | 20. その他 () |
| | 21. 特になし |

問24.【問23で1～20までに○をされた方に伺います】あなたは、事業やサービスについてどのような方法で知りましたか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 社協だより | 2. 社協ホームページ |
| 3. 東やまと市報 | 4. 行政機関からの案内 |
| 5. 福祉事業所からの紹介 | 6. 民生委員児童委員 |
| 7. 友人や知人 | 8. その他 () |

問25.【社会福祉協議会の事業やサービスを利用(参加)したことがある方に伺います】あなたは、事業やサービスを利用(参加)して、どのように思われましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 大変満足している | 2. 満足している |
| 3. 普通 | 4. 不満である |
| 5. 大変不満である | |

問26.あなたは、今後、社会福祉協議会にどのような事業やサービスの充実を期待しますか。(3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施 |
| 2. 福祉に関する情報提供の充実 |
| 3. 福祉に関する学習や講習、講演会等の開催 |
| 4. 子育て支援の充実 |
| 5. 高齢者支援の充実 |
| 6. 障害者支援の充実 |
| 7. ボランティア活動への参加促進と支援 |
| 8. 地域住民による見守り・声かけ活動の充実 |
| 9. 地域での支えあい・助けあいの仕組みづくり |
| 10. 健康づくりや介護予防の充実 |
| 11. 判断能力が十分でない人への日常生活支援の充実 |
| 12. その他 () |
| 13. 特になし |

問27.あなたは、お住まいの地区の「民生委員児童委員」をご存じですか。(1つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 名前も活動内容も知っている |
| 2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない |
| 3. 名前も活動内容も知らない |
| 4. 活動内容は知っているが、名前は知らない |

問28.自治会をはじめとする地域の活動への参加について、あなたのお考えや状況に最も近いものはどれですか。(1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. できる範囲で参加する(したい) |
| 2. 義務であれば参加する |
| 3. 時間があるときに(できれば)参加する(したい) |
| 4. 健康や経済的な理由で参加できない |
| 5. 自分のことを優先したいので参加したくない |
| 6. つきあいがわずらわしいので参加したくない |
| 7. その他 () |
| 8. 関心がない |

問29.あなたは、地域のボランティア活動への参加についてのどのようなようにお考えですか。
(1つに○)

1. 参加したい (参加している場合を含む)	
2. 参加したいが内容や参加方法がわからない	
3. 参加したい気持ちはあるが忙しくて参加できない	
4. その他 ()	
5. 関心がない	

問30.あなたは、今後、仕事や学業とは別に地域活動やボランティア活動として参加したいものはありますか。(現在参加していて、今後継続して参加したいものも含む) (あてはまるものすべてに○)

1. 自治会の活動	
2. 地域を元気にする活動 (自治会での交流会や交流活動など)	
3. 子育てを支援する活動 (子育て交流会や児童の一時預かりなど)	
4. 高齢者を支援する活動 (家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出支援)	
5. 障害者を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出支援など)	
6. 児童健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など)	
7. 特技や趣味を生かした交流活動 (手芸、料理、園芸、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)	
8. 周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど)	
9. 地域の安全を守る活動 (防犯パトロール、子どもの見守りなど)	
10. 災害時の支援活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要支援者の見守りなど)	
11. その他 ()	
12. 特にない	

生活での相談や福祉情報などについて伺います

問31.あなたは、日々の生活で悩みや不安なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分や家族の健康のこと	2. 育児に関すること
3. 介護に関すること	4. 経済的なこと
5. 隣近所との関係	6. 家族のこと (進学、就職、結婚)
7. 仕事に関すること	8. 災害時のこと
9. 移動手段 (交通機関) のこと	10. 特にない
11. その他 ()	

問32.日々の生活での悩みや不安を、あなたは主にどこへ相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚	2. 隣近所の人
3. 友人・知人	4. 職場の人
5. 医療機関の医師	6. 民生委員児童委員
7. 社会福祉協議会	8. 自治会の役員
9. 地域包括支援センター	10. 市役所の窓口
11. 頼める人がいない	12. 頼むつもりはない
13. その他 ()	

問33.あなたが知りたい福祉の情報は何ですか。(主なもの3つまで○)

1. 健康づくりや介護予防のこと	2. 子育て支援のこと
3. 高齢者の支援や介護のこと	4. 障害者支援のこと
5. 各種福祉サービスの利用方法	6. 福祉サービス事業者のこと
7. ボランティア活動のこと	8. 市で開催している講座や教室等
9. その他 ()	10. 特にない

問34.福祉についての情報で、役立っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 広報、パンフレット、ホームページなど市からの情報
2. 屋外放送 (防災行政無線)
3. 自治会や民生委員児童委員からの情報
4. 社会福祉協議会広報紙「社協だより」、ホームページなど社協からの情報
5. 病院など医療機関からの情報
6. 新聞、テレビ、書籍等による情報
7. 家族や友人・知人からの情報
8. インターネットによる情報
9. その他 ()
10. 特にない

問35.福祉の情報提供で、充実すべきだと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 広報、パンフレット、ホームページ等による市の広報
2. 屋外放送 (防災行政無線)
3. 自治会や民生委員児童委員からの情報提供
4. 社会福祉協議会広報紙「社協だより」等による社協からの情報提供
5. その他 ()
6. 特にない

成年後見制度について伺います

成年後見制度とは：認知症等で判断能力が不十分な方々を、親族や法律・福祉の専門家、福祉関係の公益法人等が成年後見人等（成年後見人・保佐人・補助人）となり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。

市民後見人とは：社会貢献への意欲が高い一般市民の方で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見に関する一定の知識・態度を身に付けた方の中から、家庭裁判所により成年後見人等として選任された方のことです。

法人後見とは：社会福祉法人や社団法人、NPOなどの法人が成年後見人等になり、ご親族等が個人で成年後見人等に就任した場合と同様に、判断能力が不十分な人の保護・支援を行うことです。

問36. 「成年後見制度」について知っていましたか。(1つに○)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はわからない
3. 聞いたことがなく、内容も知らない

問37. 「成年後見制度」について利用する予定はありますか(1つに○)

1. すでに利用している ⇒問38へ
2. 今後必要になったら利用したい ⇒問38へ
3. 利用する予定はない ⇒問39へ

問38. 【問37で1または2を選んだ方に伺います】「成年後見制度」を利用する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族等の支援が見込めないため
2. 預貯金の管理・解約の手続きが必要になるから
3. 保険金受け取り手続きが必要になるから
4. 不動産の処分の手続きが必要になるから
5. 相続の手続きが必要になるから
6. 介護保険・障害福祉サービス契約の手続きが必要になるから
7. その他 ()

問39. 【問37で3を選んだ方に伺います】「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族等が同意しない
2. 後見人報酬の支払いが困難
3. 必要性を感じていない
4. 制度利用に時間がかかる
5. 利用手続きが複雑
6. その他 ()

問40. 【全員に伺います】「成年後見制度」を利用するにあたって、誰に成年後見人を任せたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門職(社会福祉士、弁護士などの専門家)
2. 家族
3. 市民後見人
4. 法人
5. その他 ()

問41. 「成年後見制度」で市に望むものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市長申し立ての拡充
2. 社会福祉協議会等による法人後見
3. 市民後見人による後見
4. 成年後見制度利用支援事業の拡充
5. 費用の軽減
6. 利用しやすさ
7. 制度に関する周知・啓蒙
8. その他 ()
9. 特にない

これからの福祉のために必要なことを伺います

問42. あなたやあなたのご家族は、福祉サービス(介護保険や障害福祉、子育て支援など)を利用していますか。(したことがありますか)(1つに○)

1. 利用している(したことがある) ⇒問43へ
2. 家族などが利用している(したことがある) ⇒問43へ
3. 利用していない(したことがない) ⇒問44へ

問43. 【問42で1または2を選んだ方に伺います】あなたやあなたのご家族が福祉サービス(介護保険や障害福祉、子育て支援サービス)の利用をするときに、不満に思ったことはありますか。(1つに○、ある場合は不満の内容をお書きください)

1. 不満に思ったことがある
(不満の内容:)
2. 不満に思ったことはない

問44. 【全員に伺います】市が実施している福祉サービスの水準を確保していくためには、その費用が増大していくと考えられます。これからの福祉水準と費用負担の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 福祉サービス水準を高くするため、負担が増えても仕方ない
2. 現状程度の福祉サービス水準を維持するため、負担が増えても仕方ない
3. 現状程度の福祉サービス水準を維持するため、不要なサービスは縮小・廃止して、応分の負担にするべきだ
4. その他 ()
5. わからない

問45. あなたは、地域福祉の推進のために、行政と地域の関係はどのようにあるべきだと思いますか。(1つに○)

1. 福祉の充実が行政（国・都・市）の責任だから、地域が協力する必要はない
2. 行政の手の届かない課題には、地域が協力していくべきだ
3. 行政と地域が協力しあい、共に取り組むべきだ
4. 地域で取り組み、手の届かない課題には、行政が援助するべきだ
5. その他（ ）
6. わからない

問46. あなたは、東大和市は今後どのようなになってほしいと思いますか。(1つに○)

1. 子どもを安心して育てられる市
2. 高齢者が安心して住める市
3. 障害者が安心して生活できる市
4. 万が一の際に支えあえる市
5. 一人ひとりが健康で元気な市
6. 地域活動やボランティア活動が活発な市
7. 高齢者が活躍できる市
8. 防災・防犯対策が充実して安心して住める市
9. その他（ ）

問47. 地域福祉の推進に向けて、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。(主なものを3つまで○)

1. 健康診断やがん検診など市民の健康を守る取り組み
2. 介護予防や認知症予防の推進
3. 在宅での暮らしを支える生活支援の推進
4. 困窮や養育困難等の課題を抱えた子育て家庭の支援
5. 退職された方々が地域活動で活躍できる場の提供
6. ボランティア団体など市民の活動の活性化
7. 自助・互助・共助・公助や地域共生社会についての啓発
8. 福祉情報提供・相談支援の充実
9. 電球交換などのちよっとしたニーズに応える支えあい活動の推進
10. 権利擁護支援など個人の自立を支援する仕組みづくり
11. 手など経済的な支援策の充実
12. 道路の段差解消、手すり・ベビーベッド付きトイレなど誰もが移動しやすいバリアフリーのまちづくり
13. その他（ ）
14. 特にない

問48. 防災対策として地域の活動で重要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 隣近所での声かけ
2. 避難場所・施設の環境整備
3. 相互に安否を確認できる体制づくり
4. 災害時に支助が必要な人の情報の共有
5. 日頃からの避難や救助の練習
6. 避難場所までのわかりやすい案内
7. 災害被害や復旧についての相談
8. その他（ ）
9. 特にない

問49. 市民同士の自主的な支えあい・助けあい、福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見を記入ください。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月6日(金)までに返送してください。

東大和市
地域福祉計画に関するアンケート
報告書

令和2年3月

発行 東大和市
東京都東大和市中心3丁目930番地
編集 東大和市福祉部福祉推進課

東京
ゆったり日和



東やまと